

玄海原子力発電所

第 4 号機

点検計画

計画期間中における点検の実施状況等

(第 1 3 保全サイクル)

点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下の設備を対象に記載している。

- ① 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14に規定する技術基準が適用される設備
 - a. 定期事業者検査の対象となる設備
 - b. 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第二において、設計及び工事計画書に記載が要求されている設備^{*1}（事後保全を実施する資機材等を除く）
- ② 保全重要度が高い設備

※1：基本設計方針にのみ記載する設備も含む

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

- ・定期事業者検査に係る点検
- ・定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
- ・記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備^{*2}の点検等）については、「**保守基準（3，4号）**」及び「**玄海原子力発電所 土木建築基準**」に基づき策定している。なお、基本的に設計基準事故及び重大事故等、双方に対処する設備は、点検計画の設計基準事故対処設備等に記載し、重大事故等にのみ対処する設備は、重大事故等対処設備に記載している。

※2：附帯設備の例

潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフィス、レギュレータ、フローグラス等

(3) 保全重要度について

「**保守基準（3，4号）**」及び「**玄海原子力発電所 土木建築基準**」の考え方に従い、「高」又は「低」の何れかで表記する。

なお、保全重要度「高」の設備については、保全方式として予防保全のうち時間

基準保全を選定し、事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・時間基準保全を採用しているもの：点検頻度

(5) 点検頻度について

次の整理により「M」：月、「C」：保全サイクル、「Y」・「F」：年度及び「年間」で表記している。

- ・性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度は、運転期間（総合負荷性能検査から解列）に対応した値を示している。また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短から最長を記載している。
- ・性能維持のための措置を伴わない点検については、「C」^{※3}又は「F」^{※3}により表記している。
- ・供用期間中検査のように年管理するものについては、「年間」により表記している。
- ・このほか「**「** **」**」に**「** **」**に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では、「余寿命による」と表記している。

※3：「C」又は「F」により表記しているものは、性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検やプラント定期事業者検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

(6) 点検時期について

設計基準事故対処設備等の点検については、「定検起動後」^{※4}、「プラント運転中」^{※4}の表現により、備考欄に実施時期を記載している。

なお、これらの記載がないものについては、「定検停止中」^{※4}に実施することとしている。

※4：「定検起動後」、「プラント運転中」、「定検停止中」のプラント状態は、以下のとおり。

- ・「定検起動後」とは、原子炉起動後の定期事業者検査期間中をいう。
- ・「プラント運転中」とは、原子炉の運転中（定期事業者検査期間を除く。）をいう。
- ・「定検停止中」とは、定期事業者検査のための原子炉の停止中をいう。

(7) 状態監視方法の記載について

保全方式として時間基準保全を選定した機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。

(8) 今回の実施計画について

第13保全サイクル中に点検を計画するものに「○」を記載している。

なお、複数の機器や複数のタスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクル中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

簡易点検については、点検内容が分解点検・開放点検に包含されるが、分解点検・開放点検を実施する場合についても「○」と記載している。

(9) 前回実施時期について

当該点検の前回実績（定検回数又は実施年度）を記載している。

目 次

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等(1/2)

機器又は系統名	ページ
原子炉本体（炉心）	1/83
原子炉本体（原子炉容器）	1/83
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（燃料取扱設備）	1/83
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備）	1/83
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（燃料取替用水設備）	2/83
原子炉冷却系統施設（一次冷却材の循環設備）	2/83
原子炉冷却系統施設（主蒸気・主給水設備）	5/83
原子炉冷却系統施設（余熱除去設備）	12/83
原子炉冷却系統施設（非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備）	15/83
原子炉冷却系統施設（化学体積制御設備）	21/83
原子炉冷却系統施設（原子炉補機冷却水設備）	27/83
原子炉冷却系統施設（原子炉補機冷却海水設備）	31/83
原子炉冷却系統施設（原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置）	32/83
計測制御系統施設（制御材）	32/83
計測制御系統施設（制御棒駆動装置）	33/83
計測制御系統施設（ほう酸注入機能を有する設備）	33/83
計測制御系統施設（制御用空気設備）	35/83
計測制御系統施設（その他設備）	37/83
計測制御系統施設（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置）	39/83
放射性廃棄物の廃棄施設（気体、液体又は固体廃棄物処理設備）	39/83
放射性廃棄物の廃棄施設（原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの流体状の放射性廃棄物の漏えい検出装置又は自動警報装置）	42/83
放射線管理施設（放射線管理用計測装置）	42/83
放射線管理施設（換気設備）	42/83
原子炉格納施設（原子炉格納容器）	54/83
原子炉格納施設（圧力低減設備その他の安全設備）	54/83
原子炉施設（その他設備）	58/83
蒸気タービン（車室、円板、隔板、噴口）	61/83
蒸気タービン（調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁）	61/83
蒸気タービン（復水器）	63/83
蒸気タービン（蒸気タービンに附属する熱交換器）	64/83
蒸気タービン（蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備）	65/83
蒸気タービン（蒸気タービンに附属する管等）	72/83
その他発電用原子炉の附属施設（非常用電源設備）	73/83
その他発電用原子炉の附属施設（常用電源設備）（発電機、変圧器 他）	79/83
その他発電用原子炉の附属施設（非常用電源設備）（その他の電源装置）	80/83

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等(2/2)

機器又は系統名	ページ
火災防護設備（消火設備）	82/83
火災防護設備（その他設備）	82/83
浸水防護設備（外郭浸水防護設備）（内郭浸水防護設備）	82/83
浸水防護設備（その他設備）	82/83
非常用取水設備（取水設備）	83/83
土木建築設備	83/83
プラント総合全般機器	83/83
竜巻防護設備	83/83

2. 点検計画 重大事故等対処設備

機器又は系統名	ページ
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（使用済燃料貯蔵設備）	1/4
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備）	1/4
原子炉冷却系統施設（非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備）	1/4
原子炉冷却系統施設（原子炉補機冷却設備）	1/4
計測制御系統施設（計測装置）	1/4
計測制御系統施設（工学的安全施設等の作動信号）	2/4
計測制御系統施設（制御用空気設備）	2/4
計測制御系統施設（その他設備）	2/4
放射線管理施設（放射線管理用計測装置）	2/4
原子炉格納施設（圧力低減設備）	3/4
原子炉施設（その他設備）	3/4
非常用電源設備	3/4

3. 原子力規制委員会の内規に従い実施する点検計画

4. 長期施設管理方針に基づく点検計画

- 別紙－1 クラス1機器、Ni基合金溶接部（供用期間中検査対象）
- 別紙－2 クラス2機器（供用期間中検査対象）
- 別紙－3 クラス2管（原子炉格納容器内）のうち
一次冷却材と同温・同圧の流体が流れる系統（供用期間中検査対象）
- 別紙－4 重大事故等クラス2機器（供用期間中検査対象）
- 別紙－5 重大事故等クラス3機器（供用期間中検査対象）

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
原子炉本体 (炉心)	再使用予定の燃料集合体 1式※	外観点検	高	1C	○	12	GN4-2 燃料集合体外観検査	※:炉心設計による	
	取出し燃料集合体 1式※	外観点検	高	1C	○	12		※:炉心設計による	
	燃料集合体 193体	外観点検	高	1C	○	12	GN4-3 燃料集合体炉内配置検査	※:炉心設計による	
	内挿物 1. 制御棒クラスタ 2. パーナブルボイズン 3. プラズマデバイス 4. 2次中性子源 } 1式※								
	原子炉本体のうち炉心	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-81 炉物理検査 GN4-4 原子炉停止余裕検査	定検起動後 定検起動後	
原子炉本体 (原子炉容器)	原子炉容器本体	開放点検	高	13M	○	12			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取扱設備)	燃料移送装置	分解点検	高	13M	○	12		一部プラント運転中	
	燃料移送装置制御設備 1式	機能・性能試験	高	1C	○	12		一部プラント運転中	
	燃料取替クレーン	分解点検	高	13M	○	12			
	燃料取替クレーン制御設備 1式	機能・性能試験	高	1C	○	12			
	使用済燃料ピットクレーン	分解点検	高	13M	○	12		一部プラント運転中	
	使用済燃料ピットクレーン制御設備 1式	機能・性能試験	高	1C	○	12		一部プラント運転中	
	1. 燃料移送装置(リフティングフレーム) 2台 2. 燃料取替クレーン 3. 使用済燃料ピットクレーン	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-36 燃料取扱装置機能検査		
	1. 新燃料エレベータ 2. 燃料取扱機クレーン	機能・性能試験	低	1C	○	12	GN4-75 燃料取扱設備検査		
	1. 燃料取替クレーン 2. 燃料移送装置 3. 使用済燃料ピットクレーン	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-95 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)		
	1. 燃料取扱機クレーン 2. 新燃料エレベータ	機能・性能試験	低	1C	○	12			
	原子炉キャビティ	外観点検	高	1C	○	12			
	燃料取替キャナル(原子炉格納容器内/燃料取扱機内)	外観検査	高	1C	○	12			
	キャスクピット	外観検査	高	1C	○	12			
	新燃料貯蔵庫	外観検査	低	1C	○	12			
	1. 新燃料取扱工具 2. 使用済燃料取扱工具 3. 燃料仮置ラック	外観点検	低	1C	○	12	GN4-95 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)		
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備)	使用済燃料ピット浄化冷却設備	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-202 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	使用済燃料ピット含む
		4 A 使用済燃料ピットポンプ	簡易点検(油入替他)	低	1Y	○	2020年度		プラント運転中
分解点検			4Y		○	2018年度			
4 A 使用済燃料ピットポンプ用電動機		分解点検	低	4Y	—	2018年度		プラント運転中	
4 B 使用済燃料ピットポンプ		簡易点検(油入替他)	低	1Y	○	2020年度		プラント運転中	
		分解点検		4Y	—	2019年度			
4 B 使用済燃料ピットポンプ用電動機		分解点検	低	4Y	—	2019年度		プラント運転中	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
	4 A 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	低	10Y	○	2011年度		プラント運転中	
	4 B 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	低	10Y	—	2012年度		プラント運転中	
	4 A 使用済燃料ピットフィルタ	開放点検	低	10Y	—	2019年度		プラント運転中	
	4 B 使用済燃料ピットフィルタ	開放点検	低	10Y	—	2019年度		プラント運転中	
	4 A 使用済燃料ピット脱塩塔	外観点検	低	1C	○	12			
	4 B 使用済燃料ピット脱塩塔	外観点検	低	1C	○	12			
	4V-SF-011 4 A AM用S F P ポンプ出口弁	駆動部点検	低	10Y	—	2016年度		GN4-85 1 次系弁検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2016年度			
		機能・性能試験		10F	—	2016年度			
		電動機分解点検		10Y	—	2016年度			
4V-SF-094 4号 S F P 脱塩水補給ライン逆止弁	分解点検	低	130M	—	8	GN4-87 1 次系逆止弁検査			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取替用水設備)	4 A 燃料取替用水ポンプ	簡易点検(油人替他)	高	1Y	○	2020年度	GN4-84 1 次系ポンプ機能検査	プラント運転中 (振動診断:切替毎)	
		分解点検		4Y	○	2017年度			
		機能・性能試験		4F	○	2017年度			
	4 A 燃料取替用水ポンプ用電動機	分解点検	高	4Y	○	2017年度		プラント運転中 (振動診断:切替毎)	
	4 B 燃料取替用水ポンプ	簡易点検(油人替他)	高	1Y	○	2020年度	GN4-84 1 次系ポンプ機能検査	プラント運転中 (振動診断:切替毎)	
		分解点検		4Y	○	2018年度			
		機能・性能試験		4F	—	2018年度			
	4 B 燃料取替用水ポンプ用電動機	分解点検	高	4Y	—	2019年度		プラント運転中 (振動診断:切替毎)	
	燃料取替用水ピット	開放点検	高	130M	○	8			
	原子炉冷却系統施設 (1次冷却材の循環設備)	4 A 蒸気発生器本体	開放点検(2次側管板上水洗含む)	高	13M	○	12		
4 B 蒸気発生器本体		開放点検(2次側管板上水洗含む)	高	13M	○	12			
4 C 蒸気発生器本体		開放点検(2次側管板上水洗含む)	高	13M	○	12			
4 D 蒸気発生器本体		開放点検(2次側管板上水洗含む)	高	13M	○	12			
4 A 蒸気発生器伝熱管 3,382本		非破壊試験	高	26M	—	12	GN4-6 蒸気発生器伝熱管体積検査		
4 B 蒸気発生器伝熱管 3,382本		非破壊試験	高	26M	○	11	GN4-6 蒸気発生器伝熱管体積検査		
4 C 蒸気発生器伝熱管 3,382本		非破壊試験	高	26M	○	11	GN4-6 蒸気発生器伝熱管体積検査		
4 D 蒸気発生器伝熱管 3,382本		非破壊試験	高	26M	—	12	GN4-6 蒸気発生器伝熱管体積検査		
4 A 1次冷却材ポンプ		分解点検	高	10年間	—	12		一部プラント運転中	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-93 1 次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後	
4 A 1次冷却材ポンプ用電動機		簡易点検(油人替他)	高	13M	○	12			
		分解点検		52M	—	12			
4 B 1次冷却材ポンプ		分解点検	高	10年間	○	5		一部プラント運転中	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-93 1 次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後	
4 B 1次冷却材ポンプ用電動機		簡易点検(油人替他)	高	13M	○	12			
		分解点検		52M	○	9			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4 C 1次冷却材ポンプ		分解点検	高	10年間	—	6		一部プラント運転中
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後
4 C 1次冷却材ポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		
		分解点検		52M	—	10		
4 D 1次冷却材ポンプ		分解点検	高	10年間	—	7		一部プラント運転中
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後
4 D 1次冷却材ポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		
		分解点検		52M	—	11		
4 A 1次冷却材ポンプメカニカルシール		分解点検	高	26M	—	12	GN4-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
4 B 1次冷却材ポンプメカニカルシール		分解点検	高	26M	○	11	GN4-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
4 C 1次冷却材ポンプメカニカルシール		分解点検	高	26M	—	12	GN4-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
4 D 1次冷却材ポンプメカニカルシール		分解点検	高	26M	○	11	GN4-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
加圧器本体		開放点検	高	13M	○	12		
炉内計装用シンプルチューブ 58本		非破壊試験	高	78M	—	8	GN4-110 炉内計装用シンプルチューブ体積検査	
4V-RC-055 4号 加圧器安全弁 A		分解点検	高	13M	○	12	GN4-10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		1C	○	12	GN4-9 加圧器安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-8 加圧器安全弁機能検査	
4V-RC-056 4号 加圧器安全弁 B		分解点検	高	13M	○	12	GN4-10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		1C	○	12	GN4-9 加圧器安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-8 加圧器安全弁機能検査	
4V-RC-057 4号 加圧器安全弁 C		分解点検	高	13M	○	12	GN4-10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		1C	○	12	GN4-9 加圧器安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-8 加圧器安全弁機能検査	
4PCV-452A 4号 加圧器逃がし弁 A		駆動部点検	高	52M	—	11		
		分解点検		13M	○	12	GN4-13 加圧器逃がし弁分解検査	
		漏えい試験		1C	○	12	GN4-12 加圧器逃がし弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-11 加圧器逃がし弁機能検査	
4PCV-452B 4号 加圧器逃がし弁 B		駆動部点検	高	52M	—	11		
		分解点検		13M	○	12	GN4-13 加圧器逃がし弁分解検査	
		漏えい試験		1C	○	12	GN4-12 加圧器逃がし弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-11 加圧器逃がし弁機能検査	
4V-RC-054A 4号 加圧器逃がし弁 A元弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	5		
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-14 加圧器逃がし弁元弁機能検査	
		電動機分解点検		130M	—	5		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4V-RC-054B 4号 加圧器逃がし弁B元弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	6		
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-14 加圧器逃がし弁元弁機能検査	
		電動機分解点検		130M	—	6		
4PCV-451A 4号 加圧器スプレイ弁A		駆動部点検	高	26M	○	11		
		分解点検		26M	○	11		
		機能・性能試験		2C	○	11	GN4-85 1次系弁検査	
4PCV-451B 4号 加圧器スプレイ弁B		駆動部点検	高	26M	—	12		
		分解点検		26M	—	12		
		機能・性能試験		2C	—	12	GN4-85 1次系弁検査	
4V-RC-017 4号 抽出ライン元弁		分解点検	高	65M	—	10		
4V-RC-019A 4号 Aループ第一ドレン弁		分解点検	高	39M	—	11		
4V-RC-019B 4号 Bループ第一ドレン弁		分解点検	高	39M	—	11		
4V-RC-019C 4号 Cループ第一ドレン弁		分解点検	高	39M	—	12		
4V-RC-019D 4号 Dループ第一ドレン弁		分解点検	高	39M	—	12		
4V-RC-077 4号 P R T自動ガス分析ライン内隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	10		
		分解点検		130M	—	12		
4V-RC-078 4号 P R T自動ガス分析ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
4V-RC-084 4号 P R T N ₂ ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	6		
4V-RC-095 4号 P R T補給水ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	6	GN4-85 1次系弁検査	
4V-RC-088 4号 P R T N ₂ ライン逆止弁		分解点検	低	130M	—	7	GN4-87 1次系逆止弁検査	
加圧器比例ヒータ 1式		機能・性能試験	低	1C	○	12		
加圧器後備ヒータ 1式		機能・性能試験	高	1C	○	12		
4V-BD-101A 4 A S G B D外隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	10		
		分解点検		130M	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
4V-BD-101B 4 B S G B D外隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	10		
		分解点検		130M	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
4V-BD-101C 4 C S G B D外隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	11		
		分解点検		130M	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
4V-BD-101D 4 D S G B D外隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	10		
		分解点検		130M	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
4V-BD-016A 4 A S/Gサンプルライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GN4-85 1次系弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4V-BD-016B 4 B S/G サンプルライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GN4-85 1 次系弁検査	
	4V-BD-016C 4 C S/G サンプルライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9	GN4-85 1 次系弁検査	
	4V-BD-016D 4 D S/G サンプルライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9	GN4-85 1 次系弁検査	
	4V-BD-039 4 号 S G B D モニタ 出口 逃が し 弁	分解点検	低	130M	—	9		
		漏えい試験		10C	—	9	GN4-86 1 次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	9		
	4V-BD-103A 4 A S G B D 止 弁	駆動部点検	高	65M	—	12		
		分解点検		130M	—	4		
	4V-BD-103B 4 B S G B D 止 弁	駆動部点検	高	65M	—	12		
		分解点検		130M	—	4		
	4V-BD-103C 4 C S G B D 止 弁	駆動部点検	高	65M	—	12		
分解点検		130M		—	9			
4V-BD-103D 4 D S G B D 止 弁	駆動部点検	高	65M	—	12			
	分解点検		130M	—	9			
4V-BD-117 4 号 B D T ドレンライン 逆 止 弁	分解点検	低	130M	—	9	GN4-87 1 次系逆止弁検査		
原子炉冷却系統施設 (主蒸気・主給水設備)	4PCV-3610 4 A 主蒸気逃がし弁	駆動部点検	高	26M	○	11		
		分解点検		13M	○	12		
		漏えい試験		1C	○	12	GN4-28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-27 主蒸気逃がし弁機能検査 GN4-206 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	
	4PCV-3620 4 B 主蒸気逃がし弁	駆動部点検	高	26M	—	12		
		分解点検		13M	○	12		
		漏えい試験		1C	○	12	GN4-28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-27 主蒸気逃がし弁機能検査 GN4-206 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	
	4PCV-3630 4 C 主蒸気逃がし弁	駆動部点検	高	26M	○	11		
		分解点検		13M	○	12		
		漏えい試験		1C	○	12	GN4-28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-27 主蒸気逃がし弁機能検査 GN4-206 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
	4PCV-3640 4 D 主蒸気逃がし弁	駆動部点検	高	26M	—	12			
		分解点検		13M	○	12			
		漏えい試験		1C	○	12	GN4-28 主蒸気逃がし弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-27 主蒸気逃がし弁機能検査 GN4-206 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査		
	4HCV-3615 4 A 主蒸気隔離弁バイパス弁	簡易点検(グランドパッキン取替)	高	26M	○	11			
		駆動部点検		52M	○	9			
		分解点検		130M	—	11	GN4-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	11			
	4HCV-3625 4 B 主蒸気隔離弁バイパス弁	簡易点検(グランドパッキン取替)	高	26M	—	12			
		駆動部点検		52M	—	10			
		分解点検		130M	—	12	GN4-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	12			
	4HCV-3635 4 C 主蒸気隔離弁バイパス弁	簡易点検(グランドパッキン取替)	高	26M	○	11			
		駆動部点検		52M	—	11			
		分解点検		130M	○	3	GN4-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	○	3			
	4HCV-3645 4 D 主蒸気隔離弁バイパス弁	簡易点検(グランドパッキン取替)	高	26M	○	11			
		駆動部点検		52M	—	12			
		分解点検		130M	—	4	GN4-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	4			
	4V-MS-523A 4 A 主蒸気逃がし弁元弁	簡易点検(グランドパッキン取替)	高	65M	—	12			
		駆動部点検		65M	—	12			
		分解点検		130M	—	12			
		機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	10			
	4V-MS-523B 4 B 主蒸気逃がし弁元弁	簡易点検(グランドパッキン取替)	高	65M	○	11			
		駆動部点検		65M	○	9			
		分解点検		130M	○	3			
機能・性能試験		10C		○	3	GN4-85 1次系弁検査			
電動機分解点検		130M		○	3				
4V-MS-523C 4 C 主蒸気逃がし弁元弁	簡易点検(グランドパッキン取替)	高	65M	—	11				
	駆動部点検		65M	—	9				
	分解点検		130M	—	4				
	機能・性能試験		10C	—	4	GN4-85 1次系弁検査			
	電動機分解点検		130M	—	4				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4V-MS-523D 4 D 主蒸気逃がし弁弁弁		簡易点検(グランドバッキング取替)	高	65M	—	11		
		駆動部点検		65M	—	10		
		分解点検		130M	—	5		
		機能・性能試験		10C	—	5	GN4-85 1 次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	5		
4V-MS-526A 4 A 1 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	11		
		漏えい試験		2C	○	11	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-526B 4 B 1 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	11		
		漏えい試験		2C	○	11	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-526C 4 C 1 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	12		
		漏えい試験		2C	—	12	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-526D 4 D 1 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	12		
		漏えい試験		2C	—	12	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-527A 4 A 2 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	11		
		漏えい試験		2C	○	11	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-527B 4 B 2 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	11		
		漏えい試験		2C	○	11	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-527C 4 C 2 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	12		
		漏えい試験		2C	—	12	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-527D 4 D 2 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	12		
		漏えい試験		2C	—	12	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-528A 4 A 3 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	11		
		漏えい試験		2C	○	11	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-528B 4 B 3 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	11		
		漏えい試験		2C	○	11	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4V-MS-528C 4 C 3 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	12		
		漏えい試験		2C	—	12	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-528D 4 D 3 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	12		
		漏えい試験		2C	—	12	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-529A 4 A 4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	11		
		漏えい試験		2C	○	11	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-529B 4 B 4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	11		
		漏えい試験		2C	○	11	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-529C 4 C 4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	12		
		漏えい試験		2C	—	12	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-529D 4 D 4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	12		
		漏えい試験		2C	—	12	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-530A 4 A 5 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	11		
		漏えい試験		2C	○	11	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-530B 4 B 5 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	11		
		漏えい試験		2C	○	11	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-530C 4 C 5 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	12		
		漏えい試験		2C	—	12	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-530D 4 D 5 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	12		
		漏えい試験		2C	—	12	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-533A 4 A 主蒸気隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	11		
		分解点検		26M	○	11	GN4-46 原子伊格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-29 主蒸気隔離弁機能検査	
4V-MS-533B 4 B 主蒸気隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	11		
		分解点検		26M	○	11	GN4-46 原子伊格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-29 主蒸気隔離弁機能検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4V-MS-533C 4 C 主蒸気隔離弁	駆動部点検	高	52M	—	11		
		分解点検		26M	—	12	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-29 主蒸気隔離弁機能検査	
	4V-MS-533D 4 D 主蒸気隔離弁	駆動部点検	高	52M	—	11		
		分解点検		26M	—	12	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-29 主蒸気隔離弁機能検査	
	4V-MS-536A 4 A 主蒸気逆止弁	分解点検	高	26M	○	11		
	4V-MS-536B 4 B 主蒸気逆止弁	分解点検	高	26M	○	11		
	4V-MS-536C 4 C 主蒸気逆止弁	分解点検	高	26M	—	12		
	4V-MS-536D 4 D 主蒸気逆止弁	分解点検	高	26M	—	12		
	4V-MS-570A 4号 T/D AFWP 駆動蒸気入口弁 A	駆動部点検	高	65M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
		電動機分解点検		130M	—	11		
	4V-MS-570B 4号 T/D AFWP 駆動蒸気入口弁 B	駆動部点検	高	65M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
		電動機分解点検		130M	—	11		
	4V-MS-575A 4号 T/D AFWP 駆動蒸気元弁 A	簡易点検(グランドパッキン取替)	高	65M	—	11		
		駆動部点検		65M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
		機能・性能試験		10C	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	5		
	4V-MS-575B 4号 T/D AFWP 駆動蒸気元弁 B	簡易点検(グランドパッキン取替)	高	65M	—	12		
		駆動部点検		65M	—	10		
		分解点検		130M	—	12		
機能・性能試験		10C		—	12	GN4-85 1次系弁検査		
電動機分解点検		130M		—	5			
4V-MS-576A 4号 T/D AFWP 駆動蒸気逆止弁 A	分解点検	高	39M	—	11			
4V-MS-576B 4号 T/D AFWP 駆動蒸気逆止弁 B	分解点検	高	39M	—	11			
4V-MS-585A 4 A 主蒸気隔離弁上流ドレン元弁	駆動部点検	高	65M	—	12			
	分解点検		130M	—	12			
	機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1次系弁検査		
	電動機分解点検		130M	—	12			
4V-MS-585B 4 B 主蒸気隔離弁上流ドレン元弁	駆動部点検	高	65M	○	9			
	分解点検		130M	○	3			
	機能・性能試験		10C	○	3	GN4-85 1次系弁検査		
	電動機分解点検		130M	○	3			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
	4V-MS-585C 4 C 主蒸気隔離弁上流ドレン元弁	駆動部点検	高	65M	—	9			
		分解点検		130M	—	4			
		機能・性能試験		10C	—	4	GN4-85 1 次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	4			
	4V-MS-585D 4 D 主蒸気隔離弁上流ドレン元弁	駆動部点検	高	65M	—	10			
		分解点検		130M	—	5			
		機能・性能試験		10C	—	5	GN4-85 1 次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	5			
	4TCV-500A 4 A タービンバイパス弁	駆動部点検	低	26M	—	12			
		分解点検		13M	○	12			
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査		
	4TCV-500B 4 B タービンバイパス弁	駆動部点検	低	26M	—	12			
		分解点検		13M	○	12			
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査		
	4TCV-500C 4 C タービンバイパス弁	駆動部点検	低	39M	○	11			
		簡易点検(グラントパッキン取替)		39M	○	11			
		分解点検		65M	—	11			
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査		
	4TCV-500D 4 D タービンバイパス弁	駆動部点検	低	39M	○	11			
		簡易点検(グラントパッキン取替)		39M	○	11			
		分解点検		65M	—	11			
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査		
	4TCV-500E 4 E タービンバイパス弁	駆動部点検	低	39M	—	12			
		簡易点検(グラントパッキン取替)		39M	—	12			
		分解点検		65M	—	12			
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査		
	4TCV-500F 4 F タービンバイパス弁	駆動部点検	低	39M	—	12			
		簡易点検(グラントパッキン取替)		39M	—	12			
		分解点検		65M	—	12			
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査		
	4TCV-500G 4 G タービンバイパス弁	駆動部点検	低	39M	○	10			
		簡易点検(グラントパッキン取替)		39M	○	10			
分解点検		65M		○	8				
機能・性能試験		1C		○	12	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4TCV-500H 4 H タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	○	10		
		簡易点検(グランドパッキン取替)		39M	○	10		
		分解点検		65M	○	8		
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査	
4TCV-500J 4 J タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	—	11		
		簡易点検(グランドパッキン取替)		39M	—	11		
		分解点検		65M	—	9		
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査	
4TCV-500K 4 K タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	—	11		
		簡易点検(グランドパッキン取替)		39M	—	11		
		分解点検		65M	—	9		
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査	
4TCV-500L 4 L タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	—	12		
		簡易点検(グランドパッキン取替)		39M	—	12		
		分解点検		65M	—	10		
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査	
4TCV-500M 4 M タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	—	12		
		簡易点検(グランドパッキン取替)		39M	—	12		
		分解点検		65M	—	10		
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査	
4FCV-460 4 A 主給水制御弁		駆動部点検	高	13M	○	12		
		分解点検		13M	○	12		
4FCV-470 4 B 主給水制御弁		駆動部点検	高	13M	○	12		
		分解点検		13M	○	12		
4FCV-480 4 C 主給水制御弁		駆動部点検	高	13M	○	12		
		分解点検		13M	○	12		
4FCV-490 4 D 主給水制御弁		駆動部点検	高	13M	○	12		
		分解点検		13M	○	12		
4FCV-461 4 A 主給水バイパス制御弁		駆動部点検	高	52M	—	12		
		分解点検		52M	—	12		
4FCV-471 4 B 主給水バイパス制御弁		駆動部点検	高	52M	○	9		
		分解点検		52M	○	9		
4FCV-481 4 C 主給水バイパス制御弁		駆動部点検	高	52M	—	11		
		分解点検		52M	—	11		
4FCV-491 4 D 主給水バイパス制御弁		駆動部点検	高	52M	—	11		
		分解点検		52M	—	11		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4V-FW-520A 4 A 主給水隔離弁	簡易点検(グラントパッキン取替)	高	52M	○	9		
		駆動部点検		130M	○	11		
		分解点検		130M	○	3	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	○	3		
	4V-FW-520B 4 B 主給水隔離弁	簡易点検(グラントパッキン取替)	高	52M	—	11		
		駆動部点検		130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
	4V-FW-520C 4 C 主給水隔離弁	簡易点検(グラントパッキン取替)	高	52M	○	9		
		駆動部点検		130M	○	11		
		分解点検		130M	○	3	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	○	3		
	4V-FW-520D 4 D 主給水隔離弁	簡易点検(グラントパッキン取替)	高	52M	○	9		
		駆動部点検		130M	—	11		
		分解点検		130M	—	6	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	6		
原子炉冷却系統施設 (余熱除去系統)	4 A 余熱除去冷却器	開放点検	高	130M	—	11		
	4 B 余熱除去冷却器	開放点検	高	130M	—	11		
	4 A 余熱除去ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	○	11	GN4-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
	4 A 余熱除去ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	○	11		
	4 B 余熱除去ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	—	11	GN4-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
	4 B 余熱除去ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	—	11		
	4FCV-601 4 A 余熱除去ポンプミニフロー弁	駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
	4HCV-603 4 A 余熱除去冷却器出口流量設定弁	駆動部点検	高	130M	—	5		
		分解点検		130M	—	12		
機能・性能試験		10C		—	12	GN4-85 1次系弁検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4FCV-604 4 A 余熱除去冷却器バイパス流量制御弁		駆動部点検	高	130M	—	5		
		分解点検		130M	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1 次系弁検査	
4FCV-611 4 B 余熱除去ポンプミニフロー弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8	GN4-85 1 次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
4HCV-613 4 B 余熱除去冷却器出口流量設定弁		駆動部点検	高	130M	—	4		
		分解点検		130M	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1 次系弁検査	
4FCV-614 4 B 余熱除去冷却器バイパス流量制御弁		駆動部点検	高	130M	—	4		
		分解点検		130M	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1 次系弁検査	
4PCV-420 4 A 余熱除去ラインBループ高温側出口弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11	GN4-85 1 次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	11		
		電動機分解点検		130M	—	11		
4PCV-430 4 B 余熱除去ラインCループ高温側出口弁		駆動部点検	高	130M	—	5		
		分解点検		130M	—	5	GN4-85 1 次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	5		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-RH-002A 4 A 余熱除去ポンプ入口内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	11	GN4-85 1 次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	11		
		電動機分解点検		130M	—	7		
4V-RH-002B 4 B 余熱除去ポンプ入口内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	11	GN4-85 1 次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	11		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-RH-004A 4 A 余熱除去ポンプ入口遮がし弁		分解点検	高	130M	○	11		
		漏えい試験		10C	○	11	GN4-86 1 次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	11		
4V-RH-004B 4 B 余熱除去ポンプ入口遮がし弁		分解点検	高	130M	○	11		
		漏えい試験		10C	○	11	GN4-86 1 次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	11		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
4V-RH-005A 4 A 余熱除去ポンプ入口弁		駆動部点検	高	130M	—	—		第11回定検より追加	
		分解点検		130M	—	—			
4V-RH-005B 4 B 余熱除去ポンプ入口弁		駆動部点検	高	130M	—	—		第11回定検より追加	
		分解点検		130M	—	—			
4V-RH-012A 4 A 余熱除去ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	○	3			
4V-RH-012B 4 B 余熱除去ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	4			
4V-RH-018A 4 A 余熱除去ポンプRWS P側入口弁		駆動部点検	高	130M	—	7			
		分解点検		130M	—	7			
		電動機分解点検		130M	—	7			
4V-RH-018B 4 B 余熱除去ポンプRWS P側入口弁		駆動部点検	高	130M	—	6			
		分解点検		130M	—	6			
		電動機分解点検		130M	—	6			
4V-RH-026A 4 A 余熱除去冷却器出口低圧抽出ライン止弁		駆動部点検	高	130M	—	6			
		分解点検		130M	—	6			
		機能・性能試験		10C	—	6			GN4-85 1 次系弁検査
4V-RH-026B 4 B 余熱除去冷却器出口低圧抽出ライン止弁		駆動部点検	高	130M	—	4			
		分解点検		130M	—	4			
		機能・性能試験		10C	—	4			GN4-85 1 次系弁検査
4V-RH-042A 4 A 余熱除去冷却器出口逃がし弁		分解点検	低	130M	—	11			
		漏えい試験		10C	—	11			GN4-86 1 次系安全弁検査
		機能・性能試験		10C	—	11			
4V-RH-042B 4 B 余熱除去冷却器出口逃がし弁		分解点検	低	130M	—	11			
		漏えい試験		10C	—	11			GN4-86 1 次系安全弁検査
		機能・性能試験		10C	—	11			
4V-RH-043A 4 A 余熱除去冷却器出口外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	12			
		分解点検		130M	—	12			
		機能・性能試験		10C	—	12			GN4-85 1 次系弁検査
		電動機分解点検		130M	○	3			
4V-RH-043B 4 B 余熱除去冷却器出口外隔離弁		駆動部点検	高	130M	○	3			
		分解点検		130M	○	3			
		機能・性能試験		10C	○	3			GN4-85 1 次系弁検査
		電動機分解点検		130M	○	3			
4V-RH-045A 4 A 余熱除去冷却器出口隔離逆止弁		分解点検	高	130M	○	3			
4V-RH-045B 4 B 余熱除去冷却器出口隔離逆止弁		分解点検	高	130M	—	12			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
	4V-RH-047A 4 A B 余熱除去冷却器出口連絡弁 A	駆動部点検	高	130M	—	5			
		分解点検		130M	—	5			
		電動機分解点検		130M	—	5			
	4V-RH-047B 4 A B 余熱除去冷却器出口連絡弁 B	駆動部点検	高	130M	—	4			
		分解点検		130M	—	4			
		電動機分解点検		130M	—	4			
	4V-RH-048A 4 A 余熱除去ライン B ループ高温側入口弁	駆動部点検	高	130M	—	12			
		分解点検		130M	—	12			
		電動機分解点検		130M	—	12			
	4V-RH-048B 4 B 余熱除去ライン C ループ高温側入口弁	駆動部点検	高	130M	—	9			
		分解点検		130M	—	9			
		電動機分解点検		130M	—	9			
	4V-RH-050A 4 号 余熱除去ライン A ループ低温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	—	6	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	4V-RH-050B 4 号 余熱除去ライン B ループ低温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	4V-RH-050C 4 号 余熱除去ライン C ループ低温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	4V-RH-050D 4 号 余熱除去ライン D ループ低温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	○	3	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	4V-RH-051A 4 号 余熱除去ライン B ループ高温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	4V-RH-051B 4 号 余熱除去ライン C ループ高温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	—	4	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
4V-RH-071 4 号 AM 用代替再循環ポンプ出口第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	5				
4V-RH-072 4 号 AM 用代替再循環ポンプ出口弁	駆動部点検	高	130M	—	5				
	分解点検		130M	—	5				
	電動機分解点検		130M	—	5				
4V-RH-073 4 号 AM 用代替再循環ポンプ出口第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	5				
AM 用代替再循環ポンプ	分解点検	高	130M	—	11				
	電動機簡易点検		1C	○	12				
原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水系設備)	1. 高圧及び低圧注入系 ・高圧注入ポンプ 2台 ・余熱除去ポンプ 2台 ・モータ駆動弁 18個 2. 蓄圧注入系 ・蓄圧タンク 4基	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-16 非常用炉心冷却系機能検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4 A 高圧注入ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検(メカニカルシール取替)		52M	—	12		
		分解点検		104M	—	12	GN4-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
4 A 高圧注入ポンプ用電動機		分解点検	高	78M	○	7		(振動診断: 1ヶ月)
4 B 高圧注入ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検(メカニカルシール取替)		52M	○	11		
		分解点検		104M	○	10	GN4-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
4 B 高圧注入ポンプ用電動機		分解点検	高	78M	—	8		(振動診断: 1ヶ月)
4 A 蓄圧タンク		開放点検	高	130M	—	12		
4 B 蓄圧タンク		開放点検	高	130M	—	11		
4 C 蓄圧タンク		開放点検	高	130M	—	11		
4 D 蓄圧タンク		開放点検	高	130M	—	11		
4 A 格納容器再循環サンプル		外観点検	高	1C	○	12		
4 B 格納容器再循環サンプル		外観点検	高	1C	○	12		
4 A 格納容器再循環サンプルスクリーン		外観点検	高	1C	○	12		
4 B 格納容器再循環サンプルスクリーン		外観点検	高	1C	○	12		
4V-S1-002A 4 A 安全注入系ポンプRWS P側入口弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	12		
		電動機分解点検		130M	—	9		
4V-S1-002B 4 B 安全注入系ポンプRWS P側入口弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	12		
		電動機分解点検		130M	—	11		
4V-S1-004A 4 A 安全注入系ポンプ入口逃がし弁		分解点検	低	130M	—	11		GN4-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-S1-004B 4 B 安全注入系ポンプ入口逃がし弁		分解点検	低	130M	—	11		GN4-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-S1-011A 4 A 高圧注入ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	4		
4V-S1-011B 4 B 高圧注入ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	5		
4V-S1-014A 4 A 高圧注入ポンプミニフロー逆止弁		分解点検	高	130M	—	4		
4V-S1-014B 4 B 高圧注入ポンプミニフロー逆止弁		分解点検	高	130M	—	5		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4V-SI-015A 4 A 高圧注入ポンプ第一ミニフロー弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
		電動機分解点検		130M	—	11		
4V-SI-015B 4 B 高圧注入ポンプ第一ミニフロー弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12		
		電動機分解点検		130M	—	12		
4V-SI-016A 4 A 高圧注入ポンプ第二ミニフロー弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
		電動機分解点検		130M	—	11		
4V-SI-016B 4 B 高圧注入ポンプ第二ミニフロー弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12		
		電動機分解点検		130M	—	12		
4V-SI-026A 4 A 高圧注入ポンプ封水注入ライン止弁		駆動部点検	低	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	11		
4V-SI-026B 4 B 高圧注入ポンプ封水注入ライン止弁		駆動部点検	低	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	12		
4V-SI-062A 4 A 高圧注入ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	4		
4V-SI-062B 4 B 高圧注入ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	12		
4V-SI-066A 4 A B 高圧注入ポンプ出口連絡弁A		駆動部点検	高	130M	○	3		
		分解点検		130M	○	3		
		電動機分解点検		130M	○	3		
4V-SI-066B 4 A D 高圧注入ポンプ出口連絡弁B		駆動部点検	高	130M	—	4		
		分解点検		130M	—	4		
		電動機分解点検		130M	—	4		
4V-SI-067A 4号 A B ループ高温側高圧注入ライン止弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		電動機分解点検		130M	—	7		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4V-S1-067B 4号 C Dループ高温側高圧注入ライン止弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-S1-072A 4号 Aループ低温側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	7	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-S1-072B 4号 Bループ低温側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	4	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-S1-072C 4号 Cループ低温側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	5	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-S1-072D 4号 Dループ低温側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	6	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-S1-079A 4号 Aループ高温側高圧注入ライン第一逆止弁		分解点検	高	130M	—	7	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-S1-079B 4号 Bループ高温側高圧注入ライン第一逆止弁		分解点検	高	130M	—	8	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-S1-079C 4号 Cループ高温側高圧注入ライン第一逆止弁		分解点検	高	130M	—	9	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-S1-079D 4号 Dループ高温側高圧注入ライン第一逆止弁		分解点検	高	130M	—	10	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-S1-082A 4号 Aループ高温側高圧注入ライン第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	12	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-S1-082B 4号 Bループ高温側高圧注入ライン第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-S1-082C 4号 Cループ高温側高圧注入ライン第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-S1-082D 4号 Dループ高温側高圧注入ライン第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	8	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-S1-093A 4 A C/V再循環サンプル隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
		電動機分解点検		130M	—	9		
4V-S1-093B 4 B C/V再循環サンプル隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
		電動機分解点検		130M	—	10		
4V-S1-132A 4 A 蓄圧タンク出口弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12		
		電動機分解点検		130M	—	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4V-SI-132B 4 B 蓄圧タンク出口弁		駆動部点検	高	130M	○	3		
		分解点検		130M	○	3	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	○	3		
4V-SI-132C 4 C 蓄圧タンク出口弁		駆動部点検	高	130M	—	4		
		分解点検		130M	—	4	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	4		
4V-SI-132D 4 D 蓄圧タンク出口弁		駆動部点検	高	130M	—	5		
		分解点検		130M	—	5	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	5		
4V-SI-133A 4 A 蓄圧タンク出口第一逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SI-133B 4 B 蓄圧タンク出口第一逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	○	3		
		分解点検		130M	○	3		
		機能・性能試験		10C	○	3	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SI-133C 4 C 蓄圧タンク出口第一逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	—	4		
		分解点検		130M	—	4		
		機能・性能試験		10C	—	4	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SI-133D 4 D 蓄圧タンク出口第一逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	—	5		
		分解点検		130M	—	5		
		機能・性能試験		10C	—	5	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SI-134A 4 A 蓄圧タンク出口第一逆止弁	分解点検	高	130M	○	9	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
4V-SI-134B 4 B 蓄圧タンク出口第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	5	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
4V-SI-134C 4 C 蓄圧タンク出口第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	7	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
4V-SI-134D 4 D 蓄圧タンク出口第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	5	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
4V-SI-135A 4 A 蓄圧タンク出口第二逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7	GN4-85 1次系弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4V-SI-135B 4 B 蓄圧タンク出口第二逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	○	3		
		分解点検		130M	○	3		
		機能・性能試験		10C	○	3	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SI-135C 4 C 蓄圧タンク出口第二逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	—	4		
		分解点検		130M	—	4		
		機能・性能試験		10C	—	4	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SI-135D 4 D 蓄圧タンク出口第二逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	—	5		
		分解点検		130M	—	5		
		機能・性能試験		10C	—	5	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SI-136A 4 A 蓄圧タンク出口第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	12	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
4V-SI-136B 4 B 蓄圧タンク出口第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
4V-SI-136C 4 C 蓄圧タンク出口第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
4V-SI-136D 4 D 蓄圧タンク出口第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
4V-SI-143 4号 安全注入系逆止弁テストライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	6	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SI-144 4号 安全注入系逆止弁テストライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	6	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SI-154 4号 蓄圧タンク補給ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SI-165 4号 蓄圧タンク窒素供給ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		65M	—	11		
4V-SI-169 4号 蓄圧タンク窒素供給ライン安全弁		分解点検	低	130M	—	7		
		漏えい試験		10C	—	7	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	7		
4V-SI-172A 4 A 蓄圧タンク安全弁		分解点検	低	130M	—	11		
		漏えい試験		10C	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-SI-172B 4 B 蓄圧タンク安全弁		分解点検	低	130M	—	11		
		漏えい試験		10C	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	11		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4V-S1-172C 4 C 蓄圧タンク安全弁	分解点検	低	130M	—	11		
		漏えい試験		10C	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	11		
	4V-S1-172D 4 D 蓄圧タンク安全弁	分解点検	低	130M	—	11		
		漏えい試験		10C	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	11		
原子炉冷却系統施設 (化学体積制御系統設備)	4 A 充てんポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	○	11	GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-70 充てんポンプ冷却材補給系機能検査	
	4 A 充てんポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	○	11		
	4 B 充てんポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	—	11	GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-70 充てんポンプ冷却材補給系機能検査	
	4 B 充てんポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	—	12		
	4 C 充てんポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	—	12	GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-70 充てんポンプ冷却材補給系機能検査	
	4 C 充てんポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	—	11		
	4号 体積制御タンク	開放点検	高	130M	—	11		
	4号 非再生冷却器	開放点検	高	130M	—	11		
	4号 余剰抽出冷却器	開放点検	高	130M	—	9		
	4号 再生熱交換器	外観点検	高	1C	○	12		
	4号 封水冷却器	開放点検	高	130M	—	12		
	4号 冷却材フィルタ	開放点検	高	26M	—	12		
	4 A 冷却材脱塩塔入口フィルタ	開放点検	高	39M	—	11		
	4 B 冷却材脱塩塔入口フィルタ	開放点検	高	39M	—	12		
	4 A 封水注入フィルタ	開放点検	高	39M	—	11		
	4 B 封水注入フィルタ	開放点検	高	39M	—	12		
	4号 封水ストレーナ	開放点検	高	78M	—	11		
	4 A 冷却材混床式脱塩塔	外観点検	高	1C	○	12		
	4 B 冷却材混床式脱塩塔	外観点検	高	1C	○	12		
	4号 冷却材陽イオン脱塩塔	外観点検	高	1C	○	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
	4FCV-138 4号 充てんライン流量制御弁	駆動部点検	高	52M	—	11			
		分解点検		13M	○	12			
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-85 1次系弁検査		
	4FCV-140 4号 封水注入ライン流量制御弁	駆動部点検	高	52M	—	11			
		分解点検		13M	○	12			
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-85 1次系弁検査		
	4HCV-190 4号 余剰抽出流量設定弁	駆動部点検	高	130M	—	7			
		分解点検		130M	—	7			
		機能・性能試験		10C	—	7	GN4-85 1次系弁検査		
	4LCV-451 4号 抽出ライン第一止弁	駆動部点検	高	130M	—	12			
		分解点検		39M	—	11	GN4-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		3C	—	11			
	4LCV-452 4号 抽出ライン第二止弁	駆動部点検	高	130M	—	12			
		分解点検		39M	—	11	GN4-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		3C	—	11			
	4PCV-104 4号 抽出ライン圧力制御弁	駆動部点検	高	130M	—	11			
		分解点検		13M	○	12			
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-85 1次系弁検査		
	4TCV-104 4号 冷却材脱塩塔入口三方弁	駆動部点検	高	52M	○	9			
		分解点検		130M	—	11			
		機能・性能試験		10C	—	11	GN4-85 1次系弁検査		
	4HCV-102 4号 低圧抽出ライン流量設定弁	駆動部点検	高	130M	—	11			
		分解点検		130M	—	11			
		機能・性能試験		10C	—	11	GN4-85 1次系弁検査		
	4HCV-108 4号 冷却材陽イオン脱塩塔通水流量設定弁	駆動部点検	高	130M	—	11			
		分解点検		130M	—	11			
		機能・性能試験		10C	—	11	GN4-85 1次系弁検査		
4LCV-121A 4号 V C T 入口三方弁	駆動部点検	高	130M	—	4				
	分解点検		130M	—	12				
	機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1次系弁検査			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4LCV-121B 4号 V C T 第一出口弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1 次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	4		
4LCV-121C 4号 V C T 第二出口弁		駆動部点検	高	130M	○	3		
		分解点検		130M	○	3		
		機能・性能試験		10C	○	3	GN4-85 1 次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	○	3		
4LCV-121D 4号 C H P 非常用補給弁 A		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	6	GN4-85 1 次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	6		
4LCV-121E 4号 C H P 非常用補給弁 B		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	6	GN4-85 1 次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	6		
4V-CS-005A 4 A 抽出オリフィス出口内隔離弁		駆動部点検	高	52M	○	11		
		分解点検		130M	—	11	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4V-CS-005B 4 B 抽出オリフィス出口内隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	11		
		分解点検		130M	—	7	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4V-CS-005C 4 C 抽出オリフィス出口内隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	12		
		分解点検		130M	—	8	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4V-CS-006 4号 抽出オリフィス逃がし弁		分解点検	低	130M	—	12		
		漏えい試験		10C	—	12	GN4-86 1 次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	12		
4V-CS-008 4号 抽出ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4V-CS-022 4号 抽出ライン逃がし弁		分解点検	低	130M	—	7		
		漏えい試験		10C	—	7	GN4-86 1 次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	7		
4V-CS-025 4号 冷却材脱塩塔入口逆止弁		分解点検	高	130M	—	5		
4V-CS-026A 4 A 冷却材温床式脱塩塔入口弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	6		
		機能・性能試験		10C	—	6	GN4-85 1 次系弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
	4V-CS-026B 4 B 冷却材混床式脱塩塔入口弁	駆動部点検	高	130M	—	7			
		分解点検		130M	—	7			
		機能・性能試験		10C	—	7	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-CS-038 4号 冷却材陽イオン脱塩塔入口弁	駆動部点検	高	130M	—	7			
		分解点検		130M	—	7			
		機能・性能試験		10C	—	7	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-CS-048 4号 冷却材脱塩塔出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	12			
	4V-CS-090 4号 抽出ラインVCT移送逆止弁	分解点検	高	130M	—	5			
	4V-CS-128 4号 VCTカバーガス供給ライン逆止弁	分解点検	低	130M	—	5	GN4-87 1次系逆止弁検査		
	4V-CS-134 4号 VCT逃がし弁	分解点検	低	130M	—	11			
		漏えい試験		10C	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	11			
	4V-CS-152 4号 VCT出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	5			
	4V-CS-162A 4 A C H P ミニフローライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	7			
	4V-CS-162B 4 B C H P ミニフローライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	8			
	4V-CS-162C 4 C C H P ミニフローライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	9			
	4V-CS-165A 4 A C H P 出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	7			
	4V-CS-165B 4 B C H P 出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	8			
	4V-CS-165C 4 C C H P 出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	9			
	4V-CS-215 4号 充てん流量制御補助オリフィス切替弁	駆動部点検	高	130M	○	3			
		分解点検		130M	○	3			
		機能・性能試験		10C	○	3	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-CS-217 4号 充てんライン止弁	駆動部点検	高	130M	—	12			
		分解点検		130M	—	12	GN4-85 1次系弁検査		
機能・性能試験		10C		—	12				
電動機分解点検		130M		—	12				
4V-CS-220 4号 充てんライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	12				
	分解点検		130M	—	12	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
	電動機分解点検		130M	—	12				
4V-CS-222 4号 充てんライン 隔離逆止弁	分解点検	高	130M	—	5				
4V-CS-227 4号 加圧器補助スプレイ弁	駆動部点検	高	130M	—	11				
	分解点検		130M	—	11	GN4-85 1次系弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	11				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4V-CS-229 4号 加圧器補助スプレイ逆止弁	分解点検	高	130M	—	8	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-233 4号 Dループ充てんライン第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	4	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-235 4号 Dループ充てんライン第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	4	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-236 4号 Dループ充てんライン弁	駆動部点検	高	130M	—	10		
分解点検		65M		—	11			
機能・性能試験		5C		—	10	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-CS-253 4号 封水注入流量制御補助オリフィス切替弁	駆動部点検	高	130M	—	7		
分解点検		130M		—	7			
	4V-CS-271A 4 A R C P封水注入ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	11		
分解点検		130M		—	11			
機能・性能試験		10C		—	11	GN4-85 1次系弁検査		
電動機分解点検		130M		—	11			
	4V-CS-271B 4 B R C P封水注入ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	12		
分解点検		130M		—	12			
機能・性能試験		10C		—	12	GN4-85 1次系弁検査		
電動機分解点検		130M		—	12			
	4V-CS-271C 4 C R C P封水注入ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	○	3		
分解点検		130M		○	3			
機能・性能試験		10C		○	3	GN4-85 1次系弁検査		
電動機分解点検		130M		○	3			
	4V-CS-271D 4 D R C P封水注入ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	4		
分解点検		130M		—	4			
機能・性能試験		10C		—	4	GN4-85 1次系弁検査		
電動機分解点検		130M		—	4			
	4V-CS-276A 4 A R C P封水注入ライン第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	8	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-276B 4 B R C P封水注入ライン第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	9	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-276C 4 C R C P封水注入ライン第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	6	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-276D 4 D R C P封水注入ライン第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-278A 4 A R C P封水注入ライン第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	8	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-278B 4 B R C P封水注入ライン第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	9	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-278C 4 C R C P封水注入ライン第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	6	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-278D 4 D R C P封水注入ライン第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-283 4号 R C Pバージホヘッドタンク逃がし弁	分解点検	低	130M	—	5		
漏えい試験		10C		—	5	GN4-86 1次系安全弁検査		
機能・性能試験		10C		—	5			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4V-CS-294A 4 A 封水戻りオリフィスバイパス弁		駆動部点検	高	130M	○	3		
		分解点検		130M	○	3		
4V-CS-294B 4 B 封水戻りオリフィスバイパス弁		駆動部点検	高	130M	○	3		
		分解点検		130M	○	3		
4V-CS-294C 4 C 封水戻りオリフィスバイパス弁		駆動部点検	高	130M	—	4		
		分解点検		130M	—	4		
4V-CS-294D 4 D 封水戻りオリフィスバイパス弁		駆動部点検	高	130M	—	4		
		分解点検		130M	—	4		
4V-CS-301 4号 余剰抽出ライン第一止弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	8		
4V-CS-302 4号 余剰抽出ライン第二止弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	8		
4V-CS-306 4号 余剰抽出冷却器出口三方弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8	GN4-85 1次系弁検査	
4V-CS-307 4号 R C P封水戻りライン逃がし弁		分解点検	低	130M	—	11		
		漏えい試験		10C	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-CS-310 4号 R C P封水戻りライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	11		
4V-CS-311 4号 R C P封水戻りライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	12		
4V-CS-322 4号 封水冷却器入口戻り水逃がし弁		分解点検	低	130M	—	10		
		漏えい試験		10C	—	10	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	10		
4PCV-0122A 4号 V C T水素放出ライン止弁		駆動部点検	高	130M	—	5		
		分解点検		65M	—	10		
4PCV-0122B 4号 V C T窒素放出ライン止弁		駆動部点検	高	130M	—	5		
		分解点検		65M	—	10		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備)	原子炉補機冷却水系 弁 9 個	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-15 原子炉補機冷却系機能検査	
	4 A 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	○	11		
		機能・性能試験		4C	○	11	GN4-84 1次系ポンプ機能検査	
	4 A 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	○	12		
	4 B 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	—	11		
		機能・性能試験		4C	—	11	GN4-84 1次系ポンプ機能検査	
	4 B 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	○	11		
	4 C 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	—	11		
		機能・性能試験		4C	—	11	GN4-84 1次系ポンプ機能検査	
	4 C 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	○	11		
	4 D 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	—	12		
		機能・性能試験		4C	—	12	GN4-84 1次系ポンプ機能検査	
	4 D 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	—	12		
	4 A 原子炉補機冷却水冷却器	簡易点検(亜鉛板取替他)	高	13M	○	12		GN4-92 1次系熱交換器検査
		開放点検		26M	—	12		
		非破壊試験		52M	—	12		
4 B 原子炉補機冷却水冷却器	簡易点検(亜鉛板取替他)	高	13M	○	12		GN4-92 1次系熱交換器検査	
	開放点検		26M	○	11			
	非破壊試験		52M	○	11			
原子炉補機冷却水サージタンク	開放点検	高	65M	—	11			
4V-CCT-101 原子炉補機冷却水サージタンク真空逃がし弁	分解点検	低	130M	—	10	GN4-88 1次系真空破壊弁検査		
	外観点検		10C	—	10			
4V-CC-010 4号 C C Wサージタンク逃がし弁	分解点検	低	195M	—	11		GN4-86 1次系安全弁検査	
	漏えり試験		15C	—	11			
	機能・性能試験		15C	—	11			
4V-CC-042 4 C C C W戻り母管止弁	駆動部点検	高	195M	—	11		GN4-85 1次系弁検査	
	分解点検		195M	—	11			
	電動機分解点検		130M	—	10			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
	4V-CC-052A 4 A C C W P 出口逆止弁	分解点検	高	195M	—	1			
	4V-CC-052B 4 B C C W P 出口逆止弁	分解点検	高	195M	—	2			
	4V-CC-052C 4 C C C W P 出口逆止弁	分解点検	高	195M	—	11			
	4V-CC-052D 4 D C C W P 出口逆止弁	分解点検	高	195M	○	11			
	4RCV-056 4号 C C W サージタンク逃がしライン止弁	駆動部点検		低	130M	—	10		
		分解点検			195M	—	10		
		機能・性能試験			15C	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-CC-058 4 C C C W 供給母管止弁	駆動部点検		高	195M	—	11		
		分解点検			195M	—	11	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検			130M	—	10		
	4V-CC-063A 4 A C C W P 出口弁	駆動部点検		高	195M	—	5		
		分解点検			195M	—	5		
		機能・性能試験			15C	—	5	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検			130M	—	5		
	4V-CC-063B 4 B C C W P 出口弁	駆動部点検		高	195M	—	5		
		分解点検			195M	—	5		
		機能・性能試験			15C	—	5	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検			130M	—	5		
	4V-CC-063C 4 C C C W P 出口弁	駆動部点検		高	195M	—	4		
		分解点検			195M	—	4		
		機能・性能試験			15C	—	4	GN4-85 1次系弁検査	
電動機分解点検		130M			—	4			
4V-CC-063D 4 D C C W P 出口弁	駆動部点検		高	195M	—	4			
	分解点検			195M	—	4			
	機能・性能試験			15C	—	4	GN4-85 1次系弁検査		
	電動機分解点検			130M	—	4			
4V-CC-065 4号 C C W 戻り母管逃がし弁	分解点検		低	195M	—	11			
	漏えり試験			15C	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験			15C	—	11			
4V-CC-083 4号 AM用窒素マニホールド出口弁	分解点検		高	195M	—	10			
4V-CC-082 4号 AM用窒素マニホールド出ロライン安全弁	分解点検		高	195M	—	7			
	漏えり試験			15C	—	7	GN4-86 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験			15C	—	7			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4V-CC-114A 4 A RHR冷却器CCW第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	5		
		分解点検		195M	—	5		
		機能・性能試験		15C	—	5	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	5		
4V-CC-114B 4 B RHR冷却器CCW第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	10		
		分解点検		195M	—	10		
		機能・性能試験		15C	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	10		
4V-CC-149A 4 A SFP冷却器CCW第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	7		
		分解点検		195M	—	7		
		機能・性能試験		15C	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
4V-CC-149B 4 B SFP冷却器CCW第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	10		
		分解点検		195M	—	10		
		機能・性能試験		15C	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	10		
4V-CC-178A 4 A C/Vスプレイ冷却器CCW第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	7		
		分解点検		195M	—	7		
		機能・性能試験		15C	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
4V-CC-178B 4 B C/Vスプレイ冷却器CCW第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	10		
		分解点検		195M	—	10		
		機能・性能試験		15C	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	10		
4V-CC-189A 4 A B C/V再循環ユニットCCW入口ライン外周弁		駆動部点検	高	195M	—	7		
		分解点検		195M	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
4V-CC-189B 4 C D C/V再循環ユニットCCW入口ライン外周弁		駆動部点検	高	195M	—	3		
		分解点検		195M	—	3	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
4V-CC-195A 4 A B C/V再循環ユニットCCW入口ライン逃がし弁		分解点検	低	130M	—	11		
		漏えい試験		10C	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-CC-195B 4 C D C/V再循環ユニットCCW入口ライン逃がし弁		分解点検	低	130M	—	12		
		漏えい試験		10C	—	12	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4V-CC-198A 4 A C/V再循環ユニットCCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	—	1		
		分解点検		195M	—	1	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	9		
4V-CC-198B 4 B C/V再循環ユニットCCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	—	1		
		分解点検		195M	—	1	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	9		
4V-CC-198C 4 C C/V再循環ユニットCCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	—	10		
		分解点検		195M	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	10		
4V-CC-198D 4 D C/V再循環ユニットCCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	—	10		
		分解点検		195M	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	10		
4V-CC-210 4号 AM用代替再循環ポンプCCW入口弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	5		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CC-211 4号 AM用代替再循環ポンプCCW出口弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	5		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CC-212 4号 AM用代替再循環ポンプCCW出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	5		
4V-CC-213 4号 AM用代替再循環ポンプCCW入口ライン逃がし弁		分解点検	高	130M	—	5		
		漏えい試験		10C	—	5	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	5		
4V-CC-348 4号 CRDM冷却ユニットCCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	—	9		
		分解点検		195M	—	9	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	9		
4V-CC-401 4号 RCP, 余剰抽出冷却器CCW入口ライン止弁		駆動部点検	高	195M	—	8		
		分解点検		195M	—	5	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CC-403 4号 RCP, 余剰抽出冷却器CCW入口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	—	3		
		分解点検		195M	—	3	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	○	3		
4V-CC-405 4号 RCP, 余剰抽出冷却器CCW入口ライン隔離逆止弁		分解点検	高	130M	—	5		
4V-CC-421A 4 A RCP熱遮へい装置CCW逃がし弁		分解点検	低	130M	—	11		
		漏えい試験		10C	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	11		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
	4V-CC-421B 4 B R C P 熱遮へい装置 C C W 逃がし弁	分解点検	低	130M	—	11		GN4-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	11			
		機能・性能試験		10C	—	11			
	4V-CC-421C 4 C R C P 熱遮へい装置 C C W 逃がし弁	分解点検	低	130M	—	11		GN4-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	11			
		機能・性能試験		10C	—	11			
	4V-CC-421D 4 D R C P 熱遮へい装置 C C W 逃がし弁	分解点検	低	130M	—	11		GN4-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	11			
		機能・性能試験		10C	—	11			
	4V-CC-425 4号 R C P, 余剰抽出冷却器 C C W 出口ライン逃がし弁	分解点検	低	130M	—	11		GN4-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	11			
		機能・性能試験		10C	—	11			
4V-CC-427 4号 R C P, 余剰抽出冷却器 C C W 出口ライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	4		GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検		130M	—	9				
	電動機分解点検		130M	—	7				
4V-CC-429 4号 R C P, 余剰抽出冷却器 C C W 出口ライン外隔離弁	駆動部点検	高	195M	—	7		GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検		195M	—	7				
	電動機分解点検		130M	—	7				
原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却海水設備)	原子炉補機冷却海水系 弁 4 個	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-15 原子炉補機冷却系機能検査		
		4 A 海水ポンプ	簡易点検(グラントパッキン取替他)	高	13M	○	12		
			分解点検		26M	—	12	GN4-121 2 次系ポンプ分解検査	
			外観点検		4C	—	12		保温材施工附属配管
	機能・性能試験		2C		—	12	GN4-122 2 次系ポンプ機能検査		
	4 A 海水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 切替毎)	
		普通点検(軸受点検)		26M	—	12			
		分解点検		52M	—	12			
	4 B 海水ポンプ	簡易点検(グラントパッキン取替他)	高	13M	○	12		保温材施工附属配管	
		分解点検		26M	—	12	GN4-121 2 次系ポンプ分解検査		
		外観点検		4C	—	12			
		機能・性能試験		2C	—	12	GN4-122 2 次系ポンプ機能検査		
	4 B 海水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 切替毎)	
		普通点検(軸受点検)		26M	○	12			
		分解点検		52M	○	11			
	4 C 海水ポンプ	簡易点検(グラントパッキン取替他)	高	13M	○	12		保温材施工附属配管	
		分解点検		26M	○	12	GN4-121 2 次系ポンプ分解検査		
		外観点検		4C	○	12			
		機能・性能試験		2C	○	12	GN4-122 2 次系ポンプ機能検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
	4 C 海水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)	
		普通点検(軸受点検)		26M	○	12			
		分解点検		52M	○	11			
	4 D 海水ポンプ	簡易点検(グランドパッキン取替他)	高	13M	○	12			保温材施工附属配管
		分解点検		26M	○	12	GN4-121 2次系ポンプ分解検査		
		外観点検		4C	○	12			
		機能・性能試験		2C	○	12	GN4-122 2次系ポンプ機能検査		
	4 D 海水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)	
		普通点検(軸受点検)		26M	○	12			
		分解点検		52M	—	12			
	4S-SW-507A 4 A 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	12			
	4S-SW-507B 4 B 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	12			
	4S-SW-507C 4 C 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	12			
	4S-SW-507D 4 D 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	12			
	4V-SW-590A 4号 海水供給母管連絡弁A	駆動部点検	高	130M	—	9			GN4-123 2次系弁検査
		分解点検		65M	—	11			
		電動機分解点検		130M	—	8			
	4V-SW-590B 4号 海水供給母管連絡弁B	駆動部点検	高	130M	—	9			GN4-123 2次系弁検査
		分解点検		65M	—	11			
		電動機分解点検		130M	—	9			
4V-SW-570A 4 A C C W冷却器海水第二出口止弁	駆動部点検	高	130M	—	12			GN4-85 1次系弁検査	
	分解点検		130M	—	9				
	電動機分解点検		130M	—	9				
4V-SW-570B 4 B C C W冷却器海水第二出口止弁	駆動部点検	高	130M	—	7			GN4-85 1次系弁検査	
	分解点検		130M	—	10				
	電動機分解点検		130M	—	7				
海水配管(屋外)	開放点検	高	39M	○	12				
海水配管(屋内)	開放点検	高	65M	—	12				
原子炉冷却系統施設 (原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えい を監視する装置)	格納容器サンプル水位上昇率測定装置、格納容器内凝縮液量測定装置及び 炉内計装用シンブル配管室漏えい検出装置	機能・性能試験	低	1C	○	12	GN4-79 格納容器サンプル水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液 量測定装置漏えい検出器機能検査		
計測制御系統施設 (制御材)	1. 停止グループ制御棒クラスタ 24本 2. 制御グループ制御棒クラスタ 29本	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-30 制御棒駆動系機能検査 GN4-107 制御棒クラスタ動作検査		
	1. 制御棒クラスタ 2. バーナブルポイズン 3. 2次中性子源 4. プラギングデバイス } 1式※	外観点検	高	1C	○	12	GN4-108 制御棒クラスタ検査	※:炉心設計による	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
計測制御系統施設 (制御棒駆動装置)	制御棒位置指示装置	特性試験	低	13M	○	12	GN4-109 制御棒位置指示装置設定値検査	
	4 A MGセット用発電機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		普通点検(軸受点検)		39M	—	12		
		分解点検		65M	—	10		
	4 B MGセット用発電機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		普通点検(軸受点検)		39M	○	11		
		分解点検		65M	○	9		
4 A MGセット用電動機	分解点検	低	39M	—	12		(振動診断: 1ヶ月)	
4 B MGセット用電動機	分解点検	低	39M	○	11		(振動診断: 1ヶ月)	
計測制御系統施設 (ほう酸注入機能を有する設備)	4 A ほう酸ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		39M	○	11	GN4-31 ほう酸ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-56 ほう酸ポンプ機能検査	
	4 A ほう酸ポンプ用電動機	分解点検	高	39M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B ほう酸ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		39M	—	11	GN4-31 ほう酸ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-56 ほう酸ポンプ機能検査	
	4 B ほう酸ポンプ用電動機	分解点検	高	39M	—	12		(振動診断: 1ヶ月)
	4 A ほう酸タンク	開放点検	高	130M	—	11		
	4 B ほう酸タンク	開放点検	高	130M	—	11		
	4号 ほう酸フィルタ	開放点検	高	65M	—	12		
	4FCV-220A 4号 ほう酸補給ライン流量制御弁	駆動部点検	低	130M	—	4		GN4-85 1次系弁検査
		分解点検		130M	—	4		
		機能・性能試験		10C	—	4		
	4FCV-220B 4号 ほう酸混合器VCT出口側補給弁	駆動部点検	低	130M	○	3		GN4-85 1次系弁検査
		分解点検		130M	○	3		
		機能・性能試験		10C	○	3		
	4FCV-223A 4号 1次系純水補給ライン流量制御弁	駆動部点検	高	130M	—	11		GN4-85 1次系弁検査
		分解点検		130M	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
	4FCV-223B 4号 ほう酸混合器VCT入口側補給弁	駆動部点検	低	130M	○	3		GN4-85 1次系弁検査
分解点検		39M		—	12			
機能・性能試験		3C		—	12			
4V-CS-462A 4 A B A T 入口弁	駆動部点検	低	130M	—	4		GN4-85 1次系弁検査	
	分解点検		130M	—	12			
	機能・性能試験		10C	—	4			
4V-CS-462B 4 B B A T 入口弁	駆動部点検	低	130M	○	3		GN4-85 1次系弁検査	
	分解点検		130M	○	3			
	機能・性能試験		10C	○	3			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4V-CS-473 4号 ほう酸補給タンク出口逆止弁	分解点検	低	130M	—	8	GN4-87 1次系逆止弁検査	
	4V-CS-478A 4 A B A T 出口弁	駆動部点検	高	130M	—	4		
分解点検		130M		—	4			
機能・性能試験		10C		—	4	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-CS-478B 4 B B A T 出口弁	駆動部点検	高	130M	—	5		
分解点検		130M		—	5			
機能・性能試験		10C		—	5	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-CS-486A ほう酸ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	10		
	4V-CS-486B ほう酸ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	10		
	4V-CS-500A 4 A B A T 循環弁	駆動部点検	高	130M	—	11		
分解点検		130M		—	11			
機能・性能試験		10C		—	11	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-CS-500B 4 B B A T 循環弁	駆動部点検	高	130M	—	12		
分解点検		130M		—	12			
機能・性能試験		10C		—	12	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-CST-501A 4 A ほう酸タンク真空逃がし弁	分解点検	低	130M	—	10		
外観点検		10C		—	10	GN4-88 1次系真空破壊弁検査		
	4V-CST-501B 4 B ほう酸タンク真空逃がし弁	分解点検	低	130M	—	10		
外観点検		10C		—	10	GN4-88 1次系真空破壊弁検査		
	4V-CS-502 4号 B A T 窒素供給ライン逆止弁	分解点検	低	130M	—	6	GN4-87 1次系逆止弁検査	
	4V-CS-505A 4 A B A T 逃がし弁	分解点検	低	130M	—	6		
漏えい試験		10C		—	6	GN4-86 1次系安全弁検査		
機能・性能試験		10C		—	6			
	4V-CS-505B 4 B B A T 逃がし弁	分解点検	低	130M	—	11		
漏えい試験		10C		—	11	GN4-86 1次系安全弁検査		
機能・性能試験		10C		—	11			
	4V-CS-526 4号 緊急ほう酸注入弁	駆動部点検	高	130M	—	4		
分解点検		130M		—	4			
機能・性能試験		10C		—	4	GN4-85 1次系弁検査		
電動機分解点検		130M		—	4			
	B 1次系純水タンク	開放点検	低	130M	○	8		
	V-PMT-102B B 1次系純水タンク真空逃がし弁	分解点検	低	130M	—	11	GN4-88 1次系真空破壊弁検査	
	V-PMT-106B B 1次系純水タンク真空逃がし弁	分解点検	低	130M	—	10	GN4-88 1次系真空破壊弁検査	
	V-PM-505B B P M T 出口弁	駆動部点検	低	130M	—	8		
分解点検		130M		—	8			
機能・性能試験		10C		—	8	GN4-85 1次系弁検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	V-PM-517B B PMT ミニフロー切替弁	駆動部点検	低	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8	GN4-85 1次系弁検査	
	V-PM-545B 脱気水B PMTバイパス逆止弁	分解点検	低	130M	—	10	GN4-87 1次系逆止弁検査	
計測制御系統施設 (制御用空気設備)	1. 制御用空気圧縮機 2台 2. 所内用空気4号側連絡弁 1台 3. 制御用空気供給母管連絡弁 2台 4. 制御用空気格納容器内供給元弁 2台	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-32 制御用空気圧縮系機能検査	
	4 A 制御用空気圧縮機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		26M	—	12		
	4 A 制御用空気圧縮機用電動機	分解点検	高	26M	—	12		(振動診断:切替毎)
	4 B 制御用空気圧縮機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		26M	○	11		
	4 B 制御用空気圧縮機用電動機	分解点検	高	26M	○	12		(振動診断:切替毎)
	4 A 制御用空気圧縮機アフタークーラ	開放点検	高	52M	—	12		
	4 B 制御用空気圧縮機アフタークーラ	開放点検	高	52M	—	11		
	4 A 制御用空気圧縮機インタークーラ	開放点検	高	52M	—	12		
	4 B 制御用空気圧縮機インタークーラ	開放点検	高	52M	—	11		
	4 A 制御用空気だめ	開放点検	高	78M	—	11		
	4 B 制御用空気だめ	開放点検	高	78M	—	11		
	4 A 制御用空気除湿装置 A 1 吸着塔	開放点検	高	26M	—	12		
	4 A 制御用空気除湿装置 A 2 吸着塔	開放点検	高	26M	—	12		
	4 B 制御用空気除湿装置 B 1 吸着塔	開放点検	高	26M	—	12		
	4 B 制御用空気除湿装置 B 2 吸着塔	開放点検	高	26M	—	12		
	4 A 制御用空気除湿装置送風機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		
		分解点検		52M	○	11		
	4 A 制御用空気除湿装置送風機用電動機	分解点検	高	52M	○	11		
	4 B 制御用空気除湿装置送風機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		
		分解点検		52M	—	12		
	4 B 制御用空気除湿装置送風機用電動機	分解点検	高	52M	—	12		
	4V-1A-501A 4 A 制御用空気供給母管連絡弁	駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	9		
	4V-1A-501B 4 B 制御用空気供給母管連絡弁	駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4V-1A-505A 4 A 制御用空気主蒸気逃がし弁等供給元弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
		機能・性能試験		10C	—	9	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	9		
4V-1A-505B 4 B 制御用空気主蒸気逃がし弁等供給元弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-1A-508A 4 A 制御用空気供給ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	4		
		分解点検		130M	—	4	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	4		
4V-1A-508B 4 B 制御用空気供給ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	5		
		分解点検		130M	—	5	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	5		
4V-1A-510A 4 A 制御用空気格納容器内供給元弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
		電動機分解点検		130M	—	9		
4V-1A-510B 4 B 制御用空気格納容器内供給元弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-1C-003A 4 A インタークーラ安全弁		分解点検	低	130M	—	11		
		漏えい試験		10C	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-1C-003B 4 B インタークーラ安全弁		分解点検	低	130M	—	11		
		漏えい試験		10C	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-1C-008A 4 A ドレンセパレータ安全弁		分解点検	低	130M	—	9		
		漏えい試験		10C	—	9	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	9		
4V-1C-008B 4 B ドレンセパレータ安全弁		分解点検	低	130M	—	10		
		漏えい試験		10C	—	10	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	10		
4V-1C-014A 4 A 制御用空気だめ安全弁		分解点検	低	130M	○	11		
		漏えい試験		10C	○	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	11		
4V-1C-014B 4 B 制御用空気だめ安全弁		分解点検	低	130M	—	11		
		漏えい試験		10C	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	11		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4V-1C-022A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 1 吸着塔入口弁	分解点検	高	26M	—	12		
	4V-1C-022B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 1 吸着塔入口弁	分解点検	高	26M	○	11		
	4V-1C-023A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 2 吸着塔入口弁	分解点検	高	26M	—	12		
	4V-1C-023B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 2 吸着塔入口弁	分解点検	高	26M	○	11		
	4V-1C-024A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 1 吸着塔再生空気出口弁	分解点検	高	26M	—	12		
	4V-1C-024B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 1 吸着塔再生空気出口弁	分解点検	高	26M	○	11		
	4V-1C-025A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 2 吸着塔再生空気出口弁	分解点検	高	26M	—	12		
	4V-1C-025B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 2 吸着塔再生空気出口弁	分解点検	高	26M	○	11		
	4V-1C-032A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 1 吸着塔再生空気入口弁	分解点検	高	26M	—	12		
	4V-1C-032B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 1 吸着塔再生空気入口弁	分解点検	高	26M	○	11		
	4V-1C-033A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 2 吸着塔再生空気入口弁	分解点検	高	26M	—	12		
	4V-1C-033B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 2 吸着塔再生空気入口弁	分解点検	高	26M	○	11		
	4V-1C-037A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 1 吸着塔出口逆止弁	分解点検	高	26M	—	12		
	4V-1C-037B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 1 吸着塔出口逆止弁	分解点検	高	26M	○	11		
	4V-1C-038A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 2 吸着塔出口逆止弁	分解点検	高	26M	—	12		
	4V-1C-038B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 2 吸着塔出口逆止弁	分解点検	高	26M	○	11		
	4V-1C-093A 4 A 制御用空気除湿装置冷却再生空気入口弁	分解点検	高	26M	—	12		
	4V-1C-093B 4 B 制御用空気除湿装置冷却再生空気入口弁	分解点検	高	26M	○	11		
計測制御系統施設 (その他設備)	原子炉トリップ遮断器盤	機能・性能試験	高	1C	○	12		
	原子炉トリップ遮断器 (RTA-1)	機能・性能試験 蓄勢部点検		1C 78M	○ —	12 11		
	原子炉トリップ遮断器 (RTA-2)	機能・性能試験 蓄勢部点検	高	1C 78M	○ —	12 11		
	原子炉トリップ遮断器 (RTB-1)	機能・性能試験 蓄勢部点検		1C 78M	○ —	12 11		
	原子炉トリップ遮断器 (RTB-2)	機能・性能試験 蓄勢部点検	高	1C 78M	○ —	12 11		
	原子炉トリップ遮断器 (RTC-1)	機能・性能試験 蓄勢部点検		1C 78M	○ —	12 11		
	原子炉トリップ遮断器 (RTC-2)	機能・性能試験 蓄勢部点検	高	1C 78M	○ —	12 11		
	原子炉トリップ遮断器 (RTD-1)	機能・性能試験 蓄勢部点検		1C 78M	○ —	12 11		
	原子炉トリップ遮断器 (RTD-2)	機能・性能試験 蓄勢部点検	高	1C 78M	○ —	12 11		
	1. 原子炉保護系ロジック回路 29回路 (原子炉トリップに係るもの) 2. 安全防護系ロジック回路 26回路	機能・性能試験		高	1C	○	12	GN4-33 安全保護系機能検査

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	1. 保安規定に定める原子炉トリップ、工学的安全施設の始動、原子炉格納容器隔離等を行うためのすべての伝送器、設定器及び保護継電器 (1) 1次冷却材等計測装置 68個 伝送器 146個 設定器(保護継電器含む) (2) 核計測装置 20個 設定器	特性試験	高	13M	○	12	GN4-34 安全保護系設定値確認検査	
	2. 重要な指示計器 (1) 1次冷却材等計測装置 現場指示計 11個 中央制御室指示計 20個 (2) 核計測装置 中央制御室指示計 8個							
	1. パーミッシュロジック回路 (原子炉保護系ロジック関連) 5回路 2. パーミッシュロジック回路 (安全防護系ロジック関連) 1回路	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-111 安全保護系機能検査(パーミッシュロジック検査)	
	事故時監視計器 指示計 35個	特性試験	高	13M	○	12	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	事故時試料採取設備 ・格納容器雰囲気ガス試料採取設備 1台	機能・性能試験	低	1C	○	12		
	1. 制御棒制御系 2. 加圧器水位制御系 3. 加圧器圧力制御系 4. 蒸気発生器水位制御系	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-72 計測制御系機能検査	一部定検起動後
	1次系及び2次系計測制御装置	特性試験	高	13M	○	12	GN4-73 計測制御系監視機能検査	
	原子炉、タービン及び発電機相互の停止インターロック機構	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-113 総合インターロック検査	
	炉外核計測装置 1. 中性子源領域計測装置 2台 2. 中間領域計測装置 2台 3. 出力領域計測装置 4台	特性試験	高	13M	○	12	GN4-106 核計装設備検査	一部定検起動後
	炉内核計装装置 1式	機能・性能試験	低	1C	○	12	GN4-106 核計装設備検査	
	原子炉安全保護計装盤 1式	特性試験	高	13M	○	12		
	原子炉安全保護シーケンス盤 1式	機能・性能試験	高	1C	○	12		
	原子炉安全保護ロジック盤 1式	機能・性能試験	高	1C	○	12		
	炉外核計装保護盤 1式	特性試験	高	13M	○	12		
	6. 6 kV非常用母線電圧保護継電器 1式	特性試験	高	13M	○	12		
	1次冷却材ポンプ電源監視盤 1式	特性試験	高	13M	○	12		
	事故時放射線監視盤 1式	特性試験	高	13M	○	12		
	制御用空気圧縮機制御盤 1式	特性試験	高	13M	○	12		
	制御用空気除湿装置制御盤 1式	特性試験	高	13M	○	12		
	計装電源盤(後備電源盤・切替盤・分電盤含む) 1式	特性試験他	高	13M	○	12		
	ディーゼル発電機制御盤 1式	特性試験	高	13M	○	12		
	中央制御室外原子炉停止盤 1式	機能・性能試験	高	1C	○	12		
	中央制御室外換気空調盤 1式	機能・性能試験	高	1C	○	12		
	主盤 1式	外観点検	高	1C	○	12		
	原子炉補助盤 1式	外観点検	高	1C	○	12		
	原子炉関連盤 1式	外観点検	高	1C	○	12		
	タービン発電機補助盤 1式	外観点検	高	1C	○	12		
	所内盤 1式	外観点検	高	1C	○	12		
	空調用冷凍機制御盤 1式	特性試験	高	13M	○	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	電気ベネトレーション 1式	外観点検	高	1C	○	12		
	AM設備制御盤 1式	特性試験	高	13M	○	12		
	その他設備 1式	特性試験	高	13M	○	12		
	運転指令設備(ベージング装置) (3,4号機共用)	外観点検	低	1F	○	2020年度		定検停止中又はプラント運転中
	緊急時運転パラメータ伝送システム(SPBS) (3,4号機共用)	機能・性能試験	高	1C	○	12		定検停止中又はプラント運転中
計測制御施設 (発電用原子炉の運転を管理するための制 御装置)	中央制御室外原子炉停止盤補機操作回路 27回路	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-74 原子炉の停止制御回路健全性確認検査	
	周辺監視カメラ他 (3,4号機共用) 4台	機能・性能試験	低	1F	○	2020年度		定検停止中又はプラント運転中
放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備)	4号 加圧器透がシタンク	開放点検	低	39M	○	10		
	4号 格納容器冷却材ドレンタンク	開放点検	低	39M	—	12		
	4号 格納容器サンプ	外観点検	低	1C	○	12		
	4号 補助建屋サンプタンク	開放点検	低	3Y	—	2020年度		プラント運転中
	4号 補助建屋サンプフィルタ	開放点検	低	10Y	—	2012年度		プラント運転中
	4 A 格納容器サンプポンプ	分解点検	低	39M	—	11		
		機能・性能試験		3C	—	11	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4 A 格納容器サンプポンプ用電動機	分解点検	低	39M	—	12		
		機能・性能試験		3C	—	12	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4 B 格納容器サンプポンプ	分解点検	低	39M	—	12		
		機能・性能試験		3C	—	12	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4 B 格納容器サンプポンプ用電動機	分解点検	低	39M	—	12		
		機能・性能試験		3C	—	12	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4 A 補助建屋サンプポンプ	分解点検	低	6Y	○	2016年度		
		機能・性能試験		6F	○	2016年度	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
	4 A 補助建屋サンプポンプ用電動機	分解点検	低	6Y	—	2016年度		
		機能・性能試験		6F	—	2016年度	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
	4 B 補助建屋サンプポンプ	分解点検	低	6Y	—	2017年度		
		機能・性能試験		6F	—	2017年度	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
	4 B 補助建屋サンプポンプ用電動機	分解点検	低	6Y	—	2017年度		
		機能・性能試験		6F	—	2017年度	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
	4 A 格納容器冷却材ドレンポンプ	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	12		
		分解点検		78M	—	12		
		機能・性能試験		6C	—	12	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4 A 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機	分解点検	低	39M	—	12		
		機能・性能試験		3C	—	12	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4 B 格納容器冷却材ドレンポンプ	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	12		
分解点検		78M		—	11			
機能・性能試験		6C		—	11	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4 B 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機		分解点検	低	39M	—	12		
		機能・性能試験		3C	—	12	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
A 洗浄排水モニタポンプ		簡易点検(油入替他)	低	1Y	○	2020年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2018年度		
		機能・性能試験		6F	—	2018年度	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		6Y	—	2018年度		
A 洗浄排水モニタポンプ用電動機		機能・性能試験	低	6F	—	2018年度	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2018年度		
B 洗浄排水モニタポンプ		簡易点検(油入替他)	低	1Y	○	2020年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2019年度		
		機能・性能試験		6F	—	2019年度	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
B 洗浄排水モニタポンプ用電動機		分解点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2020年度	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
洗浄排水濃縮液移送ポンプ		分解点検	低	6Y	—	2017年度		プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2017年度	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
雑固体溶融処理建屋床ドレンサンプタンク		開放点検	低	5Y	—	2018年度		プラント運転中
雑固体溶融処理建屋洗浄排水サンプタンク		開放点検	低	5Y	○	2017年度		プラント運転中
雑固体溶融処理建屋床ドレン送水ポンプ		分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2019年度	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
雑固体溶融処理建屋床ドレン送水ポンプ用電動機		分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2019年度	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
雑固体溶融処理建屋洗浄排水送水ポンプ		分解点検	低	6Y	—	2018年度		プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2018年度	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
雑固体溶融処理建屋洗浄排水送水ポンプ用電動機		分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2019年度	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
4V-WL-088 4号 CVD T G、Aライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		65M	—	12		
4V-WL-089 4号 CVD T G、Aライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		65M	—	12		
4V-WL-093 4号 CVD Tベントライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		65M	○	8		
4V-WL-094 4号 CVD Tベントライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		65M	○	8		
4V-WL-098 4号 CVD T窒素供給ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		65M	—	9		
4V-WL-143 4号 C/Vサンプポンプ出口ライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11	GN4-16 原子炉格納容器隔離弁分解検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4V-WL-144 4号 C/V サンプポンプ出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	6	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4LCV-1000 4号 C/V 冷却材ドレンポンプ出口ライン内隔離弁		駆動部点検	高	52M	○	9		
		分解点検		130M	—	5	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4V-WL-043 4号 C/V 冷却材ドレンポンプ出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	5		
		分解点検		130M	—	5	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4V-WL-008 4号 CVD T逃がし弁		分解点検	低	130M	○	3		
		漏えい試験		10C	○	3	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	3		
4V-WL-095 4号 CVD T窒素供給ライン逆止弁		分解点検	低	130M	—	10	GN4-87 1次系逆止弁検査	
4V-WL-152 4号 凝縮液量測定装置脱塩水逆止弁		分解点検	低	130M	—	7	GN4-87 1次系逆止弁検査	
洗浄排水処理装置 1式		分解・開放点検	低	3Y~10Y	—	2019年度		プラント運転中
A 洗浄排水モニタタンク		開放点検	低	10Y	—	2019年度		プラント運転中
B 洗浄排水モニタタンク		開放点検	低	10Y	—	2020年度		プラント運転中
洗浄排水濃縮液タンク		開放点検	低	10Y	—	2012年度		プラント運転中
洗浄排水濃縮液移送容器		開放点検	低	10Y	—	2013年度		プラント運転中
V-WE-332 洗浄排水処理装置コンデンサ安全弁		分解点検	低	10Y	—	2016年度		プラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2016年度	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10F	—	2016年度		
V-WL-750 洗浄排水濃縮液タンク安全弁		分解点検	低	10Y	—	2015年度		プラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2015年度	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10F	—	2015年度		
V-WE-306 洗浄排水処理装置薬品注入ライン逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	GN4-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-WE-325 洗浄排水処理装置蒸発器洗浄水入口逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	GN4-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-WE-326 洗浄排水処理装置蒸発器上部洗浄水入口逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	GN4-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-WE-328 洗浄排水処理装置精留塔洗浄水入口逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	GN4-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-WE-334 洗浄排水処理装置窒素供給逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	GN4-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-WL-741 洗浄排水濃縮液タンク窒素供給逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	GN4-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-WL-753 洗浄排水濃縮液移送ポンプ入口ライン洗浄逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	GN4-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-WL-768 洗浄排水濃縮液移送ポンプ出口ライン洗浄逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	GN4-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
雑固体溶融処理設備		機能・性能試験	低	1C	○	12	GN4-118 固体廃棄物処理系溶融炉運転性能検査	プラント運転中
雑固体溶融処理設備 1式		開放点検	低	2Y	○	2020年度		プラント運転中
V-WM-200 溶融炉逃がし弁		分解点検	低	4Y	○	2016年度		プラント運転中
		漏えい試験		4F	○	2016年度	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		4F	○	2016年度		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術			
	V001A ドレンセパレータ A 安全弁	分解点検	低	4Y	○	2016年度	GN4-86 1 次系安全弁検査	プラント運転中			
		漏えい試験		4F	○	2016年度					
		機能・性能試験		4F	○	2016年度					
		外観点検		4F	○	2016年度					
	V001B ドレンセパレータ B 安全弁	分解点検	低	4Y	○	2016年度	GN4-86 1 次系安全弁検査	プラント運転中			
		漏えい試験		4F	○	2016年度					
		機能・性能試験		4F	○	2016年度					
		外観点検		4F	○	2016年度					
	V008 レンジャータンク 安全弁	分解点検	低	4Y	○	2016年度	GN4-86 1 次系安全弁検査	プラント運転中			
		漏えい試験		4F	○	2016年度					
		機能・性能試験		4F	○	2016年度					
		外観点検		4F	○	2016年度					
V-WM-001 燃焼空気ファン 出口逆止弁	分解点検	低	4Y	○	2016年度	GN4-87 1 次系逆止弁検査	プラント運転中				
	V-WM-013 Ce/F 入口給気逆止弁		分解点検	低	4Y			○	2016年度	GN4-87 1 次系逆止弁検査	プラント運転中
	V-WM-015 Ce/F 灰取出装置バージ空気逆止弁		分解点検	低	4Y			○	2016年度	GN4-87 1 次系逆止弁検査	プラント運転中
	V-WM-018 Ce/F 逆洗ノズルバージ空気入口逆止弁		分解点検	低	4Y			○	2016年度	GN4-87 1 次系逆止弁検査	プラント運転中
放射性廃棄物の廃棄施設 (原子伊格納容器本体以外の廃棄物貯蔵設 備又は廃棄物処理設備からの流体状の放射 性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報 装置)	補助建屋サンプタンク	機能・性能試験	低	1C	○	12	GN4-69 流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機 能検査	プラント運転中			
	格納容器サンプ	機能・性能試験	低	1C	○	12					
	雑固体溶融処理建屋サンプタンク室	機能・性能試験	低	1C	○	2020年度					
放射線管理施設 (放射線管理用計測装置)	格納容器内高レンジエリアモニタ 4 台	特性試験	高	13M	○	12	GN4-209 エリアモニタ機能検査				
	1. エリアモニタ 8 台 2. プロセスモニタ 17 台	特性試験 機能・性能試験	低	13M 1C	○ ○	12 12	GN4-77 放射線監視装置機能検査				
放射線管理施設 (換気設備)	4V-HC-305A 4 号 C/V 水素バージ給気ライン外隔離弁 A	駆動部点検	高	130M	—	6	GN4-85 1 次系弁検査				
		分解点検		130M	—	6					
		機能・性能試験		10C	—	6					
	4V-HC-305B 4 号 C/V 水素バージ給気ライン外隔離弁 B	駆動部点検	高	130M	—	6	GN4-85 1 次系弁検査				
		分解点検		130M	—	6					
		機能・性能試験		10C	—	6					
	4V-HC-307A 4 号 C/V 水素バージ給気ライン内隔離弁 A	駆動部点検	高	130M	—	7	GN4-85 1 次系弁検査				
		分解点検		130M	—	7					
		機能・性能試験		10C	—	7					
		電動機分解点検		130M	—	7					
	4V-HC-307B 4 号 C/V 水素バージ給気ライン内隔離弁 B	駆動部点検	高	130M	—	7	GN4-85 1 次系弁検査				
		分解点検		130M	—	7					
機能・性能試験		10C		—	7						
電動機分解点検		130M		—	7						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	格納容器空調装置	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-78 1次系換気空調設備検査	
	4 A 格納容器給気ファン	分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
	4 A 格納容器給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	○	2017年度		プラント運転中
	4 B 格納容器給気ファン	分解点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	4 B 格納容器給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2018年度		プラント運転中
	4 A 格納容器排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2019年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	○	2015年度		
	4 A 格納容器排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2019年度		プラント運転中
	4 B 格納容器排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	—	2020年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2016年度		
	4 B 格納容器排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2020年度		プラント運転中
	4 A 格納容器給気ユニット	開放点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	4 B 格納容器給気ユニット	開放点検	低	6Y	○	2015年度		プラント運転中
	4 A 格納容器排気フィルタユニット	開放点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
	4 B 格納容器排気フィルタユニット	開放点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	4V-VS-054 4号 C/V給気ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
	4V-VS-055 4号 C/V給気ライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
	4V-VS-056 4号 C/V排気ライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	10		
	4V-VS-057 4号 C/V排気ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
	4D-VS-060A 4 A C/V排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4D-VS-060B 4 B C/V排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-061 4号 C/V排気ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-051A 4 A C/V給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	○	11		
	4D-VS-051B 4 B C/V給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	12		
	4D-VS-062A 4 A C/V給気系外気取入切替ダンパ	駆動部点検	低	52M	○	11		
	4D-VS-062B 4 B C/V給気系外気取入切替ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	12		
	4D-VS-052 4号 C/V給気ラインアニュラス入口第一ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	4D-VS-053 4号 C/V給気ラインアニュラス入口第二ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-058 4号 C/V排気ラインアニュラス出口第一ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	4D-VS-059 4号 C/V排気ラインアニュラス出口第二ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	格納容器再循環装置	機能・性能試験	低	1C	○	12	GN4-78 1次系換気空調設備検査	
	4 A 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M	—	12		
	4 A 格納容器再循環ファン用電動機	分解点検	低	39M	—	12		
	4 B 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M	○	11		
	4 B 格納容器再循環ファン用電動機	分解点検	低	39M	○	11		
	4 C 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M	—	12		
	4 C 格納容器再循環ファン用電動機	分解点検	低	39M	—	12		
	4 D 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M	○	11		
	4 D 格納容器再循環ファン用電動機	分解点検	低	39M	○	11		
	4 A 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	12		冷却コイル点検含む
	4 B 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	12		冷却コイル点検含む
	4 C 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	12		冷却コイル点検含む
	4 D 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	12		冷却コイル点検含む
	格納容器空気浄化装置	機能・性能試験	低	1C	○	12	GN4-78 1次系換気空調設備検査	
	4 A 格納容器空気浄化ファン	分解点検	低	65M	○	8		
	4 A 格納容器空気浄化ファン用電動機	分解点検	低	65M	○	8		
	4 B 格納容器空気浄化ファン	分解点検	低	65M	—	9		
	4 B 格納容器空気浄化ファン用電動機	分解点検	低	65M	—	10		
	4号 格納容器空気浄化フィルタユニット	開放点検	低	26M	○	11		
	アニュラス空気浄化系	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-38 アニュラス循環排気系機能検査	
	4 A アニュラス空気浄化ファン	分解点検	高	65M	○	11		(振動診断: 1ヶ月)
	4 A アニュラス空気浄化ファン用電動機	分解点検	高	65M	○	11		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B アニュラス空気浄化ファン	分解点検	高	65M	—	12		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B アニュラス空気浄化ファン用電動機	分解点検	高	65M	—	12		(振動診断: 1ヶ月)
	4 A アニュラス空気浄化フィルタユニット	開放点検	高	26M	○	11		
		機能・性能試験		2C	○	12	GN4-39 アニュラス循環排気系フィルター性能検査	
	4 A アニュラス空気浄化フィルタユニット電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	12		
	4 B アニュラス空気浄化フィルタユニット	開放点検	高	26M	—	12		
		機能・性能試験		2C	—	12	GN4-39 アニュラス循環排気系フィルター性能検査	
	4 B アニュラス空気浄化フィルタユニット電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	12		
	4F-VS-101 4号 Bアニュラス空気浄化ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	12		
	4F-VS-102A 4 A アニュラス空気浄化フィルタユニット入口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	12		
	4F-VS-102B 4 B アニュラス空気浄化フィルタユニット入口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	12		
	4F-VS-103A 4 A アニュラス空気浄化フィルタユニット出口防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	12		
	4F-VS-103B 4 B アニュラス空気浄化フィルタユニット出口防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4D-VS-101A 4 A アニュラス空気浄化ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	4D-VS-101B 4 B アニュラス空気浄化ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4V-VS-102A 4 A アニュラス空気浄化全量排気弁	分解点検	高	52M	○	11	GN4-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解点検	
		駆動部点検		130M	○	7		
	4V-VS-102B 4 B アニュラス空気浄化全量排気弁	分解点検	高	52M	—	12	GN4-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解点検	
		駆動部点検		130M	—	12		
	4V-VS-103A 4 A アニュラス空気浄化少量排気弁	分解点検	高	52M	○	11	GN4-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解点検	
		駆動部点検		130M	○	7		
	4V-VS-103B 4 B アニュラス空気浄化少量排気弁	分解点検	高	52M	—	12	GN4-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解点検	
		駆動部点検		130M	—	12		
	4D-VS-104A 4 A アニュラス戻りダンパ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	4D-VS-104B 4 B アニュラス戻りダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	補助建屋空調装置	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-78 1次系換気空調設備検査	
	4 A 補助建屋給気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	—	2020年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2020年度		
	4 A 補助建屋給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2018年度		プラント運転中
	4 B 補助建屋給気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2019年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	○	2015年度		
	4 B 補助建屋給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2019年度		プラント運転中
	4 C 補助建屋給気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	—	2020年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2016年度		
	4 C 補助建屋給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	○	2016年度		プラント運転中
	4 A 補助建屋排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	—	2020年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2020年度		
	4 A 補助建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2018年度		プラント運転中
	4 B 補助建屋排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2019年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	○	2015年度		
	4 B 補助建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2019年度		プラント運転中
	4 C 補助建屋排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	—	2020年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2016年度		
	4 C 補助建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	○	2016年度		プラント運転中
	4 A 補助建屋排気フィルタユニット	開放点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
	4 B 補助建屋排気フィルタユニット	開放点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	4 A 補助建屋給気ユニット	開放点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	4 B 補助建屋給気ユニット	開放点検	低	6Y	○	2015年度		プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4D-VS-105 4号 排気筒入口第一ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4D-VS-106 4号 排気筒入口第二ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-201A 4 A A/B 給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	11		
	4D-VS-201B 4 B A/B 給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	12		
	4D-VS-201C 4 C A/B 給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	○	11		
	4D-VS-207A 4 A A/B 排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	11		
	4D-VS-207B 4 B A/B 排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	12		
	4D-VS-207C 4 C A/B 排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	12		
	安全補機室空気浄化設備	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-78 1次系換気空調設備検査	
	4 A 安全補機室空気浄化ファン	分解点検	高	52M	○	11		(振動診断: 1ヶ月)
	4 A 安全補機室空気浄化ファン用電動機	分解点検	高	52M	○	11		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B 安全補機室空気浄化ファン	分解点検	高	52M	—	12		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B 安全補機室空気浄化ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	12		(振動診断: 1ヶ月)
	4号 安全補機室空気浄化フィルタユニット	開放点検	高	26M	—	12		
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	4号 安全補機室空気浄化フィルタユニットA電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	12		
	4号 安全補機室空気浄化フィルタユニットB電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	12		
	4F-VS-301 4号 安全補機室空気浄化フィルタユニット入口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	12		
	4F-VS-302 4号 安全補機室空気浄化フィルタユニット出口防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	12		
	4D-VS-310A 4 A 安全補機室空気浄化ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	4D-VS-310B 4 B 安全補機室空気浄化ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-311A 4 A 安全補機室空気浄化ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	4D-VS-311B 4 B 安全補機室空気浄化ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4 A 安全補機室冷却ファン	分解点検	高	52M	—	12	GN4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	4 A 安全補機室冷却ファン用電動機	分解点検	高	39M	—	12		
	4 B 安全補機室冷却ファン	分解点検	高	52M	○	10	GN4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	4 B 安全補機室冷却ファン用電動機	分解点検	高	39M	○	11		
	4 A 安全補機室冷却ユニット	開放点検	高	26M	—	12	GN4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	4 B 安全補機室冷却ユニット	開放点検	高	26M	○	11	GN4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	4F-VS-209 4号 A安全補機室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-210 4号 B安全補機室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-211 4号 充てんポンプバルブエリア給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-212A 4 A 充てんポンプ室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-212B 4 C 充てんポンプ室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4F-VS-213A 4号 B充てんポンプ室給気防火兼流量設定ダンパA	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-213B 4号 B充てんポンプ室給気防火兼流量設定ダンパB	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-214A 4号 充てんポンプバルブ操作エリア給気防火ダンパA	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-214B 4号 充てんポンプバルブ操作エリア給気防火ダンパB	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-228A 4 A 充てんポンプ室排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M	—	12		
	4F-VS-228B 4 C 充てんポンプ室排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M	—	12		
	4F-VS-229A 4号 B充てんポンプ室排気防火兼流量設定ダンパA	機能点検	高	26M	—	12		
	4F-VS-229B 4号 B充てんポンプ室排気防火兼流量設定ダンパB	機能点検	高	26M	—	12		
	4F-VS-232 4号 充てんポンプバルブエリア排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M	—	12		
	4F-VS-233 4号 A安全補機室排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M	—	12		
	4F-VS-234 4号 B安全補機室排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M	—	12		
	4D-VS-301 4号 安全補機室給気第一ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	4D-VS-302 4号 安全補機室給気第二ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4G-VS-303A 4 A 安全補機室冷却ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	7		
	4G-VS-303B 4 B 安全補機室冷却ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	7		
	4G-VS-304A 4 A 安全補機室給気逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	8		
	4G-VS-304B 4 B 安全補機室給気逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	9		
	4G-VS-306A 4 A 安全補機室排気逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	8		
	4G-VS-306B 4 B 安全補機室排気逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	9		
	4D-VS-307 4号 安全補機室排気第一ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-308 4号 安全補機室排気第二ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	4 A 安全補機開閉器室空調ファン	簡易点検(油入替他) 分解点検	高	26M 52M	— —	12 12		(振動診断:切替毎)
	4 A 安全補機開閉器室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	12		(振動診断:切替毎)
	4 B 安全補機開閉器室空調ファン	簡易点検(油入替他) 分解点検	高	26M 52M	○ ○	11 11		(振動診断:切替毎)
	4 B 安全補機開閉器室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	11		(振動診断:切替毎)
	4 A 安全補機開閉器室空調ユニット	開放点検	高	26M	—	12		
	4 B 安全補機開閉器室空調ユニット	開放点検	高	26M	○	11		
	4D-VS-532A 4 A S W G R空調ユニット入口連絡ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	4D-VS-532B 4 B S W G R空調ユニット入口連絡ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-533A 4 A S W G R空調ユニット入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	4D-VS-533B 4 B S W G R空調ユニット入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-534A 4 A S W G R空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	4D-VS-534B 4 B S W G R空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4D-VS-535A 4 A SWGR給気連絡ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	4D-VS-535B 4 B SWGR給気連絡ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4F-VS-531A 4 A SWGR室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-531B 4 B SWGR室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-532A 4 A SWGR室給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-532B 4 B SWGR室給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-533 4号 A E P盤室給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-534A 4 A E P盤室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-534B 4 B E P盤室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-535 4号 A継電器室給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-536A 4 A 継電器室給気第一防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-536B 4 B 継電器室給気第一防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-537A 4 A 継電器室給気第二防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-537B 4 B 継電器室給気第二防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-538A 4 A インバータ室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-538B 4 B インバータ室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-542A 4 A E P盤室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-542B 4 B E P盤室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-543 4号 A E P盤室戻り防火ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-544A 4 A SWGR室戻り防火ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-544B 4 B SWGR室戻り防火ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-545A 4 A SWGR室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-545B 4 B SWGR室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-546A 4 A 継電器室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-546B 4 B 継電器室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-547 4号 A継電器室戻り防火ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4F-VS-551 4号 トレイエリア給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2020年度		プラント運転中
	4 A 中間補機棟空調ファン	簡易点検(油入替他)	高	26M	○	11		
		分解点検		52M	○	11		
	4 A 中間補機棟空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	○	11		
	4 B 中間補機棟空調ファン	簡易点検(油入替他)	高	26M	—	12		
		分解点検		52M	—	12		
	4 B 中間補機棟空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	○	11		
	4 A 中間補機棟空調ユニット	開放点検	高	52M	○	11		
	4 B 中間補機棟空調ユニット	開放点検	高	52M	—	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4G-VS-563A 4 A 1/B 空調ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	6		
	4G-VS-563B 4 B 1/B 空調ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	6		
	4D-VS-564A 4 A 1/B 給気連絡ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-564B 4 B 1/B 給気連絡ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4F-VS-561A 4 A M/D AFWP室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中
	4F-VS-561B 4 B M/D AFWP室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中
	4F-VS-562A 4 A 制御用空気圧縮機室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中
	4F-VS-562B 4 B 制御用空気圧縮機室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中
	4F-VS-563A 4 A D/G電気盤室給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中
	4F-VS-563B 4 B D/G電気盤室給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中
	4F-VS-565A 4 A M/D AFWP室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中
	4F-VS-565B 4 B M/D AFWP室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中
	4F-VS-566A 4 A 制御用空気圧縮機室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中
	4F-VS-566B 4 B 制御用空気圧縮機室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中
	4F-VS-567A 4 A D/G電気盤室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中
	4F-VS-567B 4 B D/G電気盤室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中
	中央制御室空調装置	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-78 1 次系換気空調設備検査	
	4 A 中央制御室空調ユニット	開放点検	高	26M	—	12		
	4 B 中央制御室空調ユニット	開放点検	高	26M	○	11		
	4 A 中央制御室空調ファン	簡易点検(油入替他)	高	26M	—	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	—	12		
	4 A 中央制御室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	12		(振動診断:切替毎)
	4 B 中央制御室空調ファン	簡易点検(油入替他)	高	26M	○	11		(振動診断:切替毎)
		分解点検		52M	○	11		
	4 B 中央制御室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	○	11		(振動診断:切替毎)
	4 A 中央制御室循環ファン	分解点検	高	52M	—	12		
	4 A 中央制御室循環ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	12		
	4 B 中央制御室循環ファン	分解点検	高	52M	○	11		
	4 B 中央制御室循環ファン用電動機	分解点検	高	52M	○	10		
	4D-VS-601A 4 A 中央制御室外気取入ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4D-VS-601B 4 B 中央制御室外気取入ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-606A 4 A 中央制御室空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4D-VS-606B 4 B 中央制御室空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-607A 4 A 中央制御室循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4D-VS-607B 4 B 中央制御室循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4HCD-2840 4 A 中央制御室外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4HCD-2843 4 A 中央制御室外気放出流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4HCD-2844 4 A 中央制御室循環流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4HCD-2850 4 B 中央制御室外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4HCD-2853 4 B 中央制御室外気放出流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4HCD-2854 4 B 中央制御室循環流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4F-VS-601 4号 プラントデータ管理センタ室給気第一防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	12		
	4F-VS-602 4号 プラントデータ管理センタ室給気第二防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	12		
	4F-VS-603 4号 中央制御室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	12		
	4F-VS-606 4号 中央制御室戻り防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	12		
	4F-VS-607 4号 中央制御室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	12		
	4F-VS-611 4号 プラントデータ管理センタ室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	12		
	中央制御室非常用循環系	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-40 中央制御室非常用循環系機能検査	
	4号 中央制御室非常用循環フィルタユニット	開放点検	高	26M	—	12		
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-41 中央制御室非常用循環系フィルター性能検査	
	4 A 中央制御室非常用循環ファン	分解点検	高	65M	○	11		(振動診断: 1ヶ月)
	4 A 中央制御室非常用循環ファン用電動機	分解点検	高	65M	○	11		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B 中央制御室非常用循環ファン	分解点検	高	65M	—	11		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B 中央制御室非常用循環ファン用電動機	分解点検	高	65M	—	9		(振動診断: 1ヶ月)
	4号 中央制御室非常用循環フィルタユニットA電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	12		
	4号 中央制御室非常用循環フィルタユニットB電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	12		
	4F-VS-604 4号 中央制御室給気第一防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	12		
	4F-VS-605 4号 中央制御室給気第二防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	12		
	4F-VS-608 4号 中央制御室非常用循環F/U入口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	12		
	4F-VS-609 4号 中央制御室非常用循環F/U出口防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	12		
	4D-VS-605A 4 A 中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4D-VS-605B 4 B 中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4HCD-2841 4 A 中央制御室非常時外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4HCD-2842 4 A 中央制御室非常時循環流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4HCD-2851 4 B 中央制御室非常時外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4HCD-2852 4 B 中央制御室非常時循環流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4 A ほう酸ポンプ室空調ファン	分解点検	高	39M	—	12		
	4 A ほう酸ポンプ室空調ファン用電動機	分解点検	高	39M	—	12		
	4 B ほう酸ポンプ室空調ファン	分解点検	高	39M	○	11		
	4 B ほう酸ポンプ室空調ファン用電動機	分解点検	高	39M	○	11		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4 A ほう酸ポンプ室給気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	12		
	4 B ほう酸ポンプ室給気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	12		
	4F-VS-201 4号 ほう酸ポンプ室給気系防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中
	4F-VS-202 4号 ほう酸ポンプ室排気系防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中
	4G-VS-210A 4 A ほう酸ポンプ室空調ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	2008年度		
	4G-VS-210B 4 B ほう酸ポンプ室空調ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	2008年度		
	4 A ディーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	12		
	4 A ディーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	12		
	4 B ディーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	○	11		
	4 B ディーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	○	11		
	4 C ディーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	12		
	4 C ディーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	12		
	4 D ディーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	○	11		
	4 D ディーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	○	11		
	4F-VS-401A 4 A D/G室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中
	4F-VS-401B 4 B D/G室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中
	4F-VS-401C 4 C D/G室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中
	4F-VS-401D 4 D D/G室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中
	4D-VS-402A 4 A D/G室排気ダンパ	駆動部点検	高	65M	○	11		
	4D-VS-402B 4 B D/G室排気ダンパ	駆動部点検	高	65M	—	11		
	4G-VS-401A 4 A D/G室給気ファン入口逆止ダンパ	機能点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	4G-VS-401B 4 B D/G室給気ファン入口逆止ダンパ	機能点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	4G-VS-401C 4 C D/G室給気ファン入口逆止ダンパ	機能点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	4G-VS-401D 4 D D/G室給気ファン入口逆止ダンパ	機能点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	雑固体溶融処理建屋空調装置	機能・性能試験	低	1C	○	12	GN4-78 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	固化体冷却室空調装置	機能・性能試験	低	1C	○	12	GN4-78 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	A 雑固体溶融処理建屋給気ファン	分解点検	低	9Y	○	2015年度		プラント運転中
	A 雑固体溶融処理建屋給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2016年度		プラント運転中
	B 雑固体溶融処理建屋給気ファン	分解点検	低	9Y	○	2016年度		プラント運転中
	B 雑固体溶融処理建屋給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	○	2017年度		プラント運転中
	A 雑固体溶融処理建屋排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2019年度		プラント運転中
		分解点検		9Y	—	2018年度		プラント運転中
	A 雑固体溶融処理建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2019年度		プラント運転中
	B 雑固体溶融処理建屋排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2019年度		プラント運転中
		分解点検		9Y	—	2019年度		プラント運転中
	B 雑固体溶融処理建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2016年度		プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
C 雑固体溶融処理建屋排気ファン		簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2019年度		プラント運転中
		分解点検		9Y	○	2019年度		プラント運転中
C 雑固体溶融処理建屋排気ファン用電動機		分解点検	低	4Y	—	2018年度		プラント運転中
雑固体溶融処理建屋給気ユニット(Aバンク, Bバンク)		開放点検	低	9Y	○	2013年度		プラント運転中
雑固体溶融処理建屋排気フィルタユニット(Aバンク, Bバンク)		開放点検	低	9Y	—	2019年度		プラント運転中
D-301-200 雑固体溶融処理建屋給気ファン入口ダンパ		駆動部点検	低	9Y	○	2016年度		プラント運転中
FCD-10502 雑固体溶融処理建屋排気風量制御ダンパ		駆動部点検	低	9Y	—	2017年度		プラント運転中
固化体冷却室排気ファン		簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2019年度		プラント運転中
		分解点検		3Y	○	2018年度		プラント運転中
固化体冷却室排気ファン用電動機		分解点検	低	4Y	—	2016年度		プラント運転中
固化体冷却室排気フィルタ		開放点検	低	3Y	○	2019年度		プラント運転中
4V-CHT-101 空調用冷水膨張タンク真空透かし弁		分解点検	低	130M	—	10	GN4-88 1次系真空破壊弁検査	
4 A 空調用冷凍機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		
		分解点検		39M	○	11		
		非破壊試験		39M	○	11		
4 A 空調用冷凍機用電動機		分解点検	高	39M	○	11		
4 B 空調用冷凍機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		
		分解点検		39M	—	12		
		非破壊試験		39M	—	12		
4 B 空調用冷凍機用電動機		分解点検	高	39M	—	12		
4 C 空調用冷凍機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		
		分解点検		39M	○	11		
		非破壊試験		39M	○	11		
4 C 空調用冷凍機用電動機		分解点検	高	39M	○	11		
4 D 空調用冷凍機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		
		分解点検		39M	—	12		
		非破壊試験		39M	—	12		
4 D 空調用冷凍機用電動機		分解点検	高	39M	—	12		
4 A 空調用冷水ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	○	11		
4 A 空調用冷水ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	○	11		(振動診断:切替毎)
4 B 空調用冷水ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	—	12		
4 B 空調用冷水ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	—	12		(振動診断:切替毎)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4 C 空調用冷水ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	○	11		
4 C 空調用冷水ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	○	11		(振動診断:切替毎)
4 D 空調用冷水ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	—	12		
4 D 空調用冷水ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	—	12		(振動診断:切替毎)
4号 空調用冷水膨張タンク		開放点検	高	130M	—	10		
4V-CH-354 4号 DRP1室冷却ユニット入口外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	12		GN4-85 1次系弁検査
		分解点検		130M	—	12		
4V-CH-358 4号 DRP1室冷却ユニット出口外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	12		GN4-85 1次系弁検査
		分解点検		130M	—	12		
4V-CH-253 4号 空調用冷水膨張タンクN2供給逃がし弁		分解点検	低	130M	—	10		GN4-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	10		
		機能・性能試験		10C	—	10		
4V-CH-356 4号 DRP1室冷却ユニット逃がし弁		分解点検	低	130M	—	10		GN4-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	10		
		機能・性能試験		10C	—	10		
4V-CH-500 4号 空調用冷水C母管逃がし弁		分解点検	低	130M	—	10		GN4-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	10		
		機能・性能試験		10C	—	10		
4TCV-2760 4 A 1/B空調ユニット冷却温度制御弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
4TCV-2770 4 B 1/B空調ユニット冷却温度制御弁		駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
4TCV-2780 4 A SWGR空調ユニット冷却温度制御弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
4TCV-2790 4 B SWGR空調ユニット冷却温度制御弁		駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
4TCV-2848 4 A 中央制御室空調ユニット冷却温度制御弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
4TCV-2858 4 B 中央制御室空調ユニット冷却温度制御弁		駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
4V-CH-016A 4 A 冷水供給弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		電動機分解点検		130M	—	7		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
	4V-CH-016B 4 B 冷水供給弁	駆動部点検	高	130M	—	8			
		分解点検		130M	—	8			
		電動機分解点検		130M	—	8			
	4V-CH-017A 4 A 冷水戻り弁	駆動部点検	高	130M	—	7			
		分解点検		130M	—	7			
		電動機分解点検		130M	—	7			
	4V-CH-017B 4 B 冷水戻り弁	駆動部点検	高	130M	—	8			
		分解点検		130M	—	8			
		電動機分解点検		130M	—	8			
	4V-CH-020 4号 C冷水供給弁	駆動部点検	高	130M	—	10			
		分解点検		130M	—	10			
		電動機分解点検		130M	—	10			
4V-CH-021 4号 C冷水戻り弁	駆動部点検	高	130M	—	10				
	分解点検		130M	—	10				
	電動機分解点検		130M	—	10				
原子炉格納施設 (原子炉格納容器)	1. 「T信号」及び「T信号とUV信号との一致」により隔離される弁 65個 2. 「P信号」により隔離される弁 16個	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-45 原子炉格納容器隔離弁機能検査		
		原子炉格納容器	高	3C	—	11	GN4-43 原子炉格納容器全体漏えい率検査		
	非破壊検査	5年間		—	11	GN4-105 プレストレストコンクリート格納容器供用期間中検査			
	外観点検(アニュラスシール)	10C		—	10				
	通常用エアロック	漏えい試験	高	1C	○	12	GN4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		開放点検		13M	○	12			
		分解点検(タイミングギア及び駆動部)		65M	—	11			
	非常用エアロック	漏えい試験	高	1C	○	12	GN4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		開放点検		13M	○	12			
		分解点検(タイミングギア及び駆動部)		65M	—	11			
	機器搬入口	漏えい試験	高	1C	○	12	GN4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		開放点検		13M	○	12			
	1. 配管貫通部 8個 2. 電線貫通部 46個	漏えい試験	高	1C	○	12	GN4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		燃料移送管		漏えい試験	高	1C	○	12	GN4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査
		開放点検	13M	○		12			
	原子炉格納容器隔離弁 52個	漏えい試験	高	1C	○	12	GN4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備)	原子炉格納容器スプレイ系 ・格納容器スプレイポンプ 2台 ・モード切替弁 6台 ・常設電動注入ポンプ 1台	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-48 原子炉格納容器安全系機能検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4 A 格納容器スプレイポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検(メカニカルシール取替)		52M	○	11		
		分解点検		104M	○	8	GN4-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	
4 A 格納容器スプレイポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		78M	—	8		
4 B 格納容器スプレイポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検(メカニカルシール取替)		52M	—	12		
		分解点検		104M	—	12	GN4-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注入系ポンプ分解検査	
4 B 格納容器スプレイポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		78M	○	7		
4 A 格納容器スプレイ冷却器		開放点検	高	130M	—	11		
4 B 格納容器スプレイ冷却器		開放点検	高	130M	—	11		
よう素除去薬品タンク		開放点検	高	130M	○	8		
4V-CP-101 よう素除去薬品タンク真空逃がし弁		分解点検	低	130M	—	10	GN4-88 1次系真空破壊弁検査	
4V-CP-102 よう素除去薬品タンク真空逃がし弁		分解点検	低	130M	—	10	GN4-88 1次系真空破壊弁検査	
4V-CP-001A 4 A C/VスプレイポンプRWS P側入口弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CP-001B 4 B C/VスプレイポンプRWS P側入口弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CP-014A 4 A C/Vスプレイポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	8		
4V-CP-014B 4 B C/Vスプレイポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	9		
4V-CP-024A 4 A C/Vスプレイライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	5		
		分解点検		130M	—	5	GN4-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	5		
4V-CP-024B 4 B C/Vスプレイライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	6	GN4-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	6		
4V-CP-054A 4 A よう素除去薬品注入弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GN4-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CP-054B 4 B よう素除去薬品注入弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GN4-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4V-CP-056A 4号 A よう素除去薬品注入弁後弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8	GN4-85 1 次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CP-056B 4号 B よう素除去薬品注入弁後弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8	GN4-85 1 次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CP-068 4号 よう素除去薬品タンク安全弁		分解点検	低	130M	—	11		
		漏えい試験		10C	—	11	GN4-86 1 次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-CP-084 4号 AM用水消火ライン止め弁		分解点検	高	130M	—	6		
4V-CP-085 4号 AM用水消火ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	6	GN4-87 1 次系逆止弁検査	
格納容器減圧排気フィルタユニット		開放点検	低	13M	○	12	GN4-94 1 次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
4号 A 格納容器減圧排気フィルタユニット電気加熱コイル		機能・性能試験	低	1C	○	12		
4号 B 格納容器減圧排気フィルタユニット電気加熱コイル		機能・性能試験	低	1C	○	12		
4V-DP-311A 4号 C/V減圧ライン内隔離弁 A		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-DP-311B 4号 C/V減圧ライン内隔離弁 B		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-DP-313A 4号 C/V減圧ライン外隔離弁 A		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4V-DP-313B 4号 C/V減圧ライン外隔離弁 B		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4V-PP-035 4号 A/L所内用空気加圧ライン安全弁		分解点検	低	130M	—	10		
		漏えい試験		10C	—	10	GN4-86 1 次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	10		
4V-RM-001 4号 C/V空気サンプル取出ライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	5		
		分解点検		130M	—	5		
		電動機分解点検		130M	—	5		
4V-RM-002 4号 C/V空気サンプル取出ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		65M	—	11		
4V-RM-008 4号 C/V空気サンプル戻りライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		65M	—	11		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4V-IG-009 4号 炉内核計測装置ガスバーライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
4V-IG-010 4号 炉内核計測装置ガスバーライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
4V-FS-502 4号 水消火ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
4V-FS-536 4号 AM用水消火ライン第一隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
		電動機分解点検		130M	—	10		
4V-FS-537 4号 AM用水消火ライン第二隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
		電動機分解点検		130M	—	10		
4 B サンプル冷却器		外観点検	高	1C	○	12		
4V-SS-503 4号 加圧器気相部サンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	12		
		分解点検		130M	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SS-523 4号 加圧器液相部サンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	12		
		分解点検		65M	—	9	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SS-524 4号 加圧器, Aループサンプルライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		65M	—	9	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SS-543A 4号 Aループサンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
4V-SS-543B 4号 Bループサンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	5		
		分解点検		65M	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-SS-544 4号 Bループサンプルライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		65M	—	9	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SS-548A 4 A 余熱除去ポンプ出口サンプルライン元弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
4V-SS-548B 4 B 余熱除去ポンプ出口サンプルライン元弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
4V-SS-563A 4 A 蓄圧タンクサンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SS-563B 4 B 蓄圧タンクサンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11	GN4-85 1次系弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4V-SS-563C 4 C 蓄圧タンクサンプルライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9	GN4-85 1 次系弁検査	
	4V-SS-563D 4 D 蓄圧タンクサンプルライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10	GN4-85 1 次系弁検査	
	4V-SS-564 4 号 蓄圧タンクサンプルライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GN4-85 1 次系弁検査	
	4V-SS-587 4 号 V C T 気相部サンプル元弁	駆動部点検	低	130M	—	5		
		分解点検		65M	—	10		
		機能・性能試験		5C	—	10	GN4-85 1 次系弁検査	
	4V-SS-620 4 号 事故時 1 次冷却材サンプル戻りライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
		機能・性能試験		10C	—	10	GN4-85 1 次系弁検査	
	4V-SS-658 4 号 C/V 雰囲気ガスサンプルライン密塞供給ライン逆止弁	分解点検	低	130M	—	10	GN4-87 1 次系逆止弁検査	
	4V-SS-691 4 号 C/V 雰囲気ガスサンプル戻りライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	6		
分解点検		65M		—	11			
機能・性能試験		5C		—	11	GN4-85 1 次系弁検査		
原子炉施設 (その他設備)	クラス 1 機器 (供用期間中検査対象) 1 式	非破壊試験	高	10年間	○	12		
		漏えい試験		1C	○	12	GN4-1 クラス 1 機器供用期間中検査	
	N i 基合金溶接部 1 式	非破壊試験		10年間	○	12		
	クラス 2 機器 (供用期間中検査対象) 1 式	非破壊試験	高	10年間	○	12	GN4-5 クラス 2 機器供用期間中検査	
		漏えい試験			○	12		
	クラス 2 管(原子炉格納容器内)のうち 一次冷却材と同温・同圧の流体が流れる系統 1 式	非破壊試験			○	12	GN4-99 クラス 2 管(原子炉格納容器内)特別検査	
	C/V E L. - 4. 7 m 【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	C/V E L. 3. 7 m 【管内】	外観点検	高	10C	—	12	GN4-103 耐震健全性検査	
	C/V E L. 1 1. 3 m 以上 【管内】	外観点検	高	10C	○	7	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E L. - 1 8. 0 m 【管内】	外観点検	高	10C	—	8	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E L. - 1 8. 0 m(中間床) 【管内】	外観点検	高	10C	—	8	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E L. - 1 1. 0 m 【管内】	外観点検	高	10C	—	9	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E L. - 1 1. 0 m(中間床) 【管内】	外観点検	高	10C	—	9	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E L. - 1 1. 0 m 【管外】	外観点検	高	10C	—	9	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E L. - 3. 5 m 【管内】	外観点検	高	10C	—	10	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E L. - 3. 5 m(中間床) 【管内】	外観点検	高	10C	—	10	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E L. - 3. 5 m 【管外】	外観点検	高	10C	—	10	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E L. 3. 7 m 【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	R/B E.L. 3.7m(中間床)【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	A/B E.L. 3.7m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m(中間床)【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 11.3m 【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 11.3m(中間床)【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 11.3m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	A/B E.L. 11.3m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 11.3m(中間床)【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 20.4m(屋上)【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	屋外(取水ビット、海水管ダクト、放水ビット)	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	WM/B	外観点検	低	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	容器	—	—	—	—	—	—	—
	余熱除去冷却器(側側)	非破壊試験	高	10年間	○	12	GN4-104 構造健全性検査	
	格納容器スプレイ冷却器(側側)	非破壊試験	高	10年間	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却水冷却器	非破壊試験	高	10年間	—	12	GN4-104 構造健全性検査	
	D/G 清水冷却器	非破壊試験	高	10年間	—	12	GN4-104 構造健全性検査	
	D/G 潤滑油冷却器	非破壊試験	高	10年間	○	11	GN4-104 構造健全性検査	
	ポンプ	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水ポンプ	非破壊試験	高	10年間	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	配管	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水系統	非破壊試験	高	10年間	○	12	GN4-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却海水系統	非破壊試験	高	10年間	○	12	GN4-104 構造健全性検査	
	支持構造物	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水系統	非破壊試験	高	10年間	○	12	GN4-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却海水系統	非破壊試験	高	10年間	○	12	GN4-104 構造健全性検査	
	漏えい検査	—	—	—	—	—	—	—
	A, B 使用済燃料ビットポンプ入口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	A, B 使用済燃料ビットポンプ出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	12	GN4-104 構造健全性検査	
	A, B 原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	漏えい試験	高	10年間	○	11	GN4-104 構造健全性検査	
	C, D 原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	A, B 原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	12	GN4-104 構造健全性検査	
	C, D 原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却水サージタンク及び出入口ライン	漏えい試験	高	10年間	○	11	GN4-104 構造健全性検査	
	A, B 海水ポンプ出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	C, D 海水ポンプ出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	12	GN4-104 構造健全性検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	A 制御用空気圧縮機出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	B 制御用空気圧縮機出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	制御用空気Cヘッダーライン	漏えい試験	高	10年間	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	A ディーゼル発電機始動空気ライン	漏えい試験	高	10年間	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	B ディーゼル発電機始動空気ライン	漏えい試験	高	10年間	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	A ディーゼル発電機冷却水ライン	漏えい試験	高	10年間	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	B ディーゼル発電機冷却水ライン	漏えい試験	高	10年間	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	外観点検	—	—	—	—	—	—	—
	C/V E.L. -4.7m 【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	C/V E.L. 3.7m 【管内】	外観点検	高	10C	—	12	GN4-104 構造健全性検査	
	C/V E.L. 11.3m以上 【管内】	外観点検	高	10C	○	7	GN4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. -18.0m 【管内】	外観点検	高	10C	—	8	GN4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. -18.0m(中間床)【管内】	外観点検	高	10C	—	8	GN4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. -11.0m 【管内】	外観点検	高	10C	—	9	GN4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. -11.0m(中間床)【管内】	外観点検	高	10C	—	9	GN4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. -11.0m 【管外】	外観点検	高	10C	—	9	GN4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. -3.5m 【管内】	外観点検	高	10C	—	10	GN4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. -3.5m(中間床)【管内】	外観点検	高	10C	—	10	GN4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. -3.5m 【管外】	外観点検	高	10C	—	10	GN4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m 【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m(中間床)【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. 3.7m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m(中間床)【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 11.3m 【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 11.3m(中間床)【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 11.3m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. 11.3m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 11.3m(中間床)【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 20.4m(屋上) 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	屋外(取水ビット, 海水管ダクト, 放水ビット)	外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	WM/B	外観点検	低	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	排気筒	外観点検	高	10F	—	2015年度	GN4-104 構造健全性検査	プラント運転中
	主蒸気配管レストレイント 8箇所	外観点検	高	10C	—	8	GN4-114 レストレイント検査	
	主給水配管レストレイント 14箇所	外観点検	高	10C	—	8		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	2次系配管等	外観点検	高	1C	○	12	GN4-127 2次系配管検査	
		外観点検		4C	○	12		屋外保温材施工部
	2次系配管	非破壊試験	高	余寿命による	○	12	GN4-127 2次系配管検査	
		非破壊試験		余寿命による	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
主給水配管(主給水隔離弁～S/G) 主蒸気配管(S/G～主蒸気隔離弁)	非破壊試験	高	余寿命による	○	12	GN4-136 主蒸気・主給水配管検査		
蒸気タービン (車室、円板、隔板、噴口)	4号 高压タービン	開放点検(目視)	低	39M	—	11	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		1C	○	12		
		開放点検(組立状況)		39M	—	11		
		開放点検(組立状況)		1C	○	12		
	4号 第1 低圧タービン	開放点検(目視)	低	39M	—	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		1C	○	12		
		開放点検(組立状況)		13M	○	12		
		開放点検(組立状況)		39M	—	12		
	4号 第2 低圧タービン	開放点検(目視)	低	39M	○	10	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(目視)		1C	○	12		
		開放点検(非破壊)		13M	○	12		
		開放点検(非破壊)		39M	○	10		
		開放点検(組立状況)		13M	○	12		
	4号 第3 低圧タービン	開放点検(目視)	低	39M	—	11	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(目視)		1C	○	12		
		開放点検(非破壊)		13M	○	12		
		開放点検(組立状況)		39M	—	11		
	蒸気タービン本体及びその附属設備	機能・性能試験(保安装置)	低	1C	○	12	GN4-130 蒸気タービン性能検査	
		総合性能試験(負荷)		1C	○	12	GN4-55 総合負荷性能検査	定検起動後
	蒸気タービン (調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁)	タービン調速装置・非常調速装置	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査
# 1 主蒸気止め弁		開放点検(目視)	低	39M	○	10	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	○	10		
		開放点検(組立状況)		3C	○	10		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	12		
# 2 主蒸気止め弁		開放点検(目視)	低	39M	—	11	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	11		
		開放点検(組立状況)		3C	—	11		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
# 3 主蒸気止め弁	開放点検(目視)	開放点検(目視)	低	39M	○	10	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	○	10		
		開放点検(組立状況)		3C	○	10		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	12		
	# 4 主蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	—	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	12		
		開放点検(組立状況)		3C	—	12		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	12		
	# 1 蒸気加減弁	開放点検(目視)	低	39M	○	10	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	○	10		
		開放点検(組立状況)		3C	○	10		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	12		
# 2 蒸気加減弁	開放点検(目視)	低	39M	—	11	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		39M	—	11			
	開放点検(組立状況)		3C	—	11			
	機能・性能試験(保安装置)		1C	○	12			GN4-130 蒸気タービン性能検査
# 3 蒸気加減弁	開放点検(目視)	低	39M	○	10	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		39M	○	10			
	開放点検(組立状況)		3C	○	10			
	機能・性能試験(保安装置)		1C	○	12			GN4-130 蒸気タービン性能検査
# 4 蒸気加減弁	開放点検(目視)	低	39M	—	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		39M	—	12			
	開放点検(組立状況)		3C	—	12			
	機能・性能試験(保安装置)		1C	○	12			GN4-130 蒸気タービン性能検査
A 再熟蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	○	10	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		39M	○	10			
	機能・性能試験(保安装置)		1C	○	12			GN4-130 蒸気タービン性能検査
B 再熟蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	○	10	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		39M	○	10			
	機能・性能試験(保安装置)		1C	○	12			GN4-130 蒸気タービン性能検査
C 再熟蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	—	11	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		39M	—	11			
	機能・性能試験(保安装置)		1C	○	12			GN4-130 蒸気タービン性能検査
D 再熟蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	—	11	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		39M	—	11			
	機能・性能試験(保安装置)		1C	○	12			GN4-130 蒸気タービン性能検査

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	E 再熱蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	—	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	12		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	12	GN4-130 蒸気タービン性能検査	
	F 再熱蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	—	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	12		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	12	GN4-130 蒸気タービン性能検査	
	A インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	○	10	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	○	10		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	12	GN4-130 蒸気タービン性能検査	
	B インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	○	10	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	○	10		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	12	GN4-130 蒸気タービン性能検査	
	C インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	—	11	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	11		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	12	GN4-130 蒸気タービン性能検査	
	D インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	—	11	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	11		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	12	GN4-130 蒸気タービン性能検査	
	E インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	—	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	12		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	12	GN4-130 蒸気タービン性能検査	
	F インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	—	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	12		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	12	GN4-130 蒸気タービン性能検査	
蒸気タービン (復水器)	A 復水器水室	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、ECT結果により施検を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	○	7		
	B 復水器水室	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、ECT結果により施検を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	8		
	C 復水器水室	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、ECT結果により施検を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	9		
	D 復水器水室	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、ECT結果により施検を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	10		
	E 復水器水室	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、ECT結果により施検を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	11		
	F 復水器水室	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、ECT結果により施検を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4 A 復水器ホットウェル	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
	4 B 復水器ホットウェル	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
	4 C 復水器ホットウェル	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
蒸気タービン (蒸気タービンに附属する熱交換器)	第1段 湿分分離加熱器(A)	開放点検(目視)	低	26M	○	11	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	○	11		
	第1段 湿分分離加熱器(B)	開放点検(目視)	低	26M	—	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	—	12		
	第1段 湿分分離加熱器(C)	開放点検(目視)	低	26M	○	11	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	○	11		
	第1段 湿分分離加熱器(D)	開放点検(目視)	低	26M	—	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	—	12		
	第2段 湿分分離加熱器(A)	開放点検(目視)	低	26M	○	11	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	○	11		
	第2段 湿分分離加熱器(B)	開放点検(目視)	低	26M	—	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	—	12		
	第2段 湿分分離加熱器(C)	開放点検(目視)	低	26M	○	11	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	○	11		
	第2段 湿分分離加熱器(D)	開放点検(目視)	低	26M	—	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	—	12		
	A 湿分分離器	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		13M	○	12		
	B 湿分分離器	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		13M	○	12		
	4 A 低圧第1給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	○	10	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	10		
	4 B 低圧第1給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	—	11	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	11		
4 C 低圧第1給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	—	12	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		78M	—	12			
4 A 低圧第2給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	○	10	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		78M	—	10			
4 B 低圧第2給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	—	11	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		78M	—	11			
4 C 低圧第2給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	—	12	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		78M	—	12			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4 A 低圧第3給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	○	11	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	11		
	4 B 低圧第3給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	—	12	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	12		
	4 A 低圧第4給水加熱器	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-126 2次系熱交換器検査	第11回定検で取替 開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	—		
	4 B 低圧第4給水加熱器	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	12		
	4 A 低圧第5給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	○	11	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	○	11		
	4 B 低圧第5給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	—	—	GN4-126 2次系熱交換器検査	第12回定検で取替 開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	—	—		
	4号 グランド蒸気復水器	開放点検(目視)	低	39M	○	10	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	○	10		
4 A 高圧第7給水加熱器	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		26M	○	11			
4 B 高圧第7給水加熱器	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		26M	—	12			
蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び 貯水設備並びに給水処理設備)	4 A 復水ポンプ	簡易点検(グランドパッキン取替他)	低	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	○	10		
		機能・性能試験		3C	○	10		
	4 A 復水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	○	10		
		機能・性能試験		3C	—	11		
	4 B 復水ポンプ	簡易点検(グランドパッキン取替他)	低	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	—	11		
		機能・性能試験		3C	—	11		
	4 B 復水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	—	11		
		機能・性能試験		3C	—	12		
	4 C 復水ポンプ	簡易点検(グランドパッキン取替他)	低	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	—	12		
機能・性能試験		3C		—	12	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査		
4 C 復水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	12		(振動診断:切替毎)	
	分解点検		39M	—	12			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4 A 復水ブースタポンプ		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		26M	○	11		
		機能・性能試験		2C	○	11	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 A 復水ブースタポンプ用電動機		分解点検	低	39M	○	10		(振動診断:切替毎)
4 B 復水ブースタポンプ		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		26M	—	12		
		機能・性能試験		2C	—	12	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 B 復水ブースタポンプ用電動機		分解点検	低	39M	—	11		(振動診断:切替毎)
4 C 復水ブースタポンプ		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		26M	○	11		
		機能・性能試験		2C	○	11	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 C 復水ブースタポンプ用電動機		分解点検	低	39M	—	12		(振動診断:切替毎)
4 A 復水器真空ポンプ		簡易点検(グランドパッキン取替他)	低	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		26M	○	11		
		機能・性能試験		2C	○	11	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 A 復水器真空ポンプ用電動機		分解点検	低	52M	○	9		(振動診断:切替毎)
4 B 復水器真空ポンプ		簡易点検(グランドパッキン取替他)	低	13M	○	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検		26M	—	12		
		機能・性能試験		2C	—	12	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 B 復水器真空ポンプ用電動機		分解点検	低	52M	—	10		(振動診断:切替毎)
4 A 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	13M	○	12	GN4-125 2次系容器検査	
4 B 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	13M	○	12	GN4-125 2次系容器検査	
4 C 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	13M	○	12	GN4-125 2次系容器検査	
4 D 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	13M	○	12	GN4-125 2次系容器検査	
4 E 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	13M	○	12	GN4-125 2次系容器検査	
4 F 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	13M	○	12	GN4-125 2次系容器検査	
復水フィルタ		開放点検	低	130M	—	6		
4号 脱気器		開放点検	高	13M	○	12	GN4-125 2次系容器検査	
4号 電動主給水ポンプ		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	12		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		39M	○	10	GN4-121 2次系ポンプ分解検査	
4号 電動主給水ポンプ用電動機		分解点検	低	52M	○	9		(振動診断:1ヶ月)
4 A タービン動主給水ポンプ		分解点検	低	13M	○	12		(振動診断:1ヶ月)
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 B タービン動主給水ポンプ		分解点検	低	13M	○	12		(振動診断:1ヶ月)
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4 A タービン動主給水ポンプ駆動タービン		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		26M	○	11	GN4-121 2次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-122 2次系ポンプ機能検査	
4 B タービン動主給水ポンプ駆動タービン		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		26M	—	12	GN4-121 2次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GN4-122 2次系ポンプ機能検査	
4号 電動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ		簡易点検(グラッドパッキン取替他)	低	13M	○	12		
		分解点検		39M	○	10	GN4-121 2次系ポンプ分解検査	
4号 電動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		39M	○	10		
4 A タービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ		分解点検	低	26M	○	12		
		機能・性能試験		2C	○	11	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 A タービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	—	11		
4 B タービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ		分解点検	低	26M	—	12		
		機能・性能試験		2C	—	12	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 B タービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	—	10		
4 A 循環水ポンプ		簡易点検(グラッドパッキン取替他)	低	13M	○	12		
		分解点検		26M	○	11		
		機能・性能試験		2C	○	11	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 A 循環水ポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	○	11		
4 B 循環水ポンプ		簡易点検(グラッドパッキン取替他)	低	13M	○	12		
		分解点検		26M	—	12		
		機能・性能試験		2C	—	12	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 B 循環水ポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	—	10		
4 A 湿分分離加熱器第1段ドレンタンク		開放点検	低	26M	○	11		
4 B 湿分分離加熱器第1段ドレンタンク		開放点検	低	26M	—	12		
4 C 湿分分離加熱器第1段ドレンタンク		開放点検	低	26M	○	11		
4 D 湿分分離加熱器第1段ドレンタンク		開放点検	低	26M	—	12		
4 A 湿分分離加熱器第2段ドレンタンク		開放点検	低	26M	○	11		
4 B 湿分分離加熱器第2段ドレンタンク		開放点検	低	26M	—	12		
4 C 湿分分離加熱器第2段ドレンタンク		開放点検	低	26M	○	11		
4 D 湿分分離加熱器第2段ドレンタンク		開放点検	低	26M	—	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4 A 湿分分離器ドレンタンク	開放点検	低	13M	○	12		
	4 B 湿分分離器ドレンタンク	開放点検	低	13M	○	12		
	4 A 低圧給水加熱器ドレンタンク	開放点検	低	13M	○	12		
	4 B 低圧給水加熱器ドレンタンク	開放点検	低	13M	○	12		
	4V-AS-006 4号 脱気器加熱蒸気逃がし弁	分解点検	低	26M	○	11		
		機能・性能試験		2C	○	11	GN4-124 2次系安全弁検査	
	4V-AS-007 4号 脱気器加熱蒸気逃がし弁	分解点検	低	26M	—	12		
		機能・性能試験		2C	—	12	GN4-124 2次系安全弁検査	
	4V-CW-027A 4 A C P 吸込ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	○	11		
		機能・性能試験		2C	○	11	GN4-124 2次系安全弁検査	
	4V-CW-027B 4 B C P 吸込ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	—	12		
		機能・性能試験		2C	—	12	GN4-124 2次系安全弁検査	
	4V-CW-027C 4 C C P 吸込ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	○	11		
		機能・性能試験		2C	○	11	GN4-124 2次系安全弁検査	
	4V-CW-028A 4 A 低圧第1 ヒータ入口復水ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	○	11		
		機能・性能試験		2C	○	11	GN4-124 2次系安全弁検査	
	4V-CW-028B 4 B 低圧第1 ヒータ入口復水ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	—	12		
		機能・性能試験		2C	—	12	GN4-124 2次系安全弁検査	
	4V-CW-028C 4 C 低圧第1 ヒータ入口復水ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	—	12		
		機能・性能試験		2C	—	12	GN4-124 2次系安全弁検査	
	4V-CW-029A 4 A 低圧第3 ヒータ入口復水ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	○	11		
		機能・性能試験		2C	○	11	GN4-124 2次系安全弁検査	
	4V-CW-029B 4 B 低圧第3 ヒータ入口復水ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	—	12		
		機能・性能試験		2C	—	12	GN4-124 2次系安全弁検査	
	4V-FW-013A 4 A 高圧第7 ヒータ入口給水ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	○	11		
		機能・性能試験		2C	○	11	GN4-124 2次系安全弁検査	
	4V-FW-013B 4 B 高圧第7 ヒータ入口給水ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	—	12		
		機能・性能試験		2C	—	12	GN4-124 2次系安全弁検査	
	4V-RS-121 4号 湿分分離加熱器逃がし弁	分解点検	低	26M	—	12		
		機能・性能試験		2C	—	12	GN4-124 2次系安全弁検査	
	4V-RS-122 4 A 湿分分離加熱器リリーフ弁	分解点検	低	26M	—	12		
		機能・性能試験		2C	—	12	GN4-124 2次系安全弁検査	
	4V-RS-123 4 B 湿分分離加熱器リリーフ弁	分解点検	低	26M	—	12		
		機能・性能試験		2C	—	12	GN4-124 2次系安全弁検査	
	4V-RS-124 4 C 湿分分離加熱器リリーフ弁	分解点検	低	26M	—	12		
		機能・性能試験		2C	—	12	GN4-124 2次系安全弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4V-RS-125 4 D 湿分分離加熱器リリーフ弁	分解点検		低	26M	—	12		
	機能・性能試験			2C	—	12	GN4-124 2次系安全弁検査	
4V-RS-126 4 E 湿分分離加熱器リリーフ弁	分解点検		低	26M	—	12		
	機能・性能試験			2C	—	12	GN4-124 2次系安全弁検査	
4V-RS-127 4 F 湿分分離加熱器リリーフ弁	分解点検		低	26M	—	12		
	機能・性能試験			2C	—	12	GN4-124 2次系安全弁検査	
4V-RS-128 4 G 湿分分離加熱器リリーフ弁	分解点検		低	26M	○	11		
	機能・性能試験			2C	○	11	GN4-124 2次系安全弁検査	
4V-RS-129 4 H 湿分分離加熱器リリーフ弁	分解点検		低	26M	○	11		
	機能・性能試験			2C	○	11	GN4-124 2次系安全弁検査	
4V-RS-130 4 J 湿分分離加熱器リリーフ弁	分解点検		低	26M	○	11		
	機能・性能試験			2C	○	11	GN4-124 2次系安全弁検査	
4V-RS-131 4 K 湿分分離加熱器リリーフ弁	分解点検		低	26M	○	11		
	機能・性能試験			2C	○	11	GN4-124 2次系安全弁検査	
4V-RS-132 4 L 湿分分離加熱器リリーフ弁	分解点検		低	26M	○	11		
	機能・性能試験			2C	○	11	GN4-124 2次系安全弁検査	
4V-RS-133 4 M 湿分分離加熱器リリーフ弁	分解点検		低	26M	○	12		
	機能・性能試験			2C	○	11	GN4-124 2次系安全弁検査	
4V-RS-134 4 N 湿分分離加熱器リリーフ弁	分解点検		低	26M	○	11		
	機能・性能試験			2C	○	11	GN4-124 2次系安全弁検査	
4V-BS-771A 4 A 低圧第3給水加熱器逃がし弁	分解点検		低	26M	○	11		
	機能・性能試験			2C	○	11	GN4-124 2次系安全弁検査	
4V-BS-771B 4 B 低圧第3給水加熱器逃がし弁	分解点検		低	26M	—	12		
	機能・性能試験			2C	—	12	GN4-124 2次系安全弁検査	
4V-BS-781A 4 A 低圧第4給水加熱器逃がし弁	分解点検		低	26M	○	11		
	機能・性能試験			2C	○	11	GN4-124 2次系安全弁検査	
4V-BS-781B 4 B 低圧第4給水加熱器逃がし弁	分解点検		低	26M	—	12		
	機能・性能試験			2C	—	12	GN4-124 2次系安全弁検査	
4V-BS-801A 4 A 低圧第5給水加熱器逃がし弁	分解点検		低	26M	○	11		
	機能・性能試験			2C	○	11	GN4-124 2次系安全弁検査	
4V-BS-801B 4 B 低圧第5給水加熱器逃がし弁	分解点検		低	26M	—	12		
	機能・性能試験			2C	—	12	GN4-124 2次系安全弁検査	
4V-BS-821A 4 A 高圧第7給水加熱器逃がし弁	分解点検		低	26M	○	11		
	機能・性能試験			2C	○	11	GN4-124 2次系安全弁検査	
4V-BS-821B 4 B 高圧第7給水加熱器逃がし弁	分解点検		低	26M	—	12		
	機能・性能試験			2C	—	12	GN4-124 2次系安全弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4V-SC-501 4号スチームコンバータ安全弁		分解点検	低	26M	○	11		
		機能・性能試験		2C	○	11		
4V-AS-637 4号 ほう酸補給タンク加熱器入口安全弁		分解点検	低	10Y	○	2011年度		プラント運転中
		漏えい試験		10F	○	2011年度	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10F	○	2011年度		
補助給水系		機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-23 補助給水系機能検査	
4 A 電動補助給水ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	—	11	GN4-24 補助給水系ポンプ分解検査	
4 A 電動補助給水ポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	—	10		
4 B 電動補助給水ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	○	11	GN4-24 補助給水系ポンプ分解検査	
4 B 電動補助給水ポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	○	9		
4号タービン動補助給水ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	—	12	GN4-24 補助給水系ポンプ分解検査	
4号タービン動補助給水ポンプタービン		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M	—	12	GN4-24 補助給水系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		4C	—	12	GN4-84 1次系ポンプ機能検査	
4号 復水ピット		開放点検	高	26M	—	12		
4HCV-3715 4号 T/D AFWP出口流量設定弁A		駆動部点検	高	130M	—	5		
		分解点検		130M	—	5		
		機能・性能試験		10C	—	5	GN4-85 1次系弁検査	
4HCV-3725 4号 T/D AFWP出口流量設定弁B		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1次系弁検査	
4HCV-3735 4号 T/D AFWP出口流量設定弁C		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	○	3		
		機能・性能試験		10C	○	3	GN4-85 1次系弁検査	
4HCV-3745 4号 T/D AFWP出口流量設定弁D		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	4		
		機能・性能試験		10C	—	4	GN4-85 1次系弁検査	
4V-FW-553A 4 A M/D AFWP出口逆止弁		分解点検	高	39M	—	12		
4V-FW-553B 4 B M/D AFWP出口逆止弁		分解点検	高	39M	—	11		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4V-FW-557A 4 A M/D A FWP 出口流量設定弁 A	駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11	GN4-85 1 次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	11		
	4V-FW-557B 4 A M/D A FWP 出口流量設定弁 B	駆動部点検	高	130M	○	3		
		分解点検		130M	○	3		
		機能・性能試験		10C	○	3	GN4-85 1 次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	○	3		
	4V-FW-557C 4 B M/D A FWP 出口流量設定弁 C	駆動部点検	高	130M	—	5		
		分解点検		130M	—	4		
		機能・性能試験		10C	—	4	GN4-85 1 次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	10		
	4V-FW-557D 4 B M/D A FWP 出口流量設定弁 D	駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	4		
		機能・性能試験		10C	—	4	GN4-85 1 次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
	4V-FW-559A 4 A M/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁 A	分解点検	高	39M	—	11		
	4V-FW-559B 4 A M/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁 B	分解点検	高	39M	—	12		
	4V-FW-559C 4 B M/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁 C	分解点検	高	39M	—	11		
	4V-FW-559D 4 B M/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁 D	分解点検	高	39M	—	11		
4V-FW-568A 4 号 T/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁 A	分解点検	高	39M	—	11			
4V-FW-568B 4 号 T/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁 B	分解点検	高	39M	—	11			
4V-FW-568C 4 号 T/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁 C	分解点検	高	39M	—	12			
4V-FW-568D 4 号 T/D A FWP 出口流量設定弁後逆止弁 D	分解点検	高	39M	—	12			
4V-FW-573A 4 A 補助給水逆止弁	分解点検	高	39M	—	11			
4V-FW-573B 4 B 補助給水逆止弁	分解点検	高	39M	—	11			
4V-FW-573C 4 C 補助給水逆止弁	分解点検	高	39M	—	12			
4V-FW-573D 4 D 補助給水逆止弁	分解点検	高	39M	—	12			
4V-FW-574A 4 A 補助給水隔離弁	簡易点検(グランドバッキン取替)	高	65M	—	12			
	駆動部点検		130M	—	12			
	分解点検		130M	—	12			
	機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1 次系弁検査		
	電動機分解点検		130M	—	12			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4V-FW-574B 4 B 補助給水隔離弁	簡易点検(グランドパッキン取替)	高	65M	○	8		
		駆動部点検		130M	○	11		
		分解点検		130M	○	3		
		機能・性能試験		10C	○	11	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	○	3		
	4V-FW-574C 4 C 補助給水隔離弁	簡易点検(グランドパッキン取替)	高	65M	—	9		
		駆動部点検		130M	—	11		
		分解点検		130M	—	4		
		機能・性能試験		10C	—	11	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	4		
	4V-FW-574D 4 D 補助給水隔離弁	簡易点検(グランドパッキン取替)	高	65M	—	10		
		駆動部点検		130M	—	11		
		分解点検		130M	—	5		
		機能・性能試験		10C	—	11	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	5		
	4V-FW-580 4号 復水ビットM/D AFWP側止弁	駆動部点検	高	130M	—	5		
		分解点検		130M	—	5		
		機能・性能試験		10C	—	5	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	5		
	4V-FW-581 4号 復水ビットT/D AFWP側止弁	駆動部点検	高	130M	—	7		
分解点検		130M		—	7			
機能・性能試験		10C		—	7	GN4-85 1次系弁検査		
電動機分解点検		130M		—	7			
	スチームコンバータ	開放点検	低	13M	○	12		
蒸気タービン (蒸気タービンに附属する管等)	主蒸気管	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	11		
	低温再熱蒸気管(A湿分分離器左側)	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	11		
	低温再熱蒸気管(A湿分分離器右側)	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	9		
	低温再熱蒸気管(A湿分分離器上側)	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	○	7		
	低温再熱蒸気管(B湿分分離器左側)	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	12		
	低温再熱蒸気管(B湿分分離器右側)	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	10		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	低温再熱蒸気管 (B 湿分分離器上側)	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	8		
	高温再熱蒸気管 (L P-1)	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	○	10		
	高温再熱蒸気管 (L P-2)	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	11		
	高温再熱蒸気管 (L P-3)	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	12		
	第7 抽気管	開放点検(目視)	低	39M	—	11	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
		外観点検		1C	○	12		
	第6 抽気管	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
		外観点検		1C	○	12		
	第5 抽気管	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
		外観点検		1C	○	12		
	第4 抽気管	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
		外観点検		1C	○	12		
	第3 抽気管	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
		外観点検		1C	○	12		
	第2 抽気管	外観点検	低	1C	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
	第1 抽気管	開放点検(目視)	低	13M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
外観点検		1C		○	12			
湿分分離加熱器第1 段加熱蒸気管	開放点検(目視)	低	39M	—	11	GN4-129 蒸気タービン開放検査		
	外観点検		1C	○	12			
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)	1. ディーゼル発電機 2台 2. 安全注入信号及び格納容器スプレイ信号発信時、非常用ディーゼル 発電機に電源を求める機器 50台	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-53 非常用予備発電装置機能検査	
	非常用ディーゼル発電機保護装置(継電器)	特性試験	高	13M	○	12		
	4 A ディーゼル発電機	発電機分解点検	高	78M	○	11		(振動診断: 1ヶ月)
		普通点検(軸受点検)		26M	○	12		
		簡易点検		13M	○	12		
	4 A ディーゼル発電機NGR断路器	外観点検	高	1C	○	12		
	4 A ディーゼル発電機接地変圧器	外観点検	高	1C	○	12		
	4 A ディーゼル発電機C T取納盤	外観点検	高	1C	○	12		
	4 B ディーゼル発電機	発電機分解点検	高	78M	—	11		(振動診断: 1ヶ月)
		普通点検(軸受点検)		26M	—	12		
		簡易点検		13M	○	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4 B ディーゼル発電機NGR断路器	外観点検	高	1C	○	12		
	4 B ディーゼル発電機接地変圧器	外観点検	高	1C	○	12		
	4 B ディーゼル発電機CT取納盤	外観点検	高	1C	○	12		
	4 A No1,9シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 A No2,10シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	12	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 A No3,11シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	○	10	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 A No4,12シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 A No5,13シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 A No6,14シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 A No7,15シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 A No8,16シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 B No1,9シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 B No2,10シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 B No3,11シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 B No4,12シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 B No5,13シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 B No6,14シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	○	10	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 B No7,15シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	12	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 B No8,16シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 A 吸気弁 (32台) 開放シリンダのみ実施	分解点検	高	104M	○	12	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 B 吸気弁 (32台) 開放シリンダのみ実施	分解点検	高	104M	○	12	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 A 排気弁 (32台)	分解点検	高	13M	○	12	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 B 排気弁 (32台)	分解点検	高	13M	○	12	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 A 燃料噴射弁 (16台)	分解点検	高	13M	○	12	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 B 燃料噴射弁 (16台)	分解点検	高	13M	○	12	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	4 A 非常用ディーゼル発電機系統	外観点検	高	1C	○	12	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 A 非常用ディーゼル発電機燃料油配管	外観点検	高	4C	—	12		屋外保温材施工部
	4 B 非常用ディーゼル発電機系統	外観点検	高	1C	○	12	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 B 非常用ディーゼル発電機燃料油配管	外観点検	高	4C	—	12		屋外保温材施工部
	4 A 潤滑油ブライミングポンプ	分解点検	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
	4 A 潤滑油ブライミングポンプ用電動機	分解点検	高	26M	—	12		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B 潤滑油ブライミングポンプ	分解点検	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B 潤滑油ブライミングポンプ用電動機	分解点検	高	26M	—	12		(振動診断: 1ヶ月)
	4 A 温水循環ポンプ	分解点検	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
	4 A 温水循環ポンプ用電動機	分解点検	高	26M	—	12		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B 温水循環ポンプ	分解点検	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B 温水循環ポンプ用電動機	分解点検	高	26M	—	12		(振動診断: 1ヶ月)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4 A シリンダ冷却水ポンプ(機付)	分解点検	高	26M	○	11		
	4 B シリンダ冷却水ポンプ(機付)	分解点検	高	26M	○	12		
	4 A 燃料弁冷却水ポンプ	簡易点検(グラウンドパッキン取替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		39M	—	11	GN4-134 非常用予備発電機付風設備検査	
	4 A 燃料弁冷却水ポンプ用電動機	分解点検	高	39M	—	12		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B 燃料弁冷却水ポンプ	簡易点検(グラウンドパッキン取替他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		39M	—	11	GN4-134 非常用予備発電機付風設備検査	
	4 B 燃料弁冷却水ポンプ用電動機	分解点検	高	39M	—	12		(振動診断: 1ヶ月)
	4 A 燃料油供給ポンプ(機付)	分解点検	高	39M	—	11		
	4 B 燃料油供給ポンプ(機付)	分解点検	高	39M	○	11		
	4 A 潤滑油ポンプ(機付)	分解点検	高	52M	—	11		
	4 B 潤滑油ポンプ(機付)	分解点検	高	52M	—	11		
	4 A 燃料油移送ポンプ	簡易点検(センターリング他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		65M	—	11	GN4-134 非常用予備発電機付風設備検査	
	4 A 燃料油移送ポンプ用電動機	分解点検	高	65M	—	11		(振動診断: 1ヶ月)
	4 B 燃料油移送ポンプ	簡易点検(センターリング他)	高	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		65M	—	12	GN4-134 非常用予備発電機付風設備検査	
	4 B 燃料油移送ポンプ用電動機	分解点検	高	65M	—	12		(振動診断: 1ヶ月)
	4 A 過給機(左, 右)	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		
		分解点検		130M	—	11		
	4 B 過給機(左, 右)	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	12		
		分解点検		130M	—	11		
	4 A 潤滑油冷却器	開放点検	高	13M	○	12		
		非破壊試験		13M	○	12	GN4-134 非常用予備発電機付風設備検査	
	4 B 潤滑油冷却器	開放点検	高	13M	○	12		
		非破壊試験		13M	○	12	GN4-134 非常用予備発電機付風設備検査	
	4 A 潜水冷却器	開放点検	高	13M	○	12		
		非破壊試験		13M	○	12	GN4-134 非常用予備発電機付風設備検査	
	4 B 潜水冷却器	開放点検	高	13M	○	12		
		非破壊試験		13M	○	12	GN4-134 非常用予備発電機付風設備検査	
	4 A 燃料弁冷却水冷却器	開放点検	高	13M	○	12		
		非破壊試験		13M	○	12	GN4-134 非常用予備発電機付風設備検査	
	4 B 燃料弁冷却水冷却器	開放点検	高	13M	○	12		
		非破壊試験		13M	○	12	GN4-134 非常用予備発電機付風設備検査	
	4 A-1 空気冷却器	開放点検	高	13M	○	12		
		非破壊試験		13M	○	12	GN4-134 非常用予備発電機付風設備検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4 A-2 空気冷却器		開放点検	高	13M	○	12		
		非破壊試験		13M	○	12		
4 B-1 空気冷却器		開放点検	高	13M	○	12		
		非破壊試験		13M	○	12		
4 B-2 空気冷却器		開放点検	高	13M	○	12		
		非破壊試験		13M	○	12		
4 A-1 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	12		
4 A-1 清水加熱器ヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	12		
4 A-2 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	12		
4 A-2 清水加熱器ヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	12		
4 B-1 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	12		
4 B-1 清水加熱器ヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	12		
4 B-2 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	12		
4 B-2 清水加熱器ヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	12		
4 A シリンダ冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	12		
4 B シリンダ冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	12		
4 A-1 空気だめ		開放点検	高	13M	○	12		
4 A-2 空気だめ		開放点検	高	13M	○	12		
4 B-1 空気だめ		開放点検	高	13M	○	12		
4 B-2 空気だめ		開放点検	高	13M	○	12		
4 A 燃料弁冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	12		
4 B 燃料弁冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	12		
4 A 潤滑油タンク		開放点検	高	65M	—	11		
4 A 潤滑油タンクヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	12		
4 B 潤滑油タンク		開放点検	高	65M	—	11		
4 B 潤滑油タンクヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	12		
4 A 燃料油サービスタンク		開放点検	高	130M	—	11		
4 B 燃料油サービスタンク		開放点検	高	130M	—	11		
4 A 潤滑油逆洗こし器		開放点検	低	13M	○	12		
4 B 潤滑油逆洗こし器		開放点検	低	13M	○	12		
4 A 潤滑油主こし器(右)		開放点検	高	13M	○	12		
4 A 潤滑油主こし器(左)		開放点検	高	13M	○	12		
4 B 潤滑油主こし器(右)		開放点検	高	13M	○	12		
4 B 潤滑油主こし器(左)		開放点検	高	13M	○	12		
4 A 燃料油第1こし器1		開放点検	高	13M	○	12		
4 A 燃料油第1こし器2		開放点検	高	13M	○	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4 B 燃料油第1こし器1	開放点検	高	13M	○	12		
	4 B 燃料油第1こし器2	開放点検	高	13M	○	12		
	4 A 燃料油第2こし器1	開放点検	高	13M	○	12		
	4 A 燃料油第2こし器2	開放点検	高	13M	○	12		
	4 B 燃料油第2こし器1	開放点検	高	13M	○	12		
	4 B 燃料油第2こし器2	開放点検	高	13M	○	12		
	4 A シリンダ安全弁 (16台)	分解点検	高	130M	—	10		
		機能・性能試験		10C	—	10	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 B シリンダ安全弁 (16台)	分解点検	高	130M	—	10		
		機能・性能試験		10C	—	10	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 A クランク室安全弁 (4台)	分解点検	高	130M	—	9		
		機能・性能試験		10C	—	9	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		漏えい試験		10C	—	9		
	4 B クランク室安全弁 (4台)	分解点検	高	130M	—	9		
		機能・性能試験		10C	—	9	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		漏えい試験		10C	—	9		
	4 A 空気圧縮機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		26M	○	11		
	4 A 空気圧縮機用電動機	分解点検	低	78M	—	12		
	4 B 空気圧縮機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	12		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		26M	—	12		
	4 B 空気圧縮機用電動機	分解点検	低	78M	—	12		
	4 A 非常调速装置	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 B 非常调速装置	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 A 调速装置	分解点検	高	52M	—	12		
	4 B 调速装置	分解点検	高	52M	—	12		
	4 A 計測装置	特性試験	高	13M	○	12	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 B 計測装置	特性試験	高	13M	○	12	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 A 1主始動弁	分解点検	高	13M	○	12		
	4 A 2主始動弁	分解点検	高	13M	○	12		
	4 B 1主始動弁	分解点検	高	13M	○	12		
	4 B 2主始動弁	分解点検	高	13M	○	12		
	4 A 非常用ディーゼル発電機 機関本体	分解点検	高	13M	○	12		
	4 B 非常用ディーゼル発電機 機関本体	分解点検	高	13M	○	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4 A 燃料油貯油そう (重大事故等時のみ3, 4号機共用)		開放点検	高	130M	—	9		
		気密試験		2C	—	12		
4 A 燃料油貯油そう基礎 (土木建築設備)		外観点検	高	1C	○	12		
4 A 燃料油貯蔵タンク (重大事故等時のみ3, 4号機共用)		開放点検	高	130M	—	—		第11回定検より追加
		気密試験		2C	—	12		
4 A 燃料油貯蔵タンク基礎 (土木建築設備)		外観点検	高	1C	○	12		
4 B 燃料油貯油そう (重大事故等時のみ3, 4号機共用)		開放点検	高	130M	—	10		
		気密試験		2C	—	12		
4 B 燃料油貯油そう基礎 (土木建築設備)		外観点検	高	1C	○	12		
4 B 燃料油貯蔵タンク (重大事故等時のみ3, 4号機共用)		開放点検	高	130M	—	—		第11回定検より追加
		気密試験		2C	—	12		
4 B 燃料油貯蔵タンク基礎 (土木建築設備)		外観点検	高	1C	○	12		
4V-DG-613A 4 A 空気だめ安全弁(A)		分解点検	高	130M	○	11	GN4-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	○	11		
		機能・性能試験		10C	○	11		
4V-DG-613B 4 B 空気だめ安全弁(A)		分解点検	高	130M	○	11	GN4-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	○	11		
		機能・性能試験		10C	○	11		
4V-DG-614A 4 A 空気だめ安全弁(B)		分解点検	高	130M	—	11	GN4-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-DG-614B 4 B 空気だめ安全弁(B)		分解点検	高	130M	—	11	GN4-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-DG-627A 4 A 空気圧縮機 1 段安全弁		分解点検	低	130M	—	6	GN4-86 1 次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	6		
		漏えい試験		10C	—	6		
		外観点検		10C	—	6		
4V-DG-627B 4 B 空気圧縮機 1 段安全弁		分解点検	低	130M	—	7	GN4-86 1 次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	7		
		漏えい試験		10C	—	7		
		外観点検		10C	—	7		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
4V-DG-630A 4 A 空気圧縮機 2 段安全弁	4V-DG-630A 4 A 空気圧縮機 2 段安全弁	分解点検	低	130M	—	6	GN4-86 1 次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	6			
		漏えい試験		10C	—	6			
		外観点検		10C	—	6			
	4V-DG-630B 4 B 空気圧縮機 2 段安全弁	4V-DG-630B 4 B 空気圧縮機 2 段安全弁	分解点検	低	130M	—	7	GN4-86 1 次系安全弁検査	
			機能・性能試験		10C	—	7		
			漏えい試験		10C	—	7		
			外観点検		10C	—	7		
	4V-DG-633A 4 A 空気圧縮機 3 段安全弁	4V-DG-633A 4 A 空気圧縮機 3 段安全弁	分解点検	低	130M	—	6	GN4-86 1 次系安全弁検査	
			機能・性能試験		10C	—	6		
			漏えい試験		10C	—	6		
			外観点検		10C	—	6		
	4V-DG-633B 4 B 空気圧縮機 3 段安全弁	4V-DG-633B 4 B 空気圧縮機 3 段安全弁	分解点検	低	130M	—	7	GN4-86 1 次系安全弁検査	
			機能・性能試験		10C	—	7		
			漏えい試験		10C	—	7		
			外観点検		10C	—	7		
	4V-DG-015A 4 A 温水循環ポンプ出口逆止弁 4V-DG-015B 4 B 温水循環ポンプ出口逆止弁	4V-DG-015A 4 A 温水循環ポンプ出口逆止弁	取替	高	65M	○	8		
		4V-DG-015B 4 B 温水循環ポンプ出口逆止弁	取替	高	65M	○	8		
	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他)	発電機	普通点検(軸受点検)	低	26M	○	11	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
			分解点検		78M	○	7		
機能・性能試験 (組立状況)			1C		○	12			
励磁機		普通点検(軸受点検他)	低	26M	○	11			
		分解点検		78M	○	7			
発電機保護装置(継電器)		特性試験	低	26M	—	12			
主変圧器		普通点検(特性試験他)	低	13M	○	12			
		分解点検		195M	—	—			
所内変圧器		普通点検(特性試験他)	低	13M	○	12			
		分解点検		195M	—	12			
主変圧器・所内変圧器保護装置(継電器)		特性試験	低	26M	—	12			
2 Lユニット		普通点検(特性試験他)	低	13M	○	12			
		分解点検		156M	—	8			
4 MT r ユニット		普通点検(特性試験他)	低	13M	○	12			
		分解点検		156M	—	10			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	BUS T I Eユニット	普通点検(特性試験他)	低	13M	○	12		
		分解点検		156M	—	11		
	母線保護装置(継電器)	特性試験	低	78M	—	11		
	送電線保護装置(継電器)	特性試験	低	78M	—	11		
	電流計(500kV 玄海幹線2L北線)(3,4号機共用)	特性試験	低	26M	○	—		第11回定検より追加
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) (その他の電源装置)	遮断器 4-4 A E G	機能・性能試験	高	2C	○	11		
		内部点検		130M	—	5		
	遮断器 4-4 B E G	機能・性能試験	高	2C	—	12		
		内部点検		130M	—	12		
	6.6kV 4-4 C 母線	機能・性能試験	高	4C	○	11		
	6.6kV 4-4 C 母線PT-1	機能・性能試験	高	4C	—	11		
	6.6kV 4-4 C 母線PT-2	機能・性能試験	高	4C	—	11		
	6.6kV 4-4 D 母線	機能・性能試験	高	4C	—	12		
	6.6kV 4-4 D 母線PT-1	機能・性能試験	高	4C	—	11		
	6.6kV 4-4 D 母線PT-2	機能・性能試験	高	4C	—	11		
	受電遮断器 4-4 E C	機能・性能試験	高	2C	○	11		
		内部点検		130M	○	5		
	受電遮断器 4-4 E D	機能・性能試験	高	2C	—	12		
		内部点検		130M	—	12		
	受電遮断器 4-4 H C	機能・性能試験	高	2C	○	11		
		内部点検		130M	○	5		
	受電遮断器 4-4 H D	機能・性能試験	高	2C	—	12		
		内部点検		130M	—	12		
	遮断器 3-4 C 1 H	機能・性能試験	高	2C	○	11		
		内部点検		130M	○	5		
	遮断器 3-4 C 2 H	機能・性能試験	高	2C	○	11		
		内部点検		130M	○	5		
	遮断器 3-4 D 1 H	機能・性能試験	高	2C	—	12		
		内部点検		130M	—	12		
	遮断器 3-4 D 2 H	機能・性能試験	高	2C	—	12		
		内部点検		130M	—	12		
	4-4 C 6.6kVメタクラ(安全系遮断器)	機能・性能試験	高	2C	○	11		
		内部点検		130M	○	5		
	4-4 D 6.6kVメタクラ(安全系遮断器)	機能・性能試験	高	2C	—	12		
		内部点検		130M	—	12		
	所内電源保護装置(継電器)	特性試験	高	26M	—	12		
	440V 3-4 C 1 母線	機能・性能試験	高	4C	—	11		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
遮断器 3-4C1L		機能・性能試験	高	2C	○	11		
		蓄勢部点検		78M	—	11		
440V 3-4C1 母線PT-1		機能・性能試験	高	4C	—	11		
440V 3-4C1 母線PT-2		機能・性能試験	高	4C	—	11		
4C1 動力変圧器		機能・性能試験	高	2C	○	11		
440V 3-4C2 母線		機能・性能試験	高	4C	—	11		
遮断器 3-4C2L		機能・性能試験	高	2C	○	11		
		蓄勢部点検		78M	—	11		
440V 3-4C2 母線PT-1		機能・性能試験	高	4C	—	11		
440V 3-4C2 母線PT-2		機能・性能試験	高	4C	—	11		
4C2 動力変圧器		機能・性能試験	高	2C	○	11		
440V 3-4D1 母線		機能・性能試験	高	4C	—	11		
遮断器 3-4D1L		機能・性能試験	高	2C	—	12		
		蓄勢部点検		78M	—	12		
440V 3-4D1 母線PT-1		機能・性能試験	高	4C	—	11		
440V 3-4D1 母線PT-2		機能・性能試験	高	4C	—	11		
4D1 動力変圧器		機能・性能試験	高	2C	—	12		
440V 3-4D2 母線		機能・性能試験	高	4C	—	11		
遮断器 3-4D2L		機能・性能試験	高	2C	—	12		
		蓄勢部点検		78M	—	12		
440V 3-4D2 母線PT-1		機能・性能試験	高	4C	—	11		
440V 3-4D2 母線PT-2		機能・性能試験	高	4C	—	11		
4D2 動力変圧器		機能・性能試験	高	2C	—	12		
3-4C 440Vパワーセンタ(安全系遮断器)		機能・性能試験	高	2C	○	11		
		蓄勢部点検		78M	—	11		
3-4D 440Vパワーセンタ(安全系遮断器)		機能・性能試験	高	2C	—	12		
		蓄勢部点検		78M	—	12		
4C1 原子炉コントロールセンタ		機能・性能試験	高	6C	○	11		
4C2 原子炉コントロールセンタ		機能・性能試験	高	6C	○	11		
4C3 原子炉コントロールセンタ		機能・性能試験	高	6C	—	11		
4C4 原子炉コントロールセンタ		機能・性能試験	高	6C	—	11		
4D1 原子炉コントロールセンタ		機能・性能試験	高	6C	—	11		
4D2 原子炉コントロールセンタ		機能・性能試験	高	6C	—	11		
4D3 原子炉コントロールセンタ		機能・性能試験	高	6C	—	11		
4D4 原子炉コントロールセンタ		機能・性能試験	高	6C	—	11		
4A ディーゼル発電機コントロールセンタ		機能・性能試験	高	6C	—	11		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4 B ディーゼル発電機コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C	—	10		
	4 A 直流コントロールセンタ	機能・性能試験	高	16C	—	11		
	4 A 充電器盤	機能・性能試験	高	1C	○	12		
	4 A ドロッパ盤	機能・性能試験	高	1C	○	12		
	4 A 蓄電池 (安全防護系用)	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-222 直流電源系機能検査	
		機能・性能試験		1C			GN4-223 直流電源系作動検査	
	4 B 直流コントロールセンタ	機能・性能試験	高	16C	—	11		
	4 B 充電器盤	機能・性能試験	高	1C	○	12		
	4 B ドロッパ盤	機能・性能試験	高	1C	○	12		
	4 B 蓄電池 (安全防護系用)	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-222 直流電源系機能検査	
		機能・性能試験		1C			GN4-223 直流電源系作動検査	
	直流分電盤(安全系)	機能・性能試験	高	16C	—	—		
	タービン動補助給水ポンプ盤	機能・性能試験	高	16C	—	12		
	計装用インバータ 4台	機能・性能試験	高	1C	○	12	GN4-112 インバータ機能検査	
火災防護設備 (消火設備)	ハロン消火設備 (4号本館建屋)	機能・性能試験	低	1C	○	12		
	ハロン消火設備 (雑固体溶融処理建屋)	機能・性能試験	低	1F	○	2020年度		定検停止中又はプラント運転中
	二酸化炭素自動消火設備 (D/G)	機能・性能試験	低	1C	○	12		
	水噴霧消火設備 (RM/B) (3,4号機共用)	分解点検	低	10Y	—	—		定検停止中又はプラント運転中 第11回定検より追加
機能・性能試験		1F		○	2020年度			
火災防護設備 (その他設備)	防火ダンパ 1台	機能点検	高	13M	○	12		
	防火ダンパ 3台	機能点検	高	26M	—	12		
	防火ダンパ 32台	機能点検	低	26M	—	12		
	防火兼ハロン連動ダンパ 4台	機能点検	高	26M	—	12		
	防火兼ハロン連動ダンパ 4台	機能点検	低	26M	—	12		
	ハロン連動ダンパ 38台	機能点検	高	26M	—	12		
	ハロン連動ダンパ 19台	機能点検	低	26M	—	12		
	原子炉補助建屋 防火扉 12箇所	外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉周辺建屋 防火扉 80箇所	外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	浸水防護設備 (外郭浸水防護設備) (内部浸水防護設備)	原子炉周辺建屋水密扉 5箇所	外観点検	低	1F	○	2019年度	
海水ポンプエリア水密扉 2箇所		外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
取水ピット搬入口蓋 (3,4号機共用)		外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
原子炉周辺建屋扉 15箇所		外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
原子炉周辺建屋管理区域外伝ば防止扉 9箇所		外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
浸水防護施設 (その他設備)	床ドレンライン逆止弁 70台	分解点検	低	10Y	—	—		定検停止中又はプラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
非常用取水設備 (取水設備)	取水口 (重大事故等時のみ3,4号機共用)	外観点検	高	1C	○	12		
	取水管路 (重大事故等時のみ3,4号機共用)	外観点検	高	1C	○	12		
	取水ピット (重大事故等時のみ3,4号機共用)	外観点検	高	1C	○	12		
土木建築設備	原子伊格納容器	外観点検	高	1C	○	12		
	原子炉周辺建屋	外観点検	高	1C	○	12		
	堆固体溶融処理建屋	外観点検	低	1C	○	12		
プラント総合全般機器	発電用原子炉及びその附属施設(非常用電源設備を除く)	総合性能試験	高	1C	○	12	GN4-55 総合負荷性能検査	定検起動後
電巻防護設備	ディーゼル発電機室水密扉 2箇所	外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	ディーゼル発電機室給気塔入口扉 2箇所	外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	蓄電池室(安全系)排気塔入口扉	外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	ディーゼル発電機室給気塔防護鋼板 1式	外観点検	低	1C	○	12		
	蓄電池室(安全系)排気塔防護鋼板 1式	外観点検	低	1C	○	12		

2. 点検計画 重大事故等対処設備

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵設備)	使用済燃料ビット水位 (SA) 1台	特性試験	高	13M	○	12	GM-35 プラント状態監視設備機能検査	
	使用済燃料ビット水位 (広域) 2台	特性試験	高	13M	○	12	GM-73 計測制御系監視機能検査	
	使用済燃料ビット温度 (SA) 1台	特性試験	高	13M	○	12	GM-35 プラント状態監視設備機能検査	
	使用済燃料ビット状態監視カメラ 1台	特性試験	低	1Y	○	2020年度		定検停止中又はプラント運転中
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備)	使用済燃料ビットスプレイレイン 集水分岐管送水用 2.0mホース 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	使用済燃料ビットスプレイレイン 集水分岐管送水用 3.0mホース 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	使用済燃料ビットスプレイレイン 集水分岐管送水用 4.0mホース 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	使用済燃料ビットスプレイレイン 使用済燃料ビットスプレイレインヘッド送水用 1.0mホース 3本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備)	1. 高圧注入系 ・高圧注入ポンプ : 2台 ・モード切替弁 : 14個 2. 低圧注入系 ・余熱除去ポンプ : 2台 ・モード切替弁 : 8個 3. 原子炉格納容器スプレイレイン系 ・B格納容器スプレイレインポンプ ・モード切替弁 : 4個 4. 充てん注入系 ・充てんポンプ : 3台 ・モード切替弁 : 4個 5. 蓄圧注入系 ・蓄圧タンク : 4基 ・蓄圧タンク出口弁 : 4個 6. 常設電動注入ポンプ : 1台	機能・性能試験	高	1C	○	12	GM-205 その他原子炉注水系機能検査	
原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却設備)	原子炉補機冷却水サーージタンク用窒素ボンベ 7本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉補機冷却水サーージタンク加圧ライン窒素供給用 3.8mフレキシブルホース 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉補機海水冷却ライン排水用 3mフレキシブルホース (オス型継手) 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉補機海水冷却ライン排水用 4mフレキシブルホース (メス型継手) 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
計測制御系統施設 (計測装置)	AM用消火水積算流量	特性試験	高	13M	○	12	GM-35 プラント状態監視設備機能検査	
	4B格納容器スプレイレイン流量積算流量	特性試験	高	13M	○	12	GM-35 プラント状態監視設備機能検査	
	格納容器内温度 (SA)	特性試験	高	13M	○	12	GM-35 プラント状態監視設備機能検査	
	原子炉下部キャビティ水位	特性試験	高	13M	○	12	GM-35 プラント状態監視設備機能検査	
	原子炉格納容器水位	特性試験	高	13M	○	12	GM-35 プラント状態監視設備機能検査	
	AM用格納容器圧力	特性試験	高	13M	○	12	GM-35 プラント状態監視設備機能検査	
	原子炉容器水位	特性試験	高	13M	○	12	GM-35 プラント状態監視設備機能検査	
	アニュラス水素濃度 2個	特性試験	高	13M	○	12	GM-35 プラント状態監視設備機能検査	
	重大事故等対処用入出力盤	特性試験	高	13M	○	12		
	重大事故等対処用制御盤	特性試験	高	13M	○	12		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術	
計測制御系統施設 （工学的安全施設等の作動信号）	多様化自動作動設備	特性試験	高	13M	○	12	GM4-207 重大事故時安全停止回路機能検査		
		機能・性能試験		1C	○	12			
計測制御系統施設 （制御用空気設備）	加圧器逃がし弁用窒素ポンベ 6本（予備含む）	外観点検	高	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中	
	アニュラス空気浄化ファン弁用窒素ポンベ 2本（予備含む）	外観点検	高	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中	
	事故時試料採取設備弁用窒素ポンベ 2本（予備含む）	外観点検	高	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中	
	4V-M-208 加圧器逃がし弁A窒素供給ライン安全弁	分解点検又は取替	低	130M	○	—	GM4-86 1次系安全弁検査		第11回定検より追加
		漏えい試験		10C	○	—			
		機能・性能試験		10C	○	—			
	4V-M-218 加圧器逃がし弁B窒素供給ライン安全弁	分解点検又は取替	低	130M	○	—	GM4-86 1次系安全弁検査		第11回定検より追加
		漏えい試験		10C	○	—			
		機能・性能試験		10C	○	—			
	4V-M-248 加圧器逃がし弁窒素供給ライン安全弁	分解点検又は取替	低	130M	○	—	GM4-86 1次系安全弁検査		第11回定検より追加
		漏えい試験		10C	○	—			
		機能・性能試験		10C	○	—			
	4V-1A-713 4Bアニュラス空気浄化系弁用窒素供給ライン安全弁	分解点検又は取替	低	130M	—	—	GM4-86 1次系安全弁検査		第11回定検より追加
		漏えい試験		10C	—	—			
		機能・性能試験		10C	—	—			
4V-1A-654 格納容器空気サンプル取出及び格納容器雰囲気ガスサンプル戻りライン外 隔離弁事故時制御用窒素供給ライン安全弁	分解点検又は取替	低	130M	—	—	GM4-86 1次系安全弁検査		第11回定検より追加	
	漏えい試験		10C	—	—				
	機能・性能試験		10C	—	—				
加圧器逃がし弁用制御用空気ライン窒素供給用 2.5mフレキシブルホース 3本（予備含む）	外観点検	高	1C	○	12				
アニュラス空気浄化ファン弁用制御用空気ライン窒素供給用 6mフレキシブルホース 2本（予備含む）	外観点検	高	1C	○	12				
事故時試料採取設備弁用制御用空気ライン窒素供給用 3mフレキシブルホース 2本（予備含む）	外観点検	高	1C	○	12				
計測制御系統施設 （その他設備）	可搬型計測器（3,4号機共用） 41台	特性試験	低	1Y	○	2020年度		定検停止中又はプラント運転中	
	可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度（SA） 用）（3,4号機共用） 4台	特性試験	低	1Y	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中	
	原子炉補機冷却水サージタンク圧力（SA）（3,4号機共用）	特性試験	低	1Y	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中	
放射線管理施設 （放射線管理用計測装置）	使用済燃料ピット周辺線量率（低レンジ）（3,4号機共用） 1台	特性試験	低	13M	○	12	GM4-77 放射線監視装置機能検査		
	使用済燃料ピット周辺線量率（中間レンジ）（3,4号機共用） 1台	特性試験	低	13M	○	12	GM4-77 放射線監視装置機能検査		
	使用済燃料ピット周辺線量率（高レンジ）（3,4号機共用） 1台	特性試験	低	13M	○	12	GM4-77 放射線監視装置機能検査		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術	
原子伊格納施設 （圧力低減設備）	常設電動注入ポンプ	簡易点検（油入替他）	高	13M	○	12		（振動診断：1ヶ月） 第11回定検より追加	
		分解点検		52M	—	—	GN4-49 原子伊格納容器安全系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子伊注水系ポンプ分解検査		
	常設電動注入ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	12		（振動診断：1ヶ月） 第11回定検より追加	
		分解点検		52M	—	—			
	4 A 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	○	12		第11回定検より追加	
		機能・性能試験		3C	—	—	GN4-51 原子伊格納容器水素再結合装置機能検査		
	4 B 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	○	12		第11回定検より追加	
		機能・性能試験		3C	—	—	GN4-51 原子伊格納容器水素再結合装置機能検査		
	4 C 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	○	12		第11回定検より追加	
		機能・性能試験		3C	—	—	GN4-51 原子伊格納容器水素再結合装置機能検査		
	4 D 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	○	12		第11回定検より追加	
		機能・性能試験		3C	—	—	GN4-51 原子伊格納容器水素再結合装置機能検査		
	4 E 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	○	12		第11回定検より追加	
		機能・性能試験		3C	—	—	GN4-51 原子伊格納容器水素再結合装置機能検査		
電気式水素燃焼装置 14個（予備含む）	普通点検（絶縁抵抗測定他）	高	1C	○	12				
	機能・性能試験		1C	○	12	GN4-51 原子伊格納容器水素再結合装置機能検査			
静的触媒式水素再結合装置動作監視装置	特性試験	低	13M	○	12	GN4-73 計測制御系監視機能検査			
電気式水素燃焼装置動作監視装置	特性試験	低	13M	○	12	GN4-73 計測制御系監視機能検査			
原子伊施設 （その他設備）	重大事故等クラス2機器（供用期間中検査対象） 1式	非破壊試験	高	10年間	○	12	GN4-201 重大事故等クラス2機器供用期間中検査	IS1プログラムによる。（別紙-4）	
		漏えい試験			○	12			
		非破壊試験			—	11	GN4-201 重大事故等クラス2機器供用期間中検査		
重大事故等クラス3機器（供用期間中検査対象） 1式	漏えい試験	高	10年間	○	—	GN4-228 重大事故等クラス3機器漏えい検査	IS1プログラムによる。（別紙-5） 第13回定検より追加		
非常用電源設備	大容量空冷式発電機ガスタービン	簡易点検	高	1C	○	12		第11回定検より追加	
		普通点検		39M	—	12			
		精密点検		130M	—	—			GN4-220 その他非常用発電装置の分解検査
		機能・性能試験		1C	○	12			GN4-221 その他非常用発電装置の機能検査
	大容量空冷式発電機	簡易点検	高	1C	○	12		第11回定検より追加	
		普通点検		65M	—	—			
		精密点検		130M	—	—			
		機能・性能試験		1C	○	12			GN4-221 その他非常用発電装置の機能検査

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
大容量空冷式発電機用燃料タンク		開放点検	高	130M	—	—		第11回定検より追加
		気密試験		2C	○	11		
大容量空冷式発電機用給油ポンプ		簡易点検	高	13M	○	12		(振動診断：1ヶ月) 第11回定検より追加
		分解点検		65M	—	—		
大容量空冷式発電機用給油ポンプ電動機		分解点検	高	130M	—	—		(振動診断：1ヶ月) 第11回定検より追加
可搬型直流変換器（3,4号機共用）	3台（予備含む）	普通点検	高	1Y	○	2020年度		定検停止中又はプラント運転中
蓄電池（重大事故等対処用）	2組	機能・性能試験	高	1C	○	12	GM4-222 直流電源系機能検査	
		機能・性能試験		1C	○	12	GM4-223 直流電源系作動検査	
7		簡易点検	高	1F	○	2019年度		
重大事故等対処用変圧器盤		普通点検	高	1C	○	12		
重大事故等対処用変圧器受電盤		普通点検	高	1C	○	12		
重大事故等対処用分電盤		普通点検	高	1C	○	12		
常設電動注入ポンプ電源切替盤		普通点検	高	1C	○	12		
計装用電源切替盤	2台	普通点検	高	1C	○	12		
号炉間電力融通電路（3,4号機共用、3号機に設置）		普通点検（絶縁抵抗測定他）	高	1C	○	12		
号炉間電力融通電路（3,4号機共用）		普通点検（絶縁抵抗測定他）	高	1C	○	12		
予備ケーブル（号炉間電力融通用）（3,4号機共用）	12本	普通点検（絶縁抵抗測定他）	低	1F	○	2020年度		定検停止中又はプラント運転中
代替電源接続盤1		普通点検	高	1C	○	12		
代替電源接続盤2（3,4号機共用）		普通点検	高	1C	○	12		
重大事故等対処用直流コントロールセンタ		普通点検	高	65M	—	—		第11回定検より追加

3. 原子力規制委員会の内規に従い実施する点検計画

なし

4. 長期施設管理方針に基づく点検計画

なし

クラス1機器供用期間中検査GN4-1 (保全重要度：高)
1. 原子炉容器(1/2)

項目番号	カテゴリ	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)											備考			
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回		第14回	第15回	SA77s
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	100%	1ヶ所	水中UT (内面)	100%					100%			SA2	亀裂検出修正に伴う検査範囲 5%→100%→変更(第13回定検以降)
		下部胴とフランジジョイントとの周溶接継手	体積	100%	1ヶ所	水中UT (内面)	100%					100%			SA2	亀裂検出修正に伴う検査範囲 5%→100%→変更(第13回定検以降)
B3.105	B-C	フランジジョイントと下部胴との周溶接継手	体積	100%	1ヶ所	水中UT (内面)	100% (可能範囲)					100%			SA2	亀裂検出修正に伴う検査範囲 5%→100%→変更(第13回定検以降)
B3.106	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	100%	1ヶ所	UT	100%	15%	15%		15%	15%			SA2	
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)					100%			SA2	
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)					100%			SA2	
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)					100%			SA2	
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)					100%			SA2	
B5.10	B-F	冷却材入口管台と「フェント」との溶接継手	体積及び表面	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)						4箇所			UT及びPTについてはNI基合金使用部位に係る検査対象 (亀裂の解釈(※2)対応)
			PT													
		冷却材出口管台と「フェント」との溶接継手	体積及び表面	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)							4箇所		
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%	54個	VT-1	100% (54個)								SA2	
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	54本	UT	100% (54本)								SA2	
B6.40	B-G-1	フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	54箇所	UT	100% (可能範囲)								SA2	「ポイント」近傍は検査不可能。
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャー	VT-1	100%	54個	VT-1	100% (54個)								SA2	
B7.10	B-G-2	T/Cハウジングのマーママンカップリング	VT-1	25%	4箇所	VT-1	25% (1箇所)								SA2	

※1 第13回定検以降は維持規格(JSME S NAI-2012 (2013, 2014年追補含む))を適用
 ※2 平成26年8月以降は「実用発電用原子炉及びその附属施設における廃棄物引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈(平成26年8月6日 原規技発第1408063号)」を適用

クラス1機器供用期間中検査GN4-1 (保全重要度:高)
1. 原子炉容器(2/2)

項目番号	カテゴリー	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考			
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回	第12回		第13回	第14回	第15回
B14.10	B-O	制御棒駆動装置の溶接継手及びVT/Cの溶接継手	体積又は表面	最外周の25%	最外周の24箇所	PT	最外周の25% (6箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	—	
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%	8箇所	VT-3	25% (2箇所) (可能範囲)							SA2	
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	約3年毎に100%	1基	VT-3 (水中テレビ)	約3年毎に100% (可能範囲)	100%	100%		100%		100%	SA2	
G1.40	G-P-1	炉心領域外の炉心支持金物	VT-3	100%	6箇所	VT-3 (水中テレビ)	100% (可能範囲)					100%		SA2	・下部炉心構造物取外し時に実施。
G1.50	G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	100%	1基	VT-3 (水中テレビ)	100% (可能範囲)					100%		SA2	
		下部炉心支持構造物	VT-3	100%	1基	VT-3 (水中テレビ)	100% (可能範囲)					100%		SA2	・下部炉心構造物取外し時に実施。

加圧水型軽水炉の原子炉冷却材圧力バウンダリにおけるNi基合金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査頻度	玄海原子力発電所4号機検査計画					備考		
									第9回	第10回	第11回	第12回	第13回		第14回	第15回
—	—	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	100%	4箇所	水中UT (内面)	100%	10年間					4箇所			・#11 R/V INLAY工事実施により、#12以降は維持規格通りの検査頻度に変更。
			ベアメタル検査			A		C	B		D			SA2		
			ベアメタル検査			B		D								
—	—	冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	100%	4箇所	水中UT (内面)	100%	10年間					4箇所			・#11 R/V INLAY工事実施により、#12以降は維持規格通りの検査頻度に変更。
			ベアメタル検査			D		C	B		A			SA2		
			ベアメタル検査													
—	—	原子炉容器上蓋の表面	ベアメタル検査	定検毎に100% (可能範囲)	1箇所	ベアメタル検査	—	—								・母材及び溶接金属が特殊熱処理ニッケルクロム鉄合金690であるため、対象外
			ベアメタル検査													
—	—	原子炉容器底部の表面	ベアメタル検査	5年毎に100% (可能範囲)	1箇所	ベアメタル検査	—	—								・母材及び溶接金属が特殊熱処理ニッケルクロム鉄合金690であるため、対象外
			ベアメタル検査													

クラス1機器供用期間中検査GN4-1 (保全重要度：高)
2. 加圧器(2/2)

項目 番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S. NA1-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)							SA775	備考					
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回			第12回	第13回	第14回	第15回	
B5. 40	B-F	サージ用管台とセフエントとの溶接継手	体積及び表面	溶接継手(管台)数の25%	1箇所	UT・PT	管台数の25% (2箇所)	1箇所							SA2 ・UT及びNPTについてはNI基合金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※2)対応)		
		スプレイライソ管用管台とセフエントとの溶接継手			6箇所												
		安全弁用管台とセフエントとの溶接継手			3箇所												
		逃がし弁用管台とセフエントとの溶接継手			1箇所												
B7. 20	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	25%	16本	VT-1	25% (4本)	1本						2本	SA2 ・漏えい検査時実施		
B8. 20	B-H	スカート取付溶接継手	体積	7.5%	1/A	UT	7.5%							7.5%	SA2		
B15. 20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	—		
F1. 41	F-A	支持構造物 (スカート、基礎等を含む。)	VT-3	25%	24箇所	VT-3	25% (6箇所)							6箇所	SA2		

クラス1機器供用期間中検査 GN4-1 (保全重要度：高)
3. 蒸気発生器(L1)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S-N1-2008、2012 (※1)												玄海原子力発電所4号機検査計画 (10年間)					備考
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査頻度	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	SA77A	
B2.40	B-B	管板と水室鏡との間溶接継手	体積	代表1基の25%	16本/基×4基	UT	代表1基の25%	10年間	A:5%			A:5%	A:5%	A:5%	A:5%	SA2	
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内面丸みの部分	体積	代表1基の25%	2箇所/基×4基	UT	代表1基の25%	10年間				A人口1箇所			A人口1箇所	SA2	
B5.70	B-F	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	代表1基の25%	2箇所/基×4基	UT・PT	代表1基の25%	10年間				A人口1箇所				SA2	・UT及びPTについてはNII基金金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※2)対応) ・超音波探傷試験の代替試験必須箇所
B7.30	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	代表1基の25%	16本×2箇所/基×4基	VT-1	代表1基の25%	10年間		A人口2本		A人口2本		A人口2本	A人口2本	SA2	・漏えい検査時実施
B8.30	B-H	一体溶接された容器支持部	表面	代表1基の7.5%	4箇所×4基	PT	代表1基の7.5%	10年間							A:1箇所	SA2	
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100%	10年間	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	-	
B16.20	B-Q	伝熱管(ワコ690)	体積	100%	4基	ECT	-	10年間	-	-	-	-	-	-	-	SA2	・別感順書により実施。
F1.41	F-A	支持構造物(サポートプレート、基礎)	VT-3	代表1基の25%	4箇所/基×4基	VT-3	代表1基の25%	10年間						C:1箇所		SA2	

加圧水型軽水炉の原子炉冷却材圧力バウンダリにおけるN1基金金使用部位に係る検査計画

玄海原子力発電所4号機検査計画												備考					
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査頻度	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	SA77A	
-	-	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	代表1基の25%	2箇所/基×4基	UT(垂直及び縦波斜角)	代表1基の25%	10年間				A人口1箇所				SA2	・S/G出入口管台については、超音波探傷試験の代替試験必須箇所 ECTによりき裂が確認された後、LISPを施工した部位として、1検出限りのき裂を想定した上で応力検査用孔防止の有効性が検証された射撃を施した部位に該当すると認められた。(10回点検より)

構造上接近又は検査が困難であるとして試験が行われていない箇所の代替試験計画

玄海原子力発電所4号機検査計画												備考					
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査頻度	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	SA77A	
-	-	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積	UT実施箇所100%	2箇所/基×4基	ECT	UT実施箇所100%	10年間				A人口1箇所				SA2	・超音波探傷試験の代替措置計画に基づき検査対象箇所(亀裂の解釈(※2)対応)

クラス1機器供用期間中検査GN4-1 (保全重要度：高)
4. 配置 (1/5)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA-2008, 2012 (※1)										SM7ス	備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回	第12回			第13回	第14回	第15回	
B7.50	B-G-2	封水注入ライン	VT-1	25%	4箇所	VT-1	25% (1箇所)				1箇所				SA2		
		一次冷却材管	体積	25%	48箇所	UT	25% (12箇所)	2箇所	2箇所		1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	SA2		
		加圧器サージライン	体積	25%	6箇所	UT	25% (2箇所)		1箇所			1箇所			SA2		
		加圧器安全弁ライン	体積	25%	24箇所	UT	25% (6箇所)	1箇所	1箇所		1箇所	1箇所	1箇所		SA2		
		加圧器迷がしライン	体積	25%	5箇所	UT	25% (2箇所)	1箇所			1箇所				SA2		
		加圧器スプレイレイン	体積	25%	55箇所	UT	25% (14箇所)	2箇所	2箇所		2箇所	3箇所	2箇所		—		
		加圧器補助スプレイレイン	体積	25%	1箇所	UT	25% (1箇所)				1箇所				—		
		余熱除去ポンプ入口ライン(1)	体積	25%	49箇所	UT	25% (13箇所)	1箇所			1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	SA2	・RCPB範囲拡大に伴う名称の変更 ・第11回配管工事に伴う変更	
		余熱除去ポンプ入口ライン(2)	体積	25%	14箇所	UT	25% (4箇所)	—			14箇所		1箇所	1箇所	SA2	・RCPB範囲拡大に伴う追加 ・12回以降は維持規格を適用	
		B9.11	B-J	蓄圧注入ライン	体積	25%	66箇所	UT	25% (17箇所)	2箇所	3箇所		2箇所	2箇所	3箇所	2箇所	SA2
高温側低圧注入ライン	体積			25%	33箇所	UT	25% (9箇所)	1箇所	1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	SA2	・第11回配管工事に伴う変更	
低温側低圧注入ライン	体積			25%	18箇所	UT	25% (5箇所)	1箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2		
加圧器迷がしライン	表面			25%	12箇所	PT	25% (3箇所)		1箇所		1箇所	1箇所	1箇所		SA2		
加圧器補助スプレイレイン	表面			25%	30箇所	PT	25% (8箇所)	1箇所	1箇所		1箇所	1箇所	1箇所		—		
クォータバブルトラップ、抽出ライン、 余剰抽出ライン	表面			25%	34箇所	PT	25% (9箇所)	1箇所	1箇所		1箇所	2箇所	2箇所	1箇所	SA2		
充てんライン	表面			25%	12箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所					1箇所		SA2		
封水注入ライン	表面			25%	5箇所	PT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所					1箇所	SA2		
余熱除去ポンプ入口ライン(2)	表面			25%	3箇所	PT	25% (1箇所)	—			3箇所				SA2	・RCPB範囲拡大に伴う追加 ・12回以降は維持規格を適用	

クラス1機器供用期間中検査GN4-1 (保全重要度：高)
4. 配置(2/5)

項目番号	カテゴリー	釜電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA-2008, 2012 (※1)										SM7ス	備考			
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回	第12回			第13回	第14回	第15回
B9.21	B-J	高温側高圧補助注入ライン	表面	25%	23箇所	PT	25% (6箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
		低温側高圧補助注入ライン	表面	25%	9箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所		1箇所			SA2	
B9.31	B-J	一次冷却材管	体積	25%	9箇所	UT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所		1箇所				SA2	
		一次冷却材管	表面	25%	32箇所	PT	25% (8箇所)	2箇所	2箇所		1箇所	2箇所	1箇所	1箇所	SA2	
B9.32	B-J	余熱除去ポンプ入口ライン(2)	表面	25%	2箇所	PT	100%* (2箇所)	—	—	2箇所				2箇所	SA2	• RCP6範囲拡大に伴う追加 (*管台については全数実施する)
		蓄圧注入ライン	表面	25%	4箇所	PT	25% (1箇所)					1箇所			SA2	
		高温側低圧注入ライン	表面	25%	2箇所	PT	25% (1箇所)		1箇所						SA2	
		一次冷却材管	表面	25%	24箇所	PT	25% (6箇所)		1箇所	1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
B9.40	B-J	加圧器補助スプレイレイン	表面	25%	7箇所	PT	25% (2箇所)	1箇所				1箇所			—	
		クローズド・システム・レフラク、抽出7分、 余剰抽出7分	表面	25%	6箇所	PT	25% (2箇所)	1箇所						1箇所	SA2	
		封水注入ライン	表面	25%	50箇所	PT	25% (13箇所)	2箇所	2箇所			2箇所	2箇所	2箇所	SA2	
		高温側高圧補助注入ライン	表面	25%	28箇所	PT	25% (7箇所)	1箇所	1箇所			1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
B15.50	B-P	低温側高圧補助注入ライン	表面	25%	4箇所	PT	25% (1箇所)								SA2	
		圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時 100%	1式	VT-2	漏えい検査時 100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	—	

クラス1機器供用期間中検査 GN 4-1 (保全重要度：高)
4. 配管(4/5)

項目 番号	発電用原子力設備規格「JSM S NA1-2008」, 2012 (※1)			立海原子力発電所 4号機検査計画(10年間)										備考		
	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回		SA775	
F1.10 F-A	充てんライン	VT-3	25%	4箇所	RH	2箇所	25% (1箇所)	1箇所							SA2 ・第11回配管工事に伴う変更	
				MS	2箇所								1箇所			
				AN	0箇所											
F1.10 F-A	封水注入ライン	VT-3	25%	18箇所	RH	13箇所	25% (5箇所)	1箇所	1箇所						SA2	
				MS	5箇所								1箇所			
				AN	0箇所											
F1.10 F-A	余熱除去ポンプ入口ライン(1)	VT-3	25%	18箇所	RH	6箇所	25% (5箇所)								SA2 ・RCPB範囲拡大に伴う名称の変更 ・第11回配管工事に伴う変更	
				MS	10箇所								1箇所			
				SH	2箇所											
F1.10 F-A	余熱除去ポンプ入口ライン(2)	VT-3	25%	10箇所	RH	8箇所	25% (3箇所)								SA2 ・RCPB範囲拡大に伴う追加 ・12回以降は維持規格を適用	
				HS	0箇所											
				MS	2箇所											
F1.10 F-A	蓄圧注入ライン	VT-3	25%	28箇所	RH	17箇所	25% (7箇所)	1箇所	2箇所						SA2	
				MS	8箇所									1箇所		
				HS	3箇所											
F1.10 F-A	高温側低圧注入ライン	VT-3	25%	18箇所	RH	10箇所	25% (5箇所)	1箇所							SA2 ・第11回配管工事に伴う変更	
				MS	4箇所											
				SH	2箇所											

クラス1機器供用期間中検査 GN 4-1 (保全重要度：高)
 4. 配置(5/5)

項目番号	発電用原子力設備規格「SME S NA1-2008, 2012 (※1)」		立海原子力発電所-4号機検査計画(10年間)										SA77s	備考
	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回		
FL10 F-A	低温側低圧注入ライン	VT-3	25%	14箇所	RH	7箇所	25% (4箇所)	1箇所			1箇所			
				MS	7箇所									
				30箇所	RH	30箇所		1箇所						
	高温側高圧補助注入ライン	VT-3	25%	0箇所	AN	0箇所	25% (8箇所)				1箇所	2箇所	1箇所	
				6箇所	RH	6箇所								
	低温側高圧補助注入ライン	VT-3	25%	0箇所	AN	0箇所	25% (2箇所)	1箇所						

クラス1機器供用期間中検査GN4-1 (保全重要度：高)
6. 弁(1/3)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※1)										備考								
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査数	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回		第12回	第13回	第14回	第15回	SM775			
B6.210	B-6-1	圧力保持用ボルト締付部(ボルト)																		
		余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420, 430)	体積	代表1台の25%	2台	2台	UT	代表1台の100%							1台(430)		SA2	・RCP8運転拡大に伴う名称の変更		
B6.220	B-6-1	余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4V-RH-002A, B)	体積	代表1台の25%	2台	2台	UT	代表1台の100%				2台(002A, B)			1台(002A)		SA2	・RCP8運転拡大に伴う追加 ・12回以降は維持規格を適用		
		圧力保持用ボルト締付部(フランジ表面)																		
B6.230	B-6-1	余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420, 430)	VT-1	代表1台の25%	2台	2台	VT-1	代表1台の100%							1台(430)		SA2	・分解点検時に実施 ・RCP8運転拡大に伴う名称の変更		
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4V-RH-002A, B)	VT-1	代表1台の25%	2台	2台	VT-1	代表1台の100%				2台(002A, B)			1台(002A)		SA2	・分解点検時に実施 ・RCP8運転拡大に伴う追加 ・12回以降は維持規格を適用		
B7.70	B-6-2	圧力保持用ボルト締付部(ナット、ワッシャー)																		
		加圧器安全弁ライン (4V-RC-055, 056, 057)	VT-1	代表1台の25%	3台	3台	VT-1	代表1台の100%							1台(057)		SA2	・漏えい検査時に実施		
		加圧器速がしライン (4V-RC-054A, 054B)	VT-1	代表1台の25%	2台	2台	VT-1	代表1台の100%							1台(054A)		SA2	・漏えい検査時に実施		
		加圧器速がしライン (4PCV-452A, 452B)	VT-1	代表1台の25%	2台	2台	VT-1	代表1台の100%									SA2	・分解点検時に実施		
		加圧器スプレイレイン (4PCV-451A, 451B)	VT-1	代表1台の25%	2台	2台	VT-1	代表1台の100%												
		加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-1	代表1台の25%	1台	1台	VT-1	代表1台の100%												
		加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-1	代表1台の25%	1台	1台	VT-1	代表1台の100%												
		加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-1	代表1台の25%	1台	1台	VT-1	代表1台の100%												
		加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-1	代表1台の25%	1台	1台	VT-1	代表1台の100%												
		加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-1	代表1台の25%	1台	1台	VT-1	代表1台の100%												
B7.70	B-6-2	加圧器補助スプレイレイン (4V-RC-019A~D)	VT-1	代表1台の25%	4台	4台	VT-1	代表1台の100%							1台(019A)		SA2	・分解点検時に実施		
		加圧器補助スプレイレイン (4V-RC-019A~D)	VT-1	代表1台の25%	2台	2台	VT-1	代表1台の100%							1台(451B)		SA2	・漏えい検査時に実施		
B7.70	B-6-2	加圧器補助スプレイレイン (4V-RC-017)	VT-1	代表1台の25%	1台	1台	VT-1	代表1台の100%									SA2	・漏えい検査時に実施		
		充てんライン (4V-CS-233, 235)	VT-1	代表1台の25%	2台	2台	VT-1	代表1台の100%							1台(235)		SA2	・漏えい検査時に実施		

クラス1機器供用期間中検査 GN4-1 (保全重要度：高)
6. 弁(3/3)

項目番号	キャリア	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		亙海原原子力発電所4号機検査計画(10年間)										SN775	備考		
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回			第15回	
FI.41	F-A	加圧器安全弁ライン (4V-RC-055, 056, 057)	VT-3	代表1台の25% 3箇所	AN	1箇所 ×3台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)					1箇所 (055)		SA2		
		加圧器速がしライン (4V-RC-054A, B)	VT-3	代表1台の25% 4箇所	MS	2箇所 ×2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)	1箇所 (054A)						SA2		
		加圧器速がしライン (4PCV-452A, B)	VT-3	代表1台の25% 4箇所	MS	2箇所 ×2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)			1箇所 (452A)				SA2		
		加圧器スプレイレイン (4PCV-451A, B)	VT-3	代表1台の25% 4箇所	MS	2箇所 ×2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)		1箇所 (451A)					-		
		加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-3	代表1台の25% 1箇所	RH	1箇所 ×1台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)					1箇所 (451)	1箇所		-	
		クロスベレトワライク, 抽出ワライ, 余剰抽出ワライ (4LCV-451, 452)	VT-3	代表1台の25% 4箇所	RH	1箇所 ×2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)			1箇所 (451)					SA2	
		余熱除去ポンプ入口ワライ(1) (4PCV-420, 430)	VT-3	代表1台の25% 4箇所	MS	2箇所 ×2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)								SA2	・第11回配管工事に伴う変更
		余熱除去ポンプ入口ワライ(2) (4V-RH-002A, B)	VT-3	代表1台の25% 4箇所	HS	1箇所 ×2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)				2箇所 (002A, B)				SA2	・RCPB補修拡大に伴う追加 ・12回以降は維持規格を適用
							MS	1箇所 ×2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)			2箇所 (002A, B)			SA2	

クラス2機器供用期間中検査 GN 4-5 (保全重要度：高)
 1. 余熱除去冷却器 (1/1)

余熱除去冷却器 (管側)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	女海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考
							第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	SA77s				
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1基/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%									SA2	
C1.30	C-A	管側胴と管側管板との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1基/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%		B:7.5%							SA2	
C2.21	C-B	管側出入口管台と管側胴との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	2箇所×2基	UT・PT	代表1基の管台数の7.5% (1箇所)						B入口1箇所			SA2	

クラス2機器供用期間中検査GN4-5 (保全重要度：高)
2. 配管(1/4)

項目番号	養電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考	
	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		第18回
C3.20	C-C	余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所						
		余熱除去冷却器出口ライン	表面	7.5%	5箇所	PT	7.5% (1箇所)		1箇所					
		高温側低圧注入ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所						
		低温側低圧注入ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)		1箇所					
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	6箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所				
		格納容器再循環サブ出口ライン	表面	7.5%	12箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所		
		余熱除去ポンプ入口ライン	体積及び表面	7.5%	17箇所	UT・PT	7.5% (2箇所)			1箇所				
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%	50箇所	PT	7.5% (4箇所)	1箇所	1箇所					
		余熱除去ポンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所						
		余熱除去冷却器出口ライン	体積及び表面	7.5%	67箇所	UT・PT	7.5% (6箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
C5.11	C-F	高温側低圧注入ライン	体積及び表面	7.5%	12箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)				1箇所			
		低温側低圧注入ライン	体積及び表面	7.5%	44箇所	UT・PT	7.5% (4箇所)	1箇所		1箇所	1箇所		1箇所	
		高圧注入ポンプ出口ライン	体積及び表面	7.5%	49箇所	UT・PT	7.5% (4箇所)	1箇所	1箇所		1箇所	1箇所		
		燃料取替用水ピット出口ライン	表面	7.5%	7箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所				
		格納容器再循環サブ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所				
		格納容器再循環サブ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)							
		格納容器再循環サブ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)							
		格納容器再循環サブ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)							

・“検証不可”のため検査は実施不可となるが個別評価フローに基づき問題ないことを確認している。

クラス2機器供用期間中検査GN4-5 (保全重要度：高)
2. 配管(2/4)

項目番号	カテゴリー	養電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8		玄海原子力発電所 4号機検査計画 (10年間)										備考		
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		第18回	SA77s
C5.12	C-F	余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%	7箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所							SA2	
		高温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	72箇所	PT	7.5% (6箇所)	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		1箇所	SA2	
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	6箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所					SA2	
C5.21	C-F	低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	77箇所	PT	7.5% (6箇所)	2箇所		1箇所	1箇所		1箇所		SA2	
		高圧補助注入ライン連絡管	表面	7.5%	9箇所	PT	7.5% (1箇所)						1箇所		SA2	
		高圧補助注入ライン	表面	7.5%	12箇所	PT	7.5% (1箇所)				1箇所				SA2	
		封水注入ライン	表面	7.5%	17箇所	PT	7.5% (2箇所)		1箇所			1箇所			SA2	
C5.30	C-F	高温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	26箇所	PT	7.5% (2箇所)	1箇所		1箇所					SA2	
		低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	28箇所	PT	7.5% (3箇所)	1箇所			1箇所		1箇所		SA2	
		封水注入ライン	表面	7.5%	22箇所	PT	7.5% (2箇所)	1箇所							SA2	
C5.41	C-F	格納容器再循環サンブ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)						1箇所		SA2	
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所					SA2	

クラス2 機器供用期間中検査 GN4-5 (保全重要度:高)
 3. ボンプ(1/1)

充てんボンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME SNA1-2008		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										SA775	備考		
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回		
C3.30	ボンプ支持脚部材取付け溶接継手	表面	7.5%	16箇所 ×3台	PT	7.5% (4箇所)	A:1箇所		A:1箇所		B:1箇所		B:1箇所	SA2	
C4.30	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%	16本 ×3台	UT	代表1台の7.5% (2本)	B:2本							SA2	
C6.10	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	1箇所 ×3台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)				B:1箇所				SA2	
F1.43	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所 ×3台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)			B:1箇所					SA2	

余熱除去ボンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME SNA1-2008		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										SA775	備考		
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回		
C6.10	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	2箇所 ×2台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)	A:1箇所							SA2	
F1.43	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所 ×2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)				B:1箇所				SA2	

クラス2機器供用期間中検査 GN4-5 (保全重要度:高)
4. 弁(1/1)

項目 番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A 1-2 0 0 8		玄海原子力発電所 4号機検査計画(10年間)										備考		
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		第18回	SAマックス
FI.43	F-A	余熱除去冷却器出入口ライン (4HCY-603, 613)	VT-3	代表1台の 7.5%	4箇所 HS	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)	1箇所 (603)							SA2	
			VT-3	代表1台の 7.5%	4箇所 HS	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)						1箇所 (604)		SA2	
		高温側高圧補助注入ライン (4V-SI-067A, B)	VT-3	代表1台の 7.5%	3箇所 RH	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)			1箇所 (067A)						SA2
			VT-3	代表1台の 7.5%	1箇所 HS	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)							1箇所 (066A)		SA2
		高圧補助注入ライン連絡管 (4V-SI-066A, B)	VT-3	代表1台の 7.5%	2箇所 RH 1箇所 HS	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)								SA2	
		封水注入ライン (4V-SI-026A, 026B)	VT-3	代表1台の 7.5%	4箇所 RH	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)							1箇所 (026A)	SA2	

クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査 GN4-9-9（保全重要度：高）
 クラス2管特別検査(U/I)

項目 番号	カテゴリ	NISA文書 NISA-325c-09-1, NISA-163c-09-2		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										SA77s	備考			
		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回					
			配管の円周方向溶接部															
			抽出ライン	体積	25%	12箇所	UT	25% (3箇所)	2箇所						1箇所			
			充てんライン	体積	25%	22箇所	UT	25% (6箇所)	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	1箇所		・第11回配管工事に伴う変更
			再生熱交換器連絡管															
			抽出ライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	25% (3箇所)	1箇所							1箇所		
			充てんライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	25% (3箇所)							1箇所			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
 1. 原子炉容器 (1/2)

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
		上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	100%	
B2.111	B-B	下部胴とトランジションとの周溶接継手	体積	100%	
		トランジションと下部胴との周溶接継手	体積	100%	
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	100%	
B3.106	B-C	上部鏡板と上部蓋フランジとの溶接継手	体積	100%	
		冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	100%	
B3.10	B-D	冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%	
		冷却材入口管台内面の丸み部分	体積	100%	
B3.20	B-D	冷却材出口管台内面の丸み部分	体積	100%	
		冷却材入口管台とセフエドとの溶接継手	体積及び表面	100%	
B5.10	B-F	冷却材出口管台とセフエドとの溶接継手	体積及び表面	100%	
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%	
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	
B6.40	B-G-1	フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	100%	
B7.10	B-G-2	T/Cハウジングのマーマーンカップリング	VT-1	25%	

クラス1機器供用期間中検査で管理

※1 第13回定検以降は維持規格JSME S NAI-2012 (2013, 2014年追加含む) を適用

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
 1. 原子炉容器(2/2)

項目番号	発電用原子炉設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※1)	検査の対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	備 考
B1.10	B-0	制御駆動装置の溶接継手及びVT/Cの溶接継手	視 察 又は表面	最外周の25%	
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%	
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	約3年毎に100%	クラス1機器供用期間中検査で管理
G1.40	G-P-1	炉心領域外の炉心支持金物	VT-3	100%	
G1.40	G-P-1	上部炉心支持構造物	VT-3	100%	
G1.50	G-P-2	下部炉心支持構造物	VT-3	100%	

加圧水型軽水炉の原子炉冷却材圧力バウンダリにおけるNi 基合金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリー	検査の対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	備 考
-	-	冷却材入口管台とセーフエントとの溶接継手	視 察 及び表面 ベアメタル 検査	100%	玄海原子力発電所4号機検査計画
-	-	冷却材出口管台とセーフエントとの溶接継手	視 察 及び表面 ベアメタル 検査	100%	クラス1機器供用期間中検査で管理
-	-	原子炉容器上蓋の表面	ベアメタル 検査	定検毎に100% (可能範囲)	
-	-	原子炉容器底部の表面	ベアメタル 検査	5年毎に100% (可能範囲)	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
 2. 加圧器 (1/2)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1) 玄海原子力発電所 4号機 検査計画 (10年間)					
B2.11	B-B	上部胴と上部鏡との周溶接継手 下部胴と下部鏡との周溶接継手	体積	5%	クラス1機器供用期間中検査で管理
		上部胴の長手溶接継手	体積	10%	
B2.12	B-B	中間胴の長手溶接継手	体積	10%	
		下部胴の長手溶接継手	体積	10%	
B2.13	B-B	上部胴と中間胴との周溶接継手	体積	5%	
		中間胴と下部胴との周溶接継手	体積	5%	
B3.30	B-D	サージ用管台と容器との溶接継手 スプレインライイン用管台と容器との溶接継手 安全弁用管台と容器との溶接継手 逃がし弁用管台と容器との溶接継手	体積	管台数の25%	
B3.40	B-D	サージ用管台内面の丸みの部分 スプレインライイン用管台内面の丸みの部分 安全弁用管台内面の丸みの部分 逃がし弁用管台内面の丸みの部分	体積	管台数の25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
 2. 加圧器 (2/2)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
B5.40	B-F	サージ用管台とセメントとの溶接継手	体積及び表面	溶接継手(管台)数の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
		スプレイライイン用管台とセメントとの溶接継手			
		安全弁用管台とセメントとの溶接継手			
		逃がし弁用管台とセメントとの溶接継手			
B7.20	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	25%	
B8.20	B-H	スカート取付溶接継手	体積	7.5%	
F1.41	F-A	支持構造物 (スカート、基礎等を含む。)	VT-3	25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
 3. 蒸気発生器 (1/1)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		検査範囲	備考
	カテゴリ	検査の対象箇所		
B2.40	B-B	管板と水室籠との周溶接継手	体積 代表1基の25%	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間) クラス1機器供用期間中検査で管理
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内丸み部分	体積 代表1基の25%	
B5.70	B-F	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面 代表1基の溶接継手数の25%	
B7.30	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1 代表1基の25%	
B8.30	B-H	一体溶接された容器支持部	表面 代表1基の7.5%	
B16.20	B-Q	伝熱管(レコパ6890)	体積 100%	
F1.41	F-A	支持構造物 (支持脚ボルト、基礎、ボルト含む)	VT-3 代表1基の25%	

加圧水型軽水炉の原子炉冷却材圧力パウンダリにおけるNi基金金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
-	-	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面 代表1基の溶接継手数の25%(1箇所) 代表1基の溶接継手数の25%(1箇所)	代表1基の溶接継手数の25%(1箇所)	玄海原子力発電所4号機検査計画 クラス1機器供用期間中検査で管理

構造上接近又は検査が困難であるとして試験が行われていない箇所の代替試験計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
-	-	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積	UT実施箇所100%	玄海原子力発電所4号機検査計画 クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度:高)
 4. クラス1配管 (1/3)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所 4号機 検査計画 (10年間)		備考	
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B7.50	B-G-2	封水注入ライン	VT-1	25%	
		一次冷却材管	体積	25%	
		加圧器サージライン	体積	25%	
		加圧器安全弁ライン	体積	25%	
		加圧器遮がしライン	体積	25%	
	B9.11	B-J	余熱除去ポンプ入口ライン(1)	体積	25%
			余熱除去ポンプ入口ライン(2)	体積	25%
			蓄圧注入ライン	体積	25%
			高温側低圧注入ライン	体積	25%
	B9.21	B-J	低温側低圧注入ライン	体積	25%
		加圧器遮がしライン	表面	25%	
		クロスバレットライン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン	表面	25%	
		充てんライン	表面	25%	
		封水注入ライン	表面	25%	
		余熱除去ポンプ入口ライン(2)	表面	25%	

クラス1 機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度:高)
 4. クラス1配管(2/3)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		検査方法	検査範囲	備考
		検査の対象箇所	検査面			
B9. 21	B-J	高温側高圧補助注入ライン	表面	25%	玄海原子力発電所 4号機検査計画(10年間) クラス1機器供用期間中検査で管理	
		低温側高圧補助注入ライン	表面	25%		
B9. 31	B-J	一次冷却材管	体積	25%		
		一次冷却材管	表面	25%		
B9. 32	B-J	余熱除去ポンプ入口ライン(2)	表面	25%		
		蓄圧注入ライン	表面	25%		
		高温側低圧注入ライン	表面	25%		
		一次冷却材管	表面	25%		
B9. 40	B-J	クロスベリタドレイン, 抽出ライク, 余剰抽出ライク	表面	25%		
		封水注入ライク	表面	25%		
		高温側高圧補助注入ライン	表面	25%		
		低温側高圧補助注入ライン	表面	25%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN 4-201 (保全重要度：高)
 4. クラス1配管(3/3)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S MA1-2008, 2012 (※1)		検査方法	検査範囲	備考
	検査の対象箇所	検査方法			
F1.10 F-A	加圧器サージライン	VT-3	25%	玄海原子力発電所 4号機検査計画(10年間) クラス1機器供用期間中検査で管理	
	加圧器逃がしライン	VT-3	25%		
	クロスベクトレイトレライク、抽出7分、 余剰抽出7分	VT-3	25%		
	充てんライン	VT-3	25%		
	封水注入ライン	VT-3	25%		
	余熱除去ポンプ入口ロライン(1)	VT-3	25%		
	余熱除去ポンプ入口ロライン(2)	VT-3	25%		
	蓄圧注入ライン	VT-3	25%		
	高温側低圧注入ライン	VT-3	25%		
	低温側低圧注入ライン	VT-3	25%		
	高温側高圧補助注入ライン	VT-3	25%		
	低温側高圧補助注入ライン	VT-3	25%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
 5.1 次冷却材ポンプ(1/1)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		検査範囲	備考
	カテゴリ	検査の対象箇所		
B6.180	B-G-1	ケーシングボルト	体 積	北海道電力発電所4号機検査計画(10年間) クラス1機器供用期間中検査で管理
B6.190	B-G-1	フランジ表面	VT-1	
B6.200	B-G-1	ケーシングボルト用ナット及びワッシャー	VT-1	
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	
F1.41	F-A	支持構造物 〔 支持脚、スラブ、基礎、ボルト含む。〕	VT-3	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN4-201(保全重要度:高)
6. クラス1 第17/3

項目番号	発電用原子力設備規路	継持規路 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
			圧力保持用ボルト締付け部(ボルト)			
B6. 210	B-G-1		余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420, 430)	体積	代表1台の25%	
			余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4W-RH-002A, B)	体積	代表1台の25%	
B6. 220	B-G-1		圧力保持用ボルト締付け部(フランジ表面)			
			余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420, 430)	VT-1	代表1台の25%	
			余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4W-RH-002A, B)	VT-1	代表1台の25%	
B6. 230	B-G-1		圧力保持用ボルト締付け部(ナット, フランジヤ)			
			余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420, 430)	VT-1	代表1台の25%	
			余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4W-RH-002A, B)	VT-1	代表1台の25%	
			圧力保持用ボルト締付け部(ボルト, 種込みボルト, ナット)			
			加圧器安全弁ライン	VT-1	代表1台の25%	
			加圧器遮断ライン	VT-1	代表1台の25%	
			加圧器逃がしライン	VT-1	代表1台の25%	
			加圧器逃がしライン (4PCV-452A, 452B)	VT-1	代表1台の25%	
B7. 70	B-G-2		加圧器レグドレフライン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン (4W-RC-019A~D)	VT-1	代表1台の25%	
			加圧器レグドレフライン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン (4LCV-451, 452)	VT-1	代表1台の25%	
			加圧器レグドレフライン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン (4W-RC-017)	VT-1	代表1台の25%	
			充てんライン (4W-CS-233, 235)	VT-1	代表1台の25%	

クラス1 機器使用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN4-201(保全重要度:高)
6.クラス1系(2/3)

項目番号	発能用原子力設備規程 維持規程 JSME S NA1-2008, 2012 (*1)	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)	備考	
B7.70	B-G-2	蓄圧注入ライン (W-SI-134A~D,136A~D) 高温側低圧注入ライン (W-RH-051A,B,4V-SI-082B,C) 低温側低圧注入ライン (W-RH-050A~D) 弁本体の内表面	VT-1 VT-1 VT-1	代表1台の25% 代表1台の25% 代表1台の25%			クラス1機器供用期間中検査で管理
B12.50	B-M-2	加圧器安全弁ライン (4V-RC-055,056,057)	VT-3	代表1台			
		余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420,430)	VT-3	代表1台			
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4V-RH-002A,B)	VT-3	代表1台			
		蓄圧注入ライン (W-SI-134A~D,136A~D)	VT-3	代表1台			
		高温側低圧注入ライン (W-RH-051A,B,4V-SI-082B,C)	VT-3	代表1台			
		低温側低圧注入ライン (4V-RH-050A~D)	VT-3	代表1台			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
6. クラス1 弁 (3/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	北海原子力発電所 4号機 検査計画 (10年間)	備考
F1.41	F-A	加圧器安全弁ライン (4V-RC-055, 056, 057)	VT-3	代表1台の 25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		加圧器逃がしライン (4V-RC-054A, B)	VT-3	代表1台の 25%		
		加圧器逃がしライン (4PCV-452A, B)	VT-3	代表1台の 25%		
		カラスパレグドレンライク, 抽出ライク, 余剰抽出ライク (4LCV-451, 452)	VT-3	代表1台の 25%		
		余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420, 430)	VT-3	代表1台の 25%		
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4V-RH-002A, B)	VT-3	代表1台の 25%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
7. 容器(I/1)

余熱除去冷却器 (管側)

項目番号	発電用原子力設備規格 J-SME S-NAI-2008		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考	
	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回
C1.20	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2ヶ所/基×1基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%			7.5%					
C1.30	管側胴と管側管板との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2ヶ所/基×1基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%						7.5%		
C2.21	管側出入口管台と管側胴との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	2箇所×1基	UT・PT	代表1基の管台数の7.5%(1箇所)						1箇所		

クラス2機器供用期間中検査で管理

原子炉補機冷却水冷却器 (胴側)

項目番号	発電用原子力設備規格 J-SME S-NAI-2008		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考	
	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回
C1.10	胴側胴と胴側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2ヶ所/基×1基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%				7.5%				
C1.10	胴側胴の周継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2ヶ所/基×1基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%						7.5%		
C2.21	胴側出入口管台と胴側胴との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	2箇所×1基	UT・PT	代表1基の管台数の7.5%(1箇所)						1箇所		
C2.22	胴側出入口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基の管台数の7.5%	2箇所×1基	UT	代表1基の管台数の7.5%(1箇所)								
C3.10	胴と当板との溶接継手	表面	代表1基の溶接継手数の7.5%	3箇所×1基	PT	代表1基の溶接継手数の7.5%(1箇所)							1箇所	
F1.43	支持脚	VT-3	代表1基の7.5%	3箇所×1基	VT-3	代表1基の7.5%(1箇所)						1箇所		

格納容器スプレイ冷却器 (管側)

項目番号	発電用原子力設備規格 J-SME S-NAI-2008		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考	
	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回
C1.10	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ヶ所/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%								
C1.20	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ヶ所/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%			A:7.5%					
C4.10	カラーボルト	体積	代表1基の7.5%	36本×2基	UT	代表1基の7.5%(3本)			A:1本			A:1本		
C4.10	全ネジボルト	体積	代表1基の7.5%	12本×2基	UT	代表1基の7.5%(1本)			A:1本					

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
8. 配管(1/6)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A I - 2 0 0 8		玄海原子力発電所 4号機 検査計画 (10年間)							備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回		第14回	第15回	第16回	第17回
C3.20	C-C	原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	表面	7.5%	1箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所			
		原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)						1箇所		
		原子炉補機冷却器入口ライン	表面	7.5%	1箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所	
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%											
		余熱除去冷却器出口ライン	表面	7.5%											
		高温側低圧注入ライン	表面	7.5%											
C5.11	C-F	低温側低圧注入ライン	表面	7.5%											
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%											
		格納容器再循環サンプ出口ライン	表面	7.5%											
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	
		A, B原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	表面	7.5%	8箇所	PT	7.5% (1箇所)		1箇所						
		A, B原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	表面	7.5%	3箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所					
A原子炉補機冷却水冷却器入口ライン	表面	7.5%	9箇所	PT	7.5% (1箇所)						1箇所				
主蒸気逃がしライン	表面	7.5%	8箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所			

クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN4-201 (保全重要度：高)
8. 配管(3/6)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A I - 2 0 0 8 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)		備考
				カテゴリー		
C5.21	C-F	高温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%		
		低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%		
		高圧補助注入ライン連絡管	表面	7.5%		
		高圧補助注入ライン	表面	7.5%		
		封水注入ライン	表面	7.5%		
		高温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%		
C5.30	C-F	低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%		
		封水注入ライン	表面	7.5%		
		格納容器再循環サブ出口ライン	表面	7.5%		
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
8. 配管(4/6)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S.NA1-2008				玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回						
F1.21	F-A	格納容器再循環ユニット 入ロライン	VT-3	7.5%	55箇所	RH	54箇所	VT-3	7.5% (5箇所)	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所					
					1箇所	AN	1箇所													
					74箇所	RH	71箇所			VT-3	7.5% (6箇所)	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		
					3箇所	AN	3箇所													
					59箇所	RH	48箇所					VT-3	7.5% (5箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
					4箇所	MS	4箇所													
		7箇所	AN	7箇所																
		15箇所	RH	11箇所	VT-3	7.5% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所					1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
		4箇所	AN	4箇所																
		9箇所	RH	7箇所			VT-3	7.5% (1箇所)							1箇所					
		2箇所	AN	2箇所																
		4箇所	RH	4箇所					VT-3	7.5% (1箇所)						1箇所				
16箇所	HS	1箇所																		
2箇所	SH	2箇所																		
格納容器スプレイポンプ 入ロライン	VT-3	7.5%																		
原子炉補機冷却水ポンプ 入ロライン	VT-3	7.5%	4箇所	RH	4箇所								1箇所							
原子炉補機冷却水ポンプ 入ロライン	VT-3	7.5%	16箇所	RH	13箇所								1箇所							

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
 8. 配管(6/6)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008 カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)		備考
F1.21	F-A	余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理		
		余熱除去ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%			
		余熱除去冷却器出入口ライン	VT-3	7.5%			
		余熱除去冷却器出口ライン	VT-3	7.5%			
		高温側高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%			
		低温側低圧注入ライン	VT-3	7.5%			
		高圧注入ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%			
		低温側高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%			
		高圧補助注入ライン連絡管	VT-3	7.5%			
		高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%			
		格納容器再循環サンプ出口ライン	VT-3	7.5%			
燃料取替用水ビット出口ライン	VT-3	7.5%					
封水注入ライン	VT-3	7.5%					

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
9. ボンプ(1/1)

充てんボンプ

充てんボンプ		発電用原子力設備規格 維持規格 JSME SNA1-2008		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)							備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査回数	検査方法	検査範囲	検査回数	検査方法	検査範囲		
C3.30	C-C	ボンプ支持脚部材取付け溶接継手	表面	7.5%								
C4.30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%								
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%								
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%								

クラス2機器供用期間中検査で管理

余熱除去ボンプ

余熱除去ボンプ		発電用原子力設備規格 維持規格 JSME SNA1-2008		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)							備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査回数	検査方法	検査範囲	検査回数	検査方法	検査範囲		
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%								
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%								

クラス2機器供用期間中検査で管理

原子炉補機冷却水ボンプ

原子炉補機冷却水ボンプ		発電用原子力設備規格 維持規格 JSME SNA1-2008		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)							備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査回数	検査方法	検査範囲		
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	4箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)					

格納容器スプレイボンプ

格納容器スプレイボンプ		発電用原子力設備規格 維持規格 JSME SNA1-2008		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)							備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査回数	検査方法	検査範囲		
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)					

常設電動注入ボンプ

常設電動注入ボンプ		発電用原子力設備規格 維持規格 JSME SNA1-2008		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)							備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査回数	検査方法	検査範囲		
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×1台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)				1箇所	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
10. 弁(1/1)

項目番号	カテゴリー	検査の対 象 箇 所		検査方法		検査範囲		玄海原子力設備規格 維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8										備 考		
		検査の対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回								
F1.43	F-A	A, B格納容器再循環ユニット 出口ライン (4TCV-2430, 2431)	VT-3	7.5%	4 箇 所	RH 4箇所	VT-3	7.5% (1箇所)	1箇所 (2430)											
			VT-3	7.5%	8 箇 所	RH 4箇所 MS 4箇所	VT-3	7.5% (1箇所)												
		余熱除去冷却器出入口ライン (4HCV-603, 613)	VT-3	代表1台の 7.5%																
		余熱除去冷却器出入口ライン (4FCV-604, 614)	VT-3	代表1台の 7.5%																
		高温側高圧補助注入ライン (4V-SI-067A, B)	VT-3	代表1台の 7.5%																
		高圧補助注入ライン連絡管 (4V-SI-066A, B)	VT-3	代表1台の 7.5%																
		封水注入ライン (4V-SI-026A, 026B)	VT-3	代表1台の 7.5%																

クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)

1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(1/4)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)						備考		
		系統名	ライン名称			第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回	
B15.10	B-P	一次冷却材系統	原子炉容器	SA時の使用圧力	VT-2	●	○	○	○	○	○	○		
B15.20			加圧器	SA時の使用圧力	VT-2	●	○	○	○	○	○	○		
B15.30			蒸気発生器	SA時の使用圧力	VT-2	●	○	○	○	○	○	○		
B15.50			クラス1配管	SA時の使用圧力	VT-2	●	○	○	○	○	○	○		
B15.60			一次冷却材ポンプ	SA時の使用圧力	VT-2	●	○	○	○	○	○	○		
B15.70			クラス1弁	SA時の使用圧力	VT-2	●	○	○	○	○	○	○		
C7.30, C7.70			C-H	化学体積制御系統	B 充てんポンプ自己冷却水供給ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○	
C7.30, C7.70	B 充てんポンプ自己冷却水戻りライン	SA時の使用圧力			VT-2							○		
C7.30, C7.70	体積制御タンク及びび出入口ライン	SA時の使用圧力			VT-2								○	
C7.10, C7.30	A 充てんポンプ出口ライン	SA時の使用圧力			VT-2	●								
C7.50, C7.70	B 充てんポンプ出口ライン	SA時の使用圧力			VT-2			○						
C7.30, C7.50	C 充てんポンプ出口及び封水注入ライン	SA時の使用圧力			VT-2				○					
C7.10, C7.30	A ほう酸ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力			VT-2	●								
C7.10, C7.30	B ほう酸ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力			VT-2	●								
C7.30, C7.50	A ほう酸ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力			VT-2					○				
C7.30, C7.50	B ほう酸ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力			VT-2						○			
C7.30, C7.70	B 高压注入ポンプ海水排水ライン	SA時の使用圧力			VT-2							○		
C7.30, C7.70	A, B 高压注入ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力			VT-2					○				
C7.30, C7.50	A 高压注入ポンプ出口ライン (1)	SA時の使用圧力			VT-2							○		
C7.30, C7.70	A 高压注入ポンプ出口ライン (2)	SA時の使用圧力			VT-2							○		
C7.30, C7.50	B 高压注入ポンプ出口ライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2								○			
C7.30, C7.70	B 高压注入ポンプ出口ライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2								○			
C7.30, C7.70	安全注入系統		A 格納容器再循環サンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○			
C7.30, C7.70			B 格納容器再循環サンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○		
C7.10, C7.30			A 蓄圧タンク及びび出入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2	●								
C7.10, C7.30			B 蓄圧タンク及びび出入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2	●								
C7.10, C7.30			C 蓄圧タンク及びび出入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2	●								
C7.10, C7.30			D 蓄圧タンク及びび出入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2	●								

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)

1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(2/4)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)						備考	
		系統名	ライン名称			第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回
C7.30, C7.70			格納容器スプレイ系統～余熱除去系統間のタ イライン	SA時の使用圧力	VT-2								
C7.30, C7.70			A 余熱除去ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.30, C7.70			B 余熱除去ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2		○						
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70	C-H	余熱除去系統	A 余熱除去ポンプ出口ライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.30, C7.70			A 余熱除去ポンプ出口ライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2					○			
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			B 余熱除去ポンプ出口ライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2				○				
C7.30, C7.70			B 余熱除去ポンプ出口ライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30, C7.70			可搬型ポンプ用送水ライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2							○	
C7.30, C7.70			可搬型ポンプ用送水ライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2								○
C7.30, C7.70			A 格納容器スプレイポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.30, C7.70			B 格納容器スプレイポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70	C-H	格納容器スプレイ系統	A 格納容器スプレイポンプ出口ライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2		○						
C7.30, C7.70			A 格納容器スプレイポンプ出口ライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2				○				
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			B 格納容器スプレイポンプ出口ライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2							○	
C7.30, C7.70			B 格納容器スプレイポンプ出口ライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30, C7.70			使用済燃料ピット浄化 冷却系統	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.30, C7.70			使用済燃料ピット補給用給水ライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.30, C7.70			常設電動注入ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2					○			
C7.30, C7.50 C7.10, C7.30 C7.70	C-H	燃料取替用水系統	常設電動注入ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2								
C7.10, C7.30 C7.70			燃料取替用水ピット及び出入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2			○					
C7.10, C7.30 C7.70			A 蒸気発生器給水入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○	
C7.10, C7.30 C7.70	C-H	給水系統	B 蒸気発生器給水入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.10, C7.30 C7.70			C 蒸気発生器給水入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2				○				
C7.10, C7.30 C7.70			D 蒸気発生器給水入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○	
C7.10, C7.30 C7.70			補助給水ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2			○					電線管含む
C7.30, C7.50 C7.70	C-H	補助給水系統	A 電動補助給水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2								
C7.30, C7.50 C7.70			B 電動補助給水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2					○			
C7.30, C7.50 C7.70			タービン動補助給水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2								○

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)

1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(3/4)

項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)						備考	
		系統名	ライン名称			第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回
C7.30, C7.70	C-H	主蒸気系統	A 蒸気発生器蒸気出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30, C7.70			B 蒸気発生器蒸気出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.30, C7.70			C 蒸気発生器蒸気出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2			○					
C7.30, C7.70			D 蒸気発生器蒸気出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30	C-H	換気空調系統	中央制御室換気空調ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○	技術基準規則第58条第2項の ただし書による「他の方法」 として外観検査を実施	
C7.30, C7.70			A 原子炉補機冷却水供給ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○	
C7.30, C7.70	C-H	原子炉補機冷却水系統	A 原子炉補機冷却水供給ライン	SA時の使用圧力	VT-2		○						
C7.30, C7.70			A 格納容器再循環ユニット屋外放出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2				○				
C7.30, C7.70			B 格納容器再循環ユニット屋外放出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2					○			
C7.30, C7.70			A, B 原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2			○					
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70	C-H	原子炉補機冷却水系統	A, B 原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2								
C7.30, C7.70			C, D 原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2					○			
C7.10, C7.30 C7.70			原子炉補機冷却水サージタンク及び出入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			A, B 海水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30, C7.70	C-H		C, D 海水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2					○			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
 1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(4/4)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)						備考	
		系統名	ライン名称			第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回
C7.30, C7.70	C-H	制御用空気系統	A 加圧器逃がし弁用制御用空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2			○					
C7.30, C7.70			B 加圧器逃がし弁用制御用空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2			○					
C7.30, C7.70			アニュラス空気浄化フアン弁用制御用空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30, C7.70			事故時試料採取設備弁用制御用空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2				○				
C7.30, C7.70			A 制御用空気圧縮機出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2				○				
C7.30, C7.70			B 制御用空気圧縮機出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○	
C7.10	C-H	ディーゼル発電機始動用空気系統	A ディーゼル発電機始動用空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.10			B ディーゼル発電機始動用空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30, C7.70	C-H	一次系サンプリング系統	事故時サンプリングライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2			○					
C7.30, C7.70			事故時サンプリングライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2			○					
C7.30, C7.70			事故時サンプリングライン (3)	SA時の使用圧力	VT-2				○				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN4-201 (保全重要度：高)
 1.2. クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査(1/1)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)	備考
-	-	配管の円周方向溶接部			クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査で管理	
		充てんライン	体積	25%		
		再生熱交換器連絡管				
		充てんライン連絡管	体積	25%		

重大事故等クラス3機器漏えい検査 GN4-228-N1 (保全重要度：高)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査方法	設備数	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年)										備考		
		ライン(設備)名	機器名			2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027		2028	
D2.30	D-B	原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン	窒素ポンベ(原子炉補機冷却水サージタンク用)～原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン窒素供給用3.8mフレキシブルホース入口接続口	VT-2	2				○									
D2.30	D-B	A,B加圧器逃がし弁用制御用空気ライン	窒素ポンベ(加圧器逃がし弁用)～加圧器逃がし弁用制御用空気ライン窒素供給用3.5m,4mフレキシブルホース入口接続口	VT-2	3									○				

添付書類四 定期事業者検査の判定方法（一定の期間を含む）

1. 定期事業者検査の判定方法

(1) 定期事業者検査の実施における考え方

定期事業者検査の実施にあたっては、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第1項において検査の方法が規定されており、これに従い表-1に記載する方法に基づき、対象設備に対して定期事業者検査を実施する。

また、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第2項では、定期事業者検査においては、一定の期間を設定し、その期間において技術基準に適合する状態を維持するかどうかを判定する方法で行うことが規定されている。

表-1のうち、①、②の検査は、設備の点検にあわせて、または点検の完了後に実施するものであり、その実施頻度は設備の点検頻度や原子炉を停止する頻度に基づいている。(添付書類三 別紙1 点検計画(計画期間中における点検の実施状況等) 参照)

定期事業者検査の対象となる設備については、技術基準への適合維持が要求されていることから、その実施頻度の設定においては、所定の機能を発揮できなくなる前、すなわち技術基準に適合する状態を維持すると考えられる段階に点検を行うように考慮しており、その実施頻度を定期事業者検査の一定の期間とみなすことができる。この実施頻度から設定した定期事業者検査の一定の期間の最短は、原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月※(定期事業者検査終了からの期間)である。

※：使用の状況等から別途点検を行う時期を評価し、定期事業者検査を実施すべき時期について原子力規制委員会の承認を受ける場合を除く。

なお、定期事業者検査の実施頻度の前提となるこれらの点検にあたっては、その対象設備が技術基準に適合する状態を維持するため、その点検頻度の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実に行う。

また、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する検査については、上記に係わらず、当該評価で判定に考慮する期間を一定の期間とする。これに該当する検査を(2)に示す。

(2) 一定の期間を考慮する定期事業者検査の判定について

定期事業者検査においては、(1) のとおり設定された頻度に基づき、設備が技術基準に適合していることを確認するが、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する以下の検査については、その判定に一定の期間を考慮する。

○原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月(定期事業者検査終了からの期間)以上を一定の期間として判定に考慮する検査

- ・原子炉格納容器全体漏えい率検査
- ・原子炉格納容器局部漏えい率検査
- ・クラス1機器供用期間中検査
- ・クラス2機器供用期間中検査
- ・クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査
- ・重大事故等クラス2機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス3機器漏えい検査
- ・構造健全性検査
- ・炉内計装用シングルチューブ体積検査
- ・蒸気タービン開放検査
- ・2次系配管検査
- ・主蒸気・主給水配管検査
- ・1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査

○また、第14サイクルの炉心設計に係わる以下の検査については、実運転期間(13ヶ月)に調整運転期間等を踏まえ、これに基づき判定を行う。

- ・原子炉停止余裕検査
- ・炉物理検査
- ・燃料集合体外観検査

なお、上記以外の検査については、その対象設備が技術基準に適合している状態を維持するため、その点検間隔の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実にを行う。

表－1 検査の方法の考え方について

実用発電用原子炉の設置、運転等 に関する規則第56条	検査の方法	
① 開放、分解、非破壊検査そ の他の各部の損傷、変形、 摩耗及び異常の発生状況 を確認するために十分な 方法	分解検査及び開放 検査	機器等を分解、開放した状態で、き裂、変形及び摩耗 等の有無を目視等により確認する。
	外観検査	機器等を分解又は開放しない状態で漏えい又はその 形跡、き裂、変形等の有無を目視等により確認する。
	非破壊検査	一般社団法人日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持規格」(JSME S NA-1-2008/2012/2013 追補/2014 追補)に規定されている超音波探傷試験、渦流探傷試 験、浸透探傷試験、目視試験等により、機器等の内外 表面及び内部欠陥の有無等を確認する。
	漏えい(率)検査	系統及び機器等の点検完了後、所定の圧力において、 漏えいの有無又は漏えい率*を確認する。
② 試運転その他の機能及び 作動の状況を確認するた めに十分な方法	特性検査	電気設備及び計測制御設備について絶縁抵抗測定**、 校正、設定値確認検査などを行い、機器等の特性を確 認する。
	機能・性能検査	系統及び機器等の点検完了後、作動試験、試運転、イ ンターロック試験等を行い、機器単体又は系統の機 能・性能等を確認する。
	総合性能検査	各設備の点検完了後に、定格出力近傍で原子力発電所 の運転を行い、発電用原子炉施設の運転状態が正常で あること及び各種パラメータが妥当な値であることを 確認する。

※：漏えい率の確認には、「②試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

※※：絶縁抵抗測定には、「①開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

上表の検査の方法にて実施する具体的な定期事業者検査は点検計画(添付書類三 別紙1)のとおり。なお、当該点検計画に含まれる簡易点検は定期事業者検査として実施しないが、部品の定期的な取替え、運転経験・劣化の進展予測、使用環境及び設置環境等を考慮して実施内容、頻度を定めている。

添付書類五 前回の施設定期検査申請内容（添付書類三、四、五）から
の変更内容

1. 添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標の変更

別紙－１のとおり

2. 添付書類三 施設管理の実施に関する計画の変更

別紙－２のとおり

3. 添付書類四 定期事業者検査の判定方法に関する変更（一定の期間を含む）

重大事故等クラス３機器漏えい検査を追加

制御棒クラスタ検査を削除

添付書類二

発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標の変更箇所

1. 保全活動管理指標（系統レベル）

No.	系統名	変更理由	該当ページ
1	緊急停止失敗時に原子炉を未臨界にするための設備	原子力規制検査に係るリスク情報活用のための確率論的リスク評価（PRA）によって、重大事故等対処設備についてリスク重要度の評価を行った。 これを受け、リスク重要度「高」の要求機能については、予防可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。	8
2	1次系フィードアンドブリードをするための設備		
3	炉心注入をするための設備		
4	原子炉格納容器スプレイをするための設備		
5	原子炉格納容器内自然対流冷却をするための設備		
6	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)をするための設備		
7	蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)をするための設備		
8	水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備		
9	水素爆発による原子炉周辺建屋等の破損を防止する等のための設備		
10	使用済燃料ピットの冷却等のための設備		
11	発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備		
12	電源設備		
13	計測設備		
14	中央制御室		

系統名	要求機能	予防可能故障回数目標値	非待機時間目標値	備考
重大事故等対処設備	緊急停止失敗時に原子炉を未臨界にするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	<720時間/2サイクル	
	1次系のフィードアンドブリードをするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	高圧注入ポンプ <240時間/2サイクル 加圧器逃がし弁 <72時間/2サイクル	
	炉心注入をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	炉心注入	代替炉心注入 (B 冷却中ポンプ(自己冷却)) 代替炉心注入 (可搬用炉心注入ポンプ) 代替再循環運転 (B 格納容器スプレイポンプ) <72時間/2サイクル
	1次冷却系統の減圧をするための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	加圧器逃がし弁による減圧 <240時間/2サイクル	
	原子炉格納容器スプレイをするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	原子炉格納容器スプレイ 代替原子炉格納容器スプレイ <720時間/2サイクル	
	原子炉格納容器内自然対流冷却をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	原子炉格納容器内自然対流冷却 <720時間/2サイクル 移動式大容量ポンプ車による 原子炉格納容器内自然対流冷却及び代替再循環冷却 <720時間/2サイクル	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	—	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル	
	水素燃焼による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	水素濃度低減 <72時間/2サイクル 水素濃度監視 <720時間/2サイクル	
	水素燃焼による原子炉周囲建屋等の損傷を防止するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル	
	使用済燃料ピットの冷却等のための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	—	
	発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル	
	重大事故等の取束に必要な水の供給設備 (SA-2)	<2回/サイクル	中間受槽、取水用水中ポンプ、 復水タンク(ピット)補給用水中ポンプ <720時間/2サイクル 燃料取扱用本ピット、復水ピット <72時間/2サイクル	
	電源設備 (SA-3)	<1回/サイクル	電源設備 <720時間/2サイクル 重大事故等対策用高圧緊急発電機 重大事故等対策用変圧器 <240時間/2サイクル 燃料貯蔵タンクタンクローリ <48時間/2サイクル	
	計測設備	<1回/サイクル	<720時間/2サイクル 記録機能	
	中央制御室	<1回/サイクル	中央制御室非常用発電機 <72時間/2サイクル 可搬型照明、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計 <240時間/2サイクル	
	通信連絡を行うために必要な設備	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル	

添付書類三 施設管理の実施に関する計画の変更箇所

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
1	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設(燃料取扱設備) 新燃料貯蔵庫	新燃料貯蔵庫の安全重要度の変更を踏まえ、保全重要度を「高」から「低」に変更した。	1/83
2	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 高圧及び低圧注入系 ・高圧注入ポンプ 2台 ・余熱除去ポンプ 2台	実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則の改正で第五十五条第1項2号及び第五十六条1項3号が削除され、「運転中主要機器機能検査」は法令要求ではなくなったことから、点検計画の項目を削除した。	15/83
3	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 4 A、4 B、4 C、4 D 蓄圧タンク	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検の頻度を「65M」から「130M」に変更した。	16/83
4	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 4号 冷却材フィルタ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検の頻度を「13M」から「26M」に変更した。	21/83
5	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 4 A、4 B 冷却材脱塩塔入口フィルタ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検の頻度を「26M」から「39M」に変更した。	21/83
6	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 4 A、4 B 封水注入フィルタ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検の頻度を「26M」から「39M」に変更した。	21/83
7	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 4号 封水ストレーナ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検の頻度を「39M」から「78M」に変更した。	21/83
8	原子炉冷却系統施設 (原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置) 格納容器サンブ水位上昇率測定装置、格納容器内凝縮液量測定装置及び炉内計装用シンプル配管室漏えい検出装置	機器名の適正化として、炉内計装用シンプル配管室漏えい検出装置を追加した。	32/82
9	計測制御系統施設 (制御棒駆動装置) 4 A、4 B MGセット用発電機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、普通点検の頻度を「26M」から「39M」、分解点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	33/83
10	計測制御系統施設 (制御棒駆動装置) 4 A、4 B MGセット用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、分解点検の頻度を「26M」から「39M」に変更した。	33/83
11	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-052 4号 C/V給気ラインアニュラス入口第一ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更した。	43/83
12	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-053 4号 C/V給気ラインアニュラス入口第二ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更した。	43/83
13	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-058 4号 C/V排気ラインアニュラス出口第一ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更した。	43/83
14	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-059 4号 C/V排気ラインアニュラス出口第二ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更した。	43/83
15	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-101A、101B 4 A、4 B アニュラス空気浄化ファン入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更した。	45/83

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
16	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-104A、104B 4 A、4 B アンユラス戻りダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更した。	45/83
17	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-310A、310B 4 A、4 B 安全補機室空気浄化ファン入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更した。	46/83
18	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-311A、311B 4 A、4 B 安全補機室空気浄化ファン出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更した。	46/83
19	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-301 4号 安全補機室給気第一ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更した。	47/83
20	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-302 4号 安全補機室給気第二ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更した。	47/83
21	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-307 4号 安全補機室排気第一ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更した。	47/83
22	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-308 4号 安全補機室排気第二ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更した。	47/83
23	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-532A、532B 4 A、4 B SWGR空調ユニット入口連絡ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更した。	47/83
24	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-533A、533B 4 A、4 B SWGR空調ユニット入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更した。	47/83
25	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-534A、534B 4 A、4 B SWGR空調ユニット出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更した。	47/83
26	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-535A、535B 4 A、4 B SWGR給気連絡ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更した。	48/83
27	原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備) ・格納容器スプレイポンプ 2台	実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則の改正で第五十五条第1項二号及び第五十六条1項三号が削除され、「運転中主要機器機能検査」は法令要求ではなくなったことから、点検計画の項目を削除した。	54/83
28	原子炉施設 (その他設備) クラス1機器(供用期間中検査対象) 原子炉容器 ・上部胴と下部胴の周溶接継手 ・下部胴とトランジションリングの周溶接継手 ・トランジションリングと下部鏡板の周溶接継手	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈並びに実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈の一部改正に伴い、原子炉容器の一般溶接継手の試験程度要求量については、全ての溶接継手の試験可能な範囲に変更となったことから、検査範囲を「5%」から「100%」に変更した。	58/83
29	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する熱交換器) 4 A、4 B、4 C 低圧第1給水加熱器	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検(非破壊)の頻度を「39M」から「78M」に変更した。	64/83

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
30	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する熱交換器) 4 A、4 B、4 C 低圧第2給水加熱器	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検(非破壊)の頻度を「39M」から「78M」に変更した。	64/83
31	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する熱交換器) 4 A、4 B 低圧第3給水加熱器	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検(非破壊)の頻度を「26M」から「78M」に変更した。	65/83
32	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する熱交換器) 4 A、4 B 低圧第4給水加熱器	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検(非破壊)の頻度を「26M」から「78M」に変更した。	65/83
33	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 電流計(500kV 玄海幹線2L北線) (3,4号機共用)	玄海3号機の設備点検に合わせて点検する計画としていたが、点検時の作業性等を総合的に評価し、点検時期を玄海4号機の設備点検時に変更し、点検計画の項目を追加した。	80/83

2. 点検計画 重大事故等対処設備

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
1	原子炉施設 (その他設備) 重大事故等クラス2機器(供用期間中検査対象) 原子炉容器 ・上部胴と下部胴の周溶接継手 ・下部胴とトランジションリングの周溶接継手 ・トランジションリングと下部鏡板の周溶接継手	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈並びに実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈の一部改正に伴い、原子炉容器の一般溶接継手の試験程度要求量については、全ての溶接継手の試験可能な範囲に変更となったことから、検査範囲を「5%」から「100%」に変更した。	3/4
2	原子炉施設 (その他設備) 重大事故等クラス3機器(供用期間中検査対象) 一式	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則第58条第2項の要求を受け2021年度より、定期事業者検査を実施することから、点検計画の項目に追加した。	3/4

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
原子炉本体 (炉心)	再使用予定の燃料集合体 1式※	外観点検	高	1C	GN4-2 燃料集合体外観検査	※:炉心設計による	
	取出し燃料集合体 1式※	外観点検	高	1C		※:炉心設計による	
	燃料集合体 193体	外観点検	高	1C	GN4-3 燃料集合体炉内配置検査	※:炉心設計による	
	内挿物 1. 制御棒クラスター 2. パーナブルボイズン 3. プラズマデバイス 4. 2次中性子源 } 1式※						
	原子炉本体のうち炉心	機能・性能試験	高	1C	GN4-81 炉物理検査 GN4-4 原子炉停止余裕検査	定検起動後 定検起動後	
原子炉本体 (原子炉容器)	原子炉容器本体	開放点検	高	13M			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取扱設備)	燃料移送装置	分解点検	高	13M		一部プラント運転中	
	燃料移送装置制御設備 1式	機能・性能試験	高	1C		一部プラント運転中	
	燃料取替クレーン	分解点検	高	13M			
	燃料取替クレーン制御設備 1式	機能・性能試験	高	1C			
	使用済燃料ピットクレーン	分解点検	高	13M		一部プラント運転中	
	使用済燃料ピットクレーン制御設備 1式	機能・性能試験	高	1C		一部プラント運転中	
	1. 燃料移送装置(リフティングフレーム) 2台 2. 燃料取替クレーン 3. 使用済燃料ピットクレーン	機能・性能試験	高	1C	GN4-36 燃料取扱装置機能検査		
	1. 新燃料エレベータ 2. 燃料取扱クレーン	機能・性能試験	低	1C	GN4-75 燃料取扱設備検査		
	1. 燃料取替クレーン 2. 燃料移送装置 3. 使用済燃料ピットクレーン	機能・性能試験	高	1C	GN4-95 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)		
	1. 燃料取扱クレーン 2. 新燃料エレベータ	機能・性能試験	低	1C			
	原子炉キャビティ	外観点検	高	1C			
	燃料取替キャナル(原子炉格納容器内/燃料取扱棟内)	外観検査	高	1C			
	キャスタピット	外観検査	高	1C			
	新燃料貯蔵庫	外観検査	低	1C			
	1. 新燃料取扱工具 2. 使用済燃料取扱工具 3. 燃料仮置ラック	外観点検	低	1C	GN4-95 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)		
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備)	使用済燃料ピット浄化冷却設備	機能・性能試験	高	1C	GN4-202 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	使用済燃料ピット含む
	4 A 使用済燃料ピットポンプ	簡易点検(油入替他)	分解点検	低	1Y		プラント運転中
4Y							
4 A 使用済燃料ピットポンプ用電動機	分解点検	低	4Y		プラント運転中		
4 B 使用済燃料ピットポンプ	簡易点検(油入替他)	分解点検	低	1Y		プラント運転中	
	4Y						
4 B 使用済燃料ピットポンプ用電動機	分解点検	低	4Y		プラント運転中		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4V-RH-047A 4 A B 余熱除去冷却器出口連絡弁 A	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
	4V-RH-047B 4 A B 余熱除去冷却器出口連絡弁 B	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
	4V-RH-048A 4 A 余熱除去ライン B ループ高温側入口弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
	4V-RH-048B 4 B 余熱除去ライン C ループ高温側入口弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
	4V-RH-050A 4号 余熱除去ライン A ループ低温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	4V-RH-050B 4号 余熱除去ライン B ループ低温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	4V-RH-050C 4号 余熱除去ライン C ループ低温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	4V-RH-050D 4号 余熱除去ライン D ループ低温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	4V-RH-051A 4号 余熱除去ライン B ループ高温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	4V-RH-051B 4号 余熱除去ライン C ループ高温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	4V-RH-071 4号 AM 用代替再循環ポンプ出口第一逆止弁	分解点検	高	130M		
	4V-RH-072 4号 AM 用代替再循環ポンプ出口弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
	4V-RH-073 4号 AM 用代替再循環ポンプ出口第二逆止弁	分解点検	高	130M		
	AM 用代替再循環ポンプ	分解点検	高	130M		
電動機簡易点検		1C				
原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備)	1. 高圧及び低圧注水系 ・ 高圧注入ポンプ 2台 ・ 余熱除去ポンプ 2台 ・ モード切替弁 18個 2. 蓄圧注水系 ・ 蓄圧タンク 4基	機能・性能試験	高	1C	GM-16 非常用炉心冷却系機能検査	
	高圧及び低圧注水系 ・ 高圧注入ポンプ 2台 ・ 余熱除去ポンプ 2台	機能・性能試験		6ヶ月	GM3-137 運転中主要機器機能検査	プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4 A 高圧注入ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	GN4-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1ヶ月)
		分解点検(メカニカルシール取替)		52M		
		分解点検		104M		
4 A 高圧注入ポンプ用電動機		分解点検	高	78M		(振動診断:1ヶ月)
4 B 高圧注入ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	GN4-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1ヶ月)
		分解点検(メカニカルシール取替)		52M		
		分解点検		104M		
4 B 高圧注入ポンプ用電動機		分解点検	高	78M		(振動診断:1ヶ月)
4 A 蓄圧タンク		開放点検	高	130M		
4 B 蓄圧タンク		開放点検	高	130M		
4 C 蓄圧タンク		開放点検	高	130M		
4 D 蓄圧タンク		開放点検	高	130M		
4 A 格納容器再循環サンプ		外観点検	高	1C		
4 B 格納容器再循環サンプ		外観点検	高	1C		
4 A 格納容器再循環サンプスクリーン		外観点検	高	1C		
4 B 格納容器再循環サンプスクリーン		外観点検	高	1C		
4V-S1-002A 4 A 安全注入系ポンプRWS P側入口弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
4V-S1-002B 4 B 安全注入系ポンプRWS P側入口弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
4V-S1-004A 4 A 安全注入系ポンプ入口逃がし弁		分解点検	低	130M	GN4-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
4V-S1-004B 4 B 安全注入系ポンプ入口逃がし弁		分解点検	低	130M	GN4-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
4V-S1-011A 4 A 高圧注入ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M		
4V-S1-011B 4 B 高圧注入ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M		
4V-S1-014A 4 A 高圧注入ポンプミニフロー逆止弁		分解点検	高	130M		
4V-S1-014B 4 B 高圧注入ポンプミニフロー逆止弁		分解点検	高	130M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4V-S1-172C 4 C 蓄圧タンク安全弁	分解点検	低	130M	GN4-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	4V-S1-172D 4 D 蓄圧タンク安全弁	分解点検	低	130M	GN4-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
原子炉冷却系統施設 (化学体積制御系統設備)	4 A 充てんポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M		
		機能・性能試験		1C		
4 A 充てんポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M		(振動診断:切替毎)	
	分解点検		52M			
4 B 充てんポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:切替毎)	
	分解点検		39M			
	機能・性能試験		1C			GN4-70 充てんポンプ冷却材補給系機能検査
4 B 充てんポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M		(振動診断:切替毎)	
	分解点検		52M			
4 C 充てんポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:切替毎)	
	分解点検		39M			
	機能・性能試験		1C			GN4-70 充てんポンプ冷却材補給系機能検査
4 C 充てんポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M		(振動診断:切替毎)	
	分解点検		52M			
4号 体積制御タンク	開放点検	高	130M			
4号 非再生冷却器	開放点検	高	130M			
4号 余剰抽出冷却器	開放点検	高	130M			
4号 再生熱交換器	外観点検	高	1C			
4号 封水冷却器	開放点検	高	130M			
4号 冷却材フィルタ	開放点検	高	26M			
4 A 冷却材脱塩塔入口フィルタ	開放点検	高	39M			
4 B 冷却材脱塩塔入口フィルタ	開放点検	高	39M			
4 A 封水注入フィルタ	開放点検	高	39M			
4 B 封水注入フィルタ	開放点検	高	39M			
4号 封水ストレーナ	開放点検	高	78M			
4 A 冷却材混床式脱塩塔	外観点検	高	1C			
4 B 冷却材混床式脱塩塔	外観点検	高	1C			
4号 冷却材陽イオン脱塩塔	外観点検	高	1C			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
	4 C 海水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M		(振動診断:切替毎)	
		普通点検(軸受点検)		26M			
		分解点検		52M			
	4 D 海水ポンプ	簡易点検(グランドバッキン取替他)	高	13M		GM-121 2次系ポンプ分解検査	保温材施工附属配管
		分解点検		26M			
		外観点検		4C			
		機能・性能試験		2C	GM-122 2次系ポンプ機能検査		
	4 D 海水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M		(振動診断:切替毎)	
		普通点検(軸受点検)		26M			
		分解点検		52M			
	4S-SW-507A 4 A 海水ストレーナ	開放点検	高	13M			
	4S-SW-507B 4 B 海水ストレーナ	開放点検	高	13M			
	4S-SW-507C 4 C 海水ストレーナ	開放点検	高	13M			
	4S-SW-507D 4 D 海水ストレーナ	開放点検	高	13M			
	4V-SW-590A 4号 海水供給母管連絡弁A	駆動部点検	高	130M		GM-123 2次系弁検査	
		分解点検		65M			
		電動機分解点検		130M			
	4V-SW-590B 4号 海水供給母管連絡弁B	駆動部点検	高	130M		GM-123 2次系弁検査	
		分解点検		65M			
		電動機分解点検		130M			
	4V-SW-570A 4 A C C W冷却器海水第二出口止弁	駆動部点検	高	130M		GM-85 1次系弁検査	
分解点検		130M					
電動機分解点検		130M					
4V-SW-570B 4 B C C W冷却器海水第二出口止弁	駆動部点検	高	130M		GM-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M				
	電動機分解点検		130M				
海水配管(屋外)	開放点検	高	39M				
海水配管(屋内)	開放点検	高	65M				
原子炉冷却系統施設 (原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置)	格納容器サンプ水位上昇率測定装置、格納容器内凝縮液量測定装置及び炉内計装用シングル配管室漏えい検出装置	機能・性能試験	低	1C	GM-79 格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査		
計測制御系統施設 (制御材)	1. 停止グループ制御棒クラスタ 24本 2. 制御グループ制御棒クラスタ 29本	機能・性能試験	高	1C	GM-30 制御棒駆動系機能検査 GM-107 制御棒クラスタ動作検査		
	1. 制御棒クラスタ 2. バーナブルボイズン 3. 2次中性子源 4. プラギングデバイス } 1式※	外観点検	高	1C	GM-108 制御棒クラスタ検査	※:炉心設計による	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
計測制御系統施設 (制御棒駆動装置)	制御棒位置指示装置	特性試験	低	13M	CN4-109 制御棒位置指示装置設定値検査	
	4 A MGセット用発電機	簡易点検(油入替他)	低	13M		(振動診断: 1 ヶ月)
		普通点検(軸受点検)		39M		
		分解点検		65M		
	4 B MGセット用発電機	簡易点検(油入替他)	低	13M		(振動診断: 1 ヶ月)
		普通点検(軸受点検)		39M		
		分解点検		65M		
	4 A MGセット用電動機	分解点検	低	39M		(振動診断: 1 ヶ月)
	4 B MGセット用電動機	分解点検	低	39M		(振動診断: 1 ヶ月)
	計測制御系統施設 (ほう酸注入機能を有する設備)	4 A ほう酸ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	
分解点検			39M		CN4-31 ほう酸ポンプ分解検査	
機能・性能試験			1C		CN4-56 ほう酸ポンプ機能検査	
4 A ほう酸ポンプ用電動機		分解点検	高	39M		(振動診断: 1 ヶ月)
4 B ほう酸ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M		(振動診断: 1 ヶ月)
		分解点検		39M	CN4-31 ほう酸ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		1C	CN4-56 ほう酸ポンプ機能検査	
4 B ほう酸ポンプ用電動機		分解点検	高	39M		(振動診断: 1 ヶ月)
4 A ほう酸タンク		開放点検	高	130M		
4 B ほう酸タンク		開放点検	高	130M		
4号 ほう酸フィルタ		開放点検	高	65M		
4FCV-220A 4号 ほう酸補給ライン流量制御弁		駆動部点検	低	130M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C	CN4-85 1次系弁検査	
4FCV-220B 4号 ほう酸混合器V C T出口側補給弁		駆動部点検	低	130M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C	CN4-85 1次系弁検査	
4FCV-223A 4号 1次系純水補給ライン流量制御弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C	CN4-85 1次系弁検査	
4FCV-223B 4号 ほう酸混合器V C T入口側補給弁		駆動部点検	低	130M		
		分解点検		39M		
		機能・性能試験		3C	CN4-85 1次系弁検査	
4V-CS-462A 4 A B A T入口弁		駆動部点検	低	130M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C	CN4-85 1次系弁検査	
4V-CS-462B 4 B B A T入口弁		駆動部点検	低	130M		
	分解点検	130M				
	機能・性能試験	10C		CN4-85 1次系弁検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	格納容器空調装置	機能・性能試験	高	1C	GM4-78 1次系換気空調設備検査	
	4 A 格納容器給気ファン	分解点検	低	6Y		プラント運転中
	4 A 格納容器給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y		プラント運転中
	4 B 格納容器給気ファン	分解点検	低	6Y		プラント運転中
	4 B 格納容器給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y		プラント運転中
	4 A 格納容器排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y		プラント運転中
		分解点検		6Y		
	4 A 格納容器排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y		プラント運転中
	4 B 格納容器排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y		プラント運転中
		分解点検		6Y		
	4 B 格納容器排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y		プラント運転中
	4 A 格納容器給気ユニット	開放点検	低	6Y		プラント運転中
	4 B 格納容器給気ユニット	開放点検	低	6Y		プラント運転中
	4 A 格納容器排気フィルタユニット	開放点検	低	6Y		プラント運転中
	4 B 格納容器排気フィルタユニット	開放点検	低	6Y		プラント運転中
	4V-VS-054 4号 C/V給気ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
	4V-VS-055 4号 C/V給気ライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
	4V-VS-056 4号 C/V排気ライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
	4V-VS-057 4号 C/V排気ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
	4D-VS-060A 4 A C/V排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4D-VS-060B 4 B C/V排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4D-VS-061 4号 C/V排気ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4D-VS-051A 4 A C/V給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M		
	4D-VS-051B 4 B C/V給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M		
	4D-VS-062A 4 A C/V給気系外気取入切替ダンパ	駆動部点検	低	52M		
	4D-VS-062B 4 B C/V給気系外気取入切替ダンパ	駆動部点検	低	52M		
	4D-VS-052 4号 C/V給気ラインアニュラス入口第一ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4D-VS-053 4号 C/V給気ラインアニュラス入口第二ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4D-VS-058 4号 C/V排気ラインアニュラス出口第一ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4D-VS-059 4号 C/V排気ラインアニュラス出口第二ダンパ	駆動部点検	高	52M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4D-VS-101A 4 A アニュラス空気浄化ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4D-VS-101B 4 B アニュラス空気浄化ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4V-VS-102A 4 A アニュラス空気浄化全量排気弁	分解点検	高	52M	GM4-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解点検	
		駆動部点検		130M		
	4V-VS-102B 4 B アニュラス空気浄化全量排気弁	分解点検	高	52M	GM4-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解点検	
		駆動部点検		130M		
	4V-VS-103A 4 A アニュラス空気浄化少量排気弁	分解点検	高	52M	GM4-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解点検	
		駆動部点検		130M		
	4V-VS-103B 4 B アニュラス空気浄化少量排気弁	分解点検	高	52M	GM4-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解点検	
		駆動部点検		130M		
	4D-VS-104A 4 A アニュラス戻りダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4D-VS-104B 4 B アニュラス戻りダンパ	駆動部点検	高	52M		
	補助建屋空調装置	機能・性能試験	高	1C	GM4-78 1次系換気空調設備検査	
	4 A 補助建屋給気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y		プラント運転中
		分解点検		6Y		
	4 A 補助建屋給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y		プラント運転中
	4 B 補助建屋給気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y		プラント運転中
		分解点検		6Y		
	4 B 補助建屋給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y		プラント運転中
	4 C 補助建屋給気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y		プラント運転中
		分解点検		6Y		
	4 C 補助建屋給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y		プラント運転中
	4 A 補助建屋排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y		プラント運転中
		分解点検		6Y		
	4 A 補助建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y		プラント運転中
	4 B 補助建屋排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y		プラント運転中
		分解点検		6Y		
	4 B 補助建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y		プラント運転中
	4 C 補助建屋排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y		プラント運転中
		分解点検		6Y		
	4 C 補助建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y		プラント運転中
	4 A 補助建屋排気フィルタユニット	開放点検	低	6Y		プラント運転中
	4 B 補助建屋排気フィルタユニット	開放点検	低	6Y		プラント運転中
	4 A 補助建屋給気ユニット	開放点検	低	6Y		プラント運転中
	4 B 補助建屋給気ユニット	開放点検	低	6Y		プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4D-VS-105 4号 排気筒入口第一ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4D-VS-106 4号 排気筒入口第二ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4D-VS-201A 4 A A/B給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M		
	4D-VS-201B 4 B A/B給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M		
	4D-VS-201C 4 C A/B給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M		
	4D-VS-207A 4 A A/B排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M		
	4D-VS-207B 4 B A/B排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M		
	4D-VS-207C 4 C A/B排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M		
	安全補機室空気浄化設備	機能・性能試験	高	1C	GM4-78 1次系換気空調設備検査	
	4 A 安全補機室空気浄化ファン	分解点検	高	52M		(振動診断:1ヶ月)
	4 A 安全補機室空気浄化ファン用電動機	分解点検	高	52M		(振動診断:1ヶ月)
	4 B 安全補機室空気浄化ファン	分解点検	高	52M		(振動診断:1ヶ月)
	4 B 安全補機室空気浄化ファン用電動機	分解点検	高	52M		(振動診断:1ヶ月)
	4号 安全補機室空気浄化フィルタユニット	開放点検 機能・性能試験	高	26M 1C	GM4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	4号 安全補機室空気浄化フィルタユニットA電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C		
	4号 安全補機室空気浄化フィルタユニットB電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C		
	4F-VS-301 4号 安全補機室空気浄化フィルタユニット入口防火ダンパ	機能点検	高	13M		
	4F-VS-302 4号 安全補機室空気浄化フィルタユニット出口防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M		
	4D-VS-310A 4 A 安全補機室空気浄化ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4D-VS-310B 4 B 安全補機室空気浄化ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4D-VS-311A 4 A 安全補機室空気浄化ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4D-VS-311B 4 B 安全補機室空気浄化ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4 A 安全補機室冷却ファン	分解点検	高	52M	GM4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	4 A 安全補機室冷却ファン用電動機	分解点検	高	39M		
	4 B 安全補機室冷却ファン	分解点検	高	52M	GM4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	4 B 安全補機室冷却ファン用電動機	分解点検	高	39M		
	4 A 安全補機室冷却ユニット	開放点検	高	26M	GM4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	4 B 安全補機室冷却ユニット	開放点検	高	26M	GM4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	4F-VS-209 4号 A安全補機室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-210 4号 B安全補機室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-211 4号 充てんポンプバルブエリア給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-212A 4 A 充てんポンプ室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-212B 4 C 充てんポンプ室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4F-VS-213A 4号 B 充てんポンプ室給気防火兼流量設定ダンパA	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-213B 4号 B 充てんポンプ室給気防火兼流量設定ダンパB	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-214A 4号 充てんポンプバルブ操作エリア給気防火ダンパA	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-214B 4号 充てんポンプバルブ操作エリア給気防火ダンパB	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-228A 4 A 充てんポンプ室排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M		
	4F-VS-228B 4 C 充てんポンプ室排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M		
	4F-VS-229A 4号 B 充てんポンプ室排気防火兼流量設定ダンパA	機能点検	高	26M		
	4F-VS-229B 4号 B 充てんポンプ室排気防火兼流量設定ダンパB	機能点検	高	26M		
	4F-VS-232 4号 充てんポンプバルブ操作エリア排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M		
	4F-VS-233 4号 A 安全補機室排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M		
	4F-VS-234 4号 B 安全補機室排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M		
	4D-VS-301 4号 安全補機室給気第一ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4D-VS-302 4号 安全補機室給気第二ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4G-VS-303A 4 A 安全補機室冷却ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M		
	4G-VS-303B 4 B 安全補機室冷却ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M		
	4G-VS-304A 4 A 安全補機室給気逆止ダンパ	機能点検	高	130M		
	4G-VS-304B 4 B 安全補機室給気逆止ダンパ	機能点検	高	130M		
	4G-VS-306A 4 A 安全補機室排気逆止ダンパ	機能点検	高	130M		
	4G-VS-306B 4 B 安全補機室排気逆止ダンパ	機能点検	高	130M		
	4D-VS-307 4号 安全補機室排気第一ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4D-VS-308 4号 安全補機室排気第二ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4 A 安全補機開閉器室空調ファン	簡易点検(油入替他) 分解点検	高	26M 52M		(振動診断:切替毎)
	4 A 安全補機開閉器室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M		(振動診断:切替毎)
	4 B 安全補機開閉器室空調ファン	簡易点検(油入替他) 分解点検	高	26M 52M		(振動診断:切替毎)
	4 B 安全補機開閉器室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M		(振動診断:切替毎)
	4 A 安全補機開閉器室空調ユニット	開放点検	高	26M		
	4 B 安全補機開閉器室空調ユニット	開放点検	高	26M		
	4D-VS-532A 4 A S W G R 空調ユニット入口連絡ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4D-VS-532B 4 B S W G R 空調ユニット入口連絡ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4D-VS-533A 4 A S W G R 空調ユニット入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4D-VS-533B 4 B S W G R 空調ユニット入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4D-VS-534A 4 A S W G R 空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4D-VS-534B 4 B S W G R 空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4D-VS-535A 4 A S W G R 給気連絡ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4D-VS-535B 4 B S W G R 給気連絡ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	4F-VS-531A 4 A S W G R 室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-531B 4 B S W G R 室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-532A 4 A S W G R 室給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-532B 4 B S W G R 室給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-533 4号 A E P 盤室給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-534A 4 A E P 盤室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-534B 4 B E P 盤室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-535 4号 A 継電器室給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-536A 4 A 継電器室給気第一防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-536B 4 B 継電器室給気第一防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-537A 4 A 継電器室給気第二防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-537B 4 B 継電器室給気第二防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-538A 4 A インバータ室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-538B 4 B インバータ室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-542A 4 A E P 盤室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-542B 4 B E P 盤室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-543 4号 A E P 盤室戻り防火ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-544A 4 A S W G R 室戻り防火ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-544B 4 B S W G R 室戻り防火ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-545A 4 A S W G R 室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-545B 4 B S W G R 室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-546A 4 A 継電器室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-546B 4 B 継電器室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-547 4号 A 継電器室戻り防火ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4F-VS-551 4号 トレイエリア給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4 A 中間補機棟空調ファン	簡易点検(油入替他)	高	26M		
		分解点検		52M		
	4 A 中間補機棟空調ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	4 B 中間補機棟空調ファン	簡易点検(油入替他)	高	26M		
		分解点検		52M		
	4 B 中間補機棟空調ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	4 A 中間補機棟空調ユニット	開放点検	高	52M		
	4 B 中間補機棟空調ユニット	開放点検	高	52M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
	4V-CH-016B 4 B 冷水供給弁	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			
		電動機分解点検		130M			
	4V-CH-017A 4 A 冷水戻り弁	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			
		電動機分解点検		130M			
	4V-CH-017B 4 B 冷水戻り弁	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			
		電動機分解点検		130M			
	4V-CH-020 4号 C 冷水供給弁	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			
		電動機分解点検		130M			
4V-CH-021 4号 C 冷水戻り弁	駆動部点検	高	130M				
	分解点検		130M				
	電動機分解点検		130M				
原子炉格納施設 (原子炉格納容器)	1. 「T信号」及び「T信号とUV信号との一致」により隔離される弁 65個 2. 「P信号」により隔離される弁 16個	機能・性能試験	高	1C	GM4-45 原子炉格納容器隔離弁機能検査		
		原子炉格納容器	漏えい試験	高	3C	GM4-43 原子炉格納容器全体漏えい率検査	
			非破壊検査		5年間	GM4-105 プレストレストコンクリート格納容器供用期間中検査	
	外観点検(アニュラスシール)		10C				
	通常用エアロック	漏えい試験	高	1C	GM4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		開放点検		13M			
		分解点検(タイミングギア及び駆動部)		65M			
	非常用エアロック	漏えい試験	高	1C	GM4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		開放点検		13M			
		分解点検(タイミングギア及び駆動部)		65M			
	機器搬入口	漏えい試験	高	1C	GM4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		開放点検		13M			
1. 配管貫通部 8個 2. 電線貫通部 46個	漏えい試験	高	1C	GM4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施		
	開放点検		13M				
燃料移送管	漏えい試験	高	1C	GM4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施		
	開放点検		13M				
原子炉格納容器隔離弁 52個	漏えい試験	高	1C	GM4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施		
原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備)	原子炉格納容器スプレイ系 ・格納容器スプレイポンプ 2台 ・モード切替弁 6個 ・常設電動注入ポンプ 1台	機能・性能試験	高	1C	GM4-48 原子炉格納容器安全系機能検査		
	格納容器スプレイポンプ 2台	機能・性能試験		6ヶ月	GM3-137 運転中主要機器機能検査	プラント運転中	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
	4V-SS-563C 4 C 蓄圧タンクサンプルライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-SS-563D 4 D 蓄圧タンクサンプルライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-SS-564 4号 蓄圧タンクサンプルライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-SS-587 4号 V C T 気相部サンプル元弁	駆動部点検	低	130M			
		分解点検		65M			
		機能・性能試験		5C	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-SS-620 4号 事故時1次冷却材サンプル戻りライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			
		機能・性能試験		10C	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-SS-658 4号 C/V 雰囲気ガスサンプルライン密塞供給ライン逆止弁	分解点検	低	130M	GN4-87 1次系逆止弁検査		
	4V-SS-691 4号 C/V 雰囲気ガスサンプル戻りライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M			
分解点検		65M					
機能・性能試験		5C		GN4-85 1次系弁検査			
原子炉施設 (その他設備)	クラス1機器 (供用期間中検査対象) 1式	非破壊試験	高	10年間			
		漏えい試験		1C	GN4-1 クラス1機器供用期間中検査		
	Ni 基合金溶接部 1式	非破壊試験	高	10年間			
		漏えい試験		10年間	GN4-5 クラス2機器供用期間中検査		
	クラス2機器 (供用期間中検査対象) 1式	非破壊試験	高	10年間			
	漏えい試験	GN4-99 クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査					
	クラス2管(原子炉格納容器内)のうち 一次冷却材と同温・同圧の流体が流れる系統 1式	非破壊試験					
	C/V E.L. - 4.7 m 【管内】	外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査		
	C/V E.L. 3.7 m 【管内】	外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査		
	C/V E.L. 11.3 m以上 【管内】	外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査		
	R/B E.L. - 18.0 m 【管内】	外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査		
	R/B E.L. - 18.0 m(中間床) 【管内】	外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査		
	R/B E.L. - 11.0 m 【管内】	外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査		
	R/B E.L. - 11.0 m(中間床) 【管内】	外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査		
	R/B E.L. - 11.0 m 【管外】	外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査		
	R/B E.L. - 3.5 m 【管内】	外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査		
	R/B E.L. - 3.5 m(中間床) 【管内】	外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査		
	R/B E.L. - 3.5 m 【管外】	外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査		
	R/B E.L. 3.7 m 【管内】	外観点検	高	10C	GN4-103 耐震健全性検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4 A 復水器ホットウェル	開放点検(目視)	低	13M	GM4-129 蒸気タービン開放検査	
	4 B 復水器ホットウェル	開放点検(目視)	低	13M	GM4-129 蒸気タービン開放検査	
	4 C 復水器ホットウェル	開放点検(目視)	低	13M	GM4-129 蒸気タービン開放検査	
蒸気タービン (蒸気タービンに附属する熱交換器)	第1段 湿分分離加熱器(A)	開放点検(目視)	低	26M	GM4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)のうち、IPについては、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M		
	第1段 湿分分離加熱器(B)	開放点検(目視)	低	26M	GM4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)のうち、IPについては、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M		
	第1段 湿分分離加熱器(C)	開放点検(目視)	低	26M	GM4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)のうち、IPについては、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M		
	第1段 湿分分離加熱器(D)	開放点検(目視)	低	26M	GM4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)のうち、IPについては、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M		
	第2段 湿分分離加熱器(A)	開放点検(目視)	低	26M	GM4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)のうち、IPについては、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M		
	第2段 湿分分離加熱器(B)	開放点検(目視)	低	26M	GM4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)のうち、IPについては、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M		
	第2段 湿分分離加熱器(C)	開放点検(目視)	低	26M	GM4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)のうち、IPについては、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M		
	第2段 湿分分離加熱器(D)	開放点検(目視)	低	26M	GM4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)のうち、IPについては、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M		
	A 湿分分離器	開放点検(目視)	低	13M	GM4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		13M		
	B 湿分分離器	開放点検(目視)	低	13M	GM4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		13M		
	4 A 低圧第1 給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	GM4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		75M		
	4 B 低圧第1 給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	GM4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		75M		
4 C 低圧第1 給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	GM4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		75M			
4 A 低圧第2 給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	GM4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		75M			
4 B 低圧第2 給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	GM4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		75M			
4 C 低圧第2 給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	GM4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		75M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4 A 低圧第3 給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	GM4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M		
	4 B 低圧第3 給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	GM4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M		
	4 A 低圧第4 給水加熱器	開放点検(目視)	低	13M	GM4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M		
	4 B 低圧第4 給水加熱器	開放点検(目視)	低	13M	GM4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M		
	4 A 低圧第5 給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	GM4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M		
	4 B 低圧第5 給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	GM4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M		
	4号 グランド蒸気復水器	開放点検(目視)	低	39M	GM4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M		
4 A 高圧第7 給水加熱器	開放点検(目視)	低	13M	GM4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		26M			
4 B 高圧第7 給水加熱器	開放点検(目視)	低	13M	GM4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		26M			
蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備)	4 A 復水ポンプ	簡易点検(グランドバッキン取替他)	低	13M	GM4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M		
機能・性能試験		3C				
4 A 復水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	低	13M	GM4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断:切替毎)	
	分解点検		39M			
	機能・性能試験		3C			
4 B 復水ポンプ	簡易点検(グランドバッキン取替他)	低	13M	GM4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断:切替毎)	
	分解点検		39M			
	機能・性能試験		3C			
4 B 復水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	低	13M	GM4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断:切替毎)	
	分解点検		39M			
	機能・性能試験		3C			
4 C 復水ポンプ	簡易点検(グランドバッキン取替他)	低	13M	GM4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断:切替毎)	
	分解点検		39M			
	機能・性能試験		3C			
4 C 復水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	低	13M	GM4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断:切替毎)	
	分解点検		39M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	BUS T I Eユニット	普通点検(特性試験他)	低	13M		
		分解点検		156M		
	母線保護装置(継電器)	特性試験	低	78M		
	送電線保護装置(継電器)	特性試験	低	78M		
	電流計(500kV 玄海幹線2L北線) (3,4号機共用)	特性試験	低	26M		
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) (その他の電源装置)	遮断器 4-4 A E G	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	遮断器 4-4 B E G	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	6.6kV 4-4 C 母線	機能・性能試験	高	4C		
	6.6kV 4-4 C 母線PT-1	機能・性能試験	高	4C		
	6.6kV 4-4 C 母線PT-2	機能・性能試験	高	4C		
	6.6kV 4-4 D 母線	機能・性能試験	高	4C		
	6.6kV 4-4 D 母線PT-1	機能・性能試験	高	4C		
	6.6kV 4-4 D 母線PT-2	機能・性能試験	高	4C		
	受電遮断器 4-4 E C	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	受電遮断器 4-4 E D	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	受電遮断器 4-4 H C	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	受電遮断器 4-4 H D	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	遮断器 3-4 C 1 H	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	遮断器 3-4 C 2 H	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	遮断器 3-4 D 1 H	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	遮断器 3-4 D 2 H	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	4-4 C 6.6kVメタクラ(安全系遮断器)	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	4-4 D 6.6kVメタクラ(安全系遮断器)	機能・性能試験	高	2C		
		内部点検		130M		
	所内電源保護装置(継電器)	特性試験	高	26M		
	440V 3-4 C 1 母線	機能・性能試験	高	4C		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
原子炉格納施設 (圧力低減設備)	常設電動注入ポンプ	簡易点検（油入替他）	高	13M	GN4-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)	
		分解点検		52M			
	常設電動注入ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C		(振動診断：1ヶ月)	
		分解点検		52M			
	4 A 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	GN4-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査		
		機能・性能試験		3C			
	4 B 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	GN4-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査		
		機能・性能試験		3C			
	4 C 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	GN4-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査		
		機能・性能試験		3C			
	4 D 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	GN4-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査		
		機能・性能試験		3C			
	4 E 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	GN4-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査		
		機能・性能試験		3C			
電気式水素燃焼装置 14個（予備含む）	普通点検（絶縁抵抗測定他）	高	1C	GN4-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査			
	機能・性能試験		1C				
静的触媒式水素再結合装置動作監視装置	特性試験	低	13M	GN4-73 計測制御系監視機能検査			
電気式水素燃焼装置動作監視装置	特性試験	低	13M	GN4-73 計測制御系監視機能検査			
原子炉施設 (その他設備)	重大事故等クラス2機器（供用期間中検査対象） 1式	非破壊試験	高	10年間	GN4-201 重大事故等クラス2機器供用期間中検査		
		漏えい試験					
		非破壊試験					5年間
重大事故等クラス3機器（供用期間中検査対象） 1式	漏えい試験	高	10年間	GN4-228 重大事故等クラス3機器漏えい検査			
非常用電源設備	大容量空冷式発電機ガスタービン	簡易点検	高	1C			
		普通点検		39M			
		精密点検		130M			GN4-220 その他非常用発電装置の分解検査
		機能・性能試験		1C			GN4-221 その他非常用発電装置の機能検査
	大容量空冷式発電機	簡易点検	高	1C			
		普通点検		65M			
		精密点検		130M			
		機能・性能試験		1C			GN4-221 その他非常用発電装置の機能検査

添付書類六 前回の施設定期検査申請内容（添付書類三及び四）についての評価結果

玄海原子力発電所 第4号機

保全の有効性評価の結果に関する説明書

これまでの保全活動で得られた情報をもとに継続的な改善につなげるよう、保全の有効性評価を実施した。

前保全サイクルにおける保全の有効性評価の結果については添付－1のとおり。

また、これら評価の結果等を踏まえ、保全内容の変更を行ったものは添付－2のとおり。

添付－1 保全の有効性評価結果

添付－2 保全の有効性評価の結果等より保全へ反映した事項

参 考 保全活動管理指標の実績

保全の有効性評価結果

保安規定、保修基準、土木建築基準に基づき、有効性評価を実施。

定期的な評価のインプット			総合評価
分類 1	分類 2	対象期間	
a. 保全活動管理指標の監視結果	①プラントレベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	2019. 5. 1 ～ 2020. 7. 31	プラントレベルの保全活動管理指標は全て目標値以内であることから、保全は有効に機能していると評価した。
	②系統レベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	MPFF: 2019. 5. 1 ～ 2020. 7. 31 UA: 2011. 8. 1 ～ 2020. 7. 31	制御用空気系統において UA 時間が目標値を超過したが、運転機切替時の自動停止に伴い、一時的に隔離し点検したことによるものであり、制御用空気系統の要求機能は確保されており、目標値に影響を及ぼす事象ではないことから、目標値の見直しは不要と評価した。また、機器の損傷等は認められず、復旧後、運転の健全性を確認したことから、保全計画の見直しは不要と評価した。その他の系統レベルの保全活動管理指標は目標値以内であり、保全は有効に機能していると評価した。
b. 保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績	③点検状況記録シート、工事記録（特記事項・気付き事項）、点検・検査報告書、回転機器振動診断（定期診断）工事記録	2019. 5. 1 ～ 2020. 7. 31	点検状況記録シート、工事記録（特記事項、気付き事項）、点検・検査報告書等の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなく、保全は有効に機能していると評価した。
c. トラブルなど運転経験	④当該プラントのトラブル及び不適合	2019. 5. 1 ～ 2020. 7. 31	不適合報告書、是正処置報告書の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
d. 高経年化技術評価及び安全性向上評価結果	⑤自社他プラントの高経年化技術評価及び安全性向上評価結果	2019. 5. 1 ～ 2020. 7. 31	玄海 2 号機の高経年化技術評価（長期保守管理方針）、玄海 3 号機及び玄海 4 号機の安全性向上評価の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
e. 他プラントのトラブル及び経年劣化に係るデータ	⑥社内他プラントの不適合情報	2019. 5. 1 ～ 2020. 7. 31	予防処置情報反映事項調査票の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
	⑦国内情報 (NUCIA 情報)		
	⑧海外情報	2019. 5. 1 ～ 2020. 7. 31	通達等の文書の内容を確認し評価を行った結果、原子炉容器の一般部溶接継手の検査範囲を変更することとし、点検計画（供用期間中検査）へ反映する。 別紙－ 1 参照
f. リスク情報、科学的知見	⑩リスク情報	2019. 5. 1 ～ 2020. 7. 31	保全へ反映すべき情報はなかった。
	⑪電力共同研究・技術開発	2019. 5. 1 ～ 2020. 7. 31	保全へ反映すべき情報はなかった。
g. その他	⑫以上に該当しない情報	2019. 5. 1 ～ 2020. 7. 31	社内方針決定文書等の内容を確認し評価を行った結果、保全重要度、点検頻度の変更等を行うこととし、点検計画へ反映する。 別紙－ 1 参照

1. 方針決定文書等によって、保全方式又は頻度の変更等を行う機器

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査)
設計基準事故対処設備等			
1	原子炉施設 (その他設備) クラス1 機器 (供用期間中検査対象) 原子炉容器 ・上部胴と下部胴の周溶接継手 ・下部胴とトランジションリングの周溶接継手 ・トランジションリングと下部鏡板の周溶接継手	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈並びに実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈の一部改正に伴い、原子炉容器の一般溶接継手の試験程度要求量については、全ての溶接継手の試験可能な範囲に変更する。 原子炉容器溶接継手の検査範囲を「5%」から「100%」に変更する。	GN4-1 クラス1 機器供用期間中検査
2	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取扱設備) 新燃料貯蔵庫	新燃料貯蔵庫については、PS-2に整理していたが、「安全機能を有する電気・機械装置の重要度分類指針」(JEAG4612-2010)の規定を踏まえ、PS-3に見直したことに伴い、保全重要度を「高」から「低」に変更する。	
3	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 4 A、4 B、4 C、4 D 蓄圧タンク	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検の頻度を「65M」から「130M」に変更する。	
4	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 4号 冷却材フィルタ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検の頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
5	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 4 A、4 B 冷却材脱塩塔入口フィルタ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検の頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
6	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 4 A、4 B 封水注入フィルタ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検の頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
7	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 4号 封水ストレーナ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「78M」に変更する。	
8	計測制御系統施設 (制御棒駆動装置) 4 A、4 B MGセット用発電機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、普通点検の頻度を「26M」から「39M」、分解点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
9	計測制御系統施設 (制御棒駆動装置) 4 A、4 B MGセット用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、分解点検の頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
10	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-052 4号 C/V給気ラインアニュラス入口第一ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
11	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-053 4号 C/V給気ラインアニュラス入口第二ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査)
12	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-058 4号 C/V排気ラインアニュラス出口第一ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
13	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-059 4号 C/V排気ラインアニュラス出口第二ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
14	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-101A、101B 4 A、4 B アニュラス空気浄化ファン入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
15	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-104A、104B 4 A、4 B アニュラス戻りダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
16	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-301 4号 安全補機室給気第一ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
17	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-302 4号 安全補機室給気第二ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
18	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-307 4号 安全補機室排気第一ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
19	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-308 4号 安全補機室排気第二ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
20	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-310A、310B 4 A、4 B 安全補機室空気浄化ファン入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
21	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-311A、311B 4 A、4 B 安全補機室空気浄化ファン出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
22	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-532A、532B 4 A、4 B SWGR空調ユニット入口連絡ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査)
23	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-533A、533B 4 A、4 B SWGR空調ユニット入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
24	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-534A、534B 4 A、4 B SWGR空調ユニット出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
25	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-535A、535B 4 A、4 B SWGR給気連絡ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、駆動部点検の頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
26	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する熱交換器) 4 A、4 B、4 C 低圧第1給水加熱器	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検(非破壊)の頻度を「39M」から「78M」に変更する。	GN4-126 2次系熱交換器検査
27	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する熱交換器) 4 A、4 B、4 C 低圧第2給水加熱器	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検(非破壊)の頻度を「39M」から「78M」に変更する。	GN4-126 2次系熱交換器検査
28	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する熱交換器) 4 A、4 B 低圧第3給水加熱器	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検(非破壊)の頻度を「26M」から「78M」に変更する。	GN4-126 2次系熱交換器検査
29	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する熱交換器) 4 A、4 B 低圧第4給水加熱器	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検(非破壊)の頻度を「26M」から「78M」に変更する。	GN4-126 2次系熱交換器検査
30	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 電流計(500kV 玄海幹線2L北線) (3,4号機共用)	玄海3号機の設備点検に合わせて点検する計画としていたが、点検時の作業性等を総合的に評価し、点検時期を玄海4号機の設備点検時に変更し、点検計画の項目を追加する。	
31	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 高圧及び低圧注入系 ・高圧注入ポンプ 2台 ・余熱除去ポンプ 2台	実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則の改正で第五十五条第1項二号及び第五十六条1項三号が削除され、「運転中主要機器機能検査」は法令要求ではなくなったことから、点検計画の項目を削除する。	GN4-137 運転中主要機器機能検査
32	原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備) ・格納容器スプレイポンプ 2台	実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則の改正で第五十五条第1項二号及び第五十六条1項三号が削除され、「運転中主要機器機能検査」は法令要求ではなくなったことから、点検計画の項目を削除する。	GN4-137 運転中主要機器機能検査

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査)
(重大事故対処設備等)			
1	原子炉施設 (その他設備) 重大事故等クラス2機器 (供用期間中検査対象) 原子炉容器 ・ 上部胴と下部胴の周溶接継手 ・ 下部胴とトランジションリングの周溶接継手 ・ トランジションリングと下部鏡板の周溶接継手	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈並びに実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈の一部改正に伴い、原子炉容器の一般溶接継手の試験程度要求量については、全ての溶接継手の試験可能な範囲に変更する。 原子炉容器溶接継手の検査範囲を「5%」から「100%」に変更する。	GN4-201 重大事故等クラス2機器供用期間中検査
2	原子炉施設 (その他設備) 重大事故等クラス3機器 (供用期間中検査対象) 一式	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則第五十八条第2項の要求を受け 2021年度より、定期事業者検査を実施することから、点検計画に追加する。	GN4-228 重大事故等クラス3機器漏えい検査

保全の有効性評価の結果等より保全へ反映した事項

1. 保全活動管理指標への反映

No.	系統・機器名	保全活動管理指標への反映			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		項目	変更前	変更後	インプット 情報の項目※	事象の概要	評価内容	
1	緊急停止失敗時に原子炉を未臨界にするための設備	予防可能故障回数目標値	2回	1回	「その他」	原子力規制検査に係るリスク情報活用のための確率的リスク評価(PRA)によって、重大事故等対処設備についてリスク重要度の評価を行った。	リスク重要度「高」の要求機能については、予防可能故障回数目標値を2回から1回へ変更する。	
2	1次系のフィードアンドブリードをするための設備	予防可能故障回数目標値	2回	1回				
3	炉心注入をするための設備	予防可能故障回数目標値	2回	1回				
4	原子炉格納容器スプレイをするための設備	予防可能故障回数目標値	2回	1回				
5	原子炉格納容器内自然対流冷却をするための設備	予防可能故障回数目標値	2回	1回				
6	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)をするための設備	予防可能故障回数目標値	2回	1回				
7	蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)をするための設備	予防可能故障回数目標値	2回	1回				
8	水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備	予防可能故障回数目標値	2回	1回				
9	水素爆発による原子炉周辺建屋等の破損を防止するための設備	予防可能故障回数目標値	2回	1回				
10	使用済燃料ピットの冷却等のための設備	予防可能故障回数目標値	2回	1回				
11	発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備	予防可能故障回数目標値	2回	1回				
12	電源設備	予防可能故障回数目標値	2回	1回				
13	計測設備	予防可能故障回数目標値	2回	1回				
14	中央制御室	予防可能故障回数目標値	2回	1回				

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目	事象の概要	評価		備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更					評価内容	4つの評価項目※	
		項目	変更前	変更後					
(設計基準事故対処設備等)									
1	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取扱設備) 新燃料貯蔵庫	保全重要度	高	低	その他	新燃料貯蔵庫については、P S-2に整理していたが、「安全機能を有する電気・機械装置の重要度分類指針」(JEAG4612-2010)の規定を踏まえ、P S-3と判断した。	新燃料貯蔵庫の安全重要度の変更を踏まえ、保全重要度を「高」から「低」に変更する。	—	
2	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 4 A、4 B、4 C、4 D 蓄圧タンク	開放点検頻度	65M	130M	その他	保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検の頻度を「65M」から「130M」に変更する。	①	
3	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 4号 冷却材フィルタ	開放点検頻度	13M	26M	その他	保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検の頻度を「13M」から「26M」に変更する。	①	
4	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 4 A、4 B 冷却材脱塩塔入口フィルタ	開放点検頻度	26M	39M	その他	保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検の頻度を「26M」から「39M」に変更する。	①	
5	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 4 A、4 B 封水注入フィルタ	開放点検頻度	26M	39M	その他	保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検の頻度を「26M」から「39M」に変更する。	①	
6	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 4号 封水ストレーナ	開放点検頻度	39M	78M	その他	保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検の頻度を「39M」から「78M」に変更する。	①	

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式又は 点検内容の変更			インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容		4つの評価 項目※
		項目	変更前	変更後					
7	計測制御系統施設 (制御棒駆動装置) 4 A、4 B MGセット用発電機	普通点検 頻度	26M	39M	その他	保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと等 を総合的に評価し、普通点検の頻度を 「26M」から「39M」、分解点検頻度を 「52M」から「65M」に変更する。	①	
		分解点検 頻度	52M	65M					
8	計測制御系統施設 (制御棒駆動装置) 4 A、4 B MGセット用電動機	分解点検 頻度	26M	39M	その他	保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと等 を総合的に評価し、分解点検の頻度を 「26M」から「39M」に変更する。	①	
9	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-052 4号 C/V給気ラインアニュ ラス入口第一ダンパ	駆動部点検 頻度	39M	52M	その他	保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと等 を総合的に評価し、駆動部点検の頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
10	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-053 4号 C/V給気ラインアニュ ラス入口第二ダンパ	駆動部点検 頻度	39M	52M	その他	保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと等 を総合的に評価し、駆動部点検の頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
11	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-058 4号 C/V排気ラインアニュ ラス出口第一ダンパ	駆動部点検 頻度	39M	52M	その他	保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと等 を総合的に評価し、駆動部点検の頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
12	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-059 4号 C/V排気ラインアニュ ラス出口第二ダンパ	駆動部点検 頻度	39M	52M	その他	保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと等 を総合的に評価し、駆動部点検の頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
13	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-101A、101B 4 A、4 B アニュラス空気浄 化ファン入口ダンパ	駆動部点検 頻度	39M	52M	その他	保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと等 を総合的に評価し、駆動部点検の頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
14	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-104A、104B 4 A、4 B アニュラス戻りダ ンパ	駆動部点検 頻度	39M	52M	その他	保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと等 を総合的に評価し、駆動部点検の頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
15	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-301 4号 安全補機室給気第一ダン パ	駆動部点検 頻度	39M	52M	その他	保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと等 を総合的に評価し、駆動部点検の頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
16	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-302 4号 安全補機室給気第二ダン パ	駆動部点検 頻度	39M	52M	その他	保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと等 を総合的に評価し、駆動部点検の頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
17	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-307 4号 安全補機室排気第一ダン パ	駆動部点検 頻度	39M	52M	その他	保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと等 を総合的に評価し、駆動部点検の頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
18	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-308 4号 安全補機室排気第二ダン パ	駆動部点検 頻度	39M	52M	その他	保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと等 を総合的に評価し、駆動部点検の頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
19	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-310A、310B 4 A、4 B 安全補機室空気浄 化ファン入口ダンパ	駆動部点検 頻度	39M	52M	その他	保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと等 を総合的に評価し、駆動部点検の頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
20	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-311A、311B 4 A、4 B 安全補機室空気浄 化ファン出口ダンパ	駆動部点検 頻度	39M	52M	その他	保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと等 を総合的に評価し、駆動部点検の頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
21	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-532A、532B 4 A、4 B SWGR空調ユ ニット入口連絡ダンパ	駆動部点検 頻度	39M	52M	その他	保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと等 を総合的に評価し、駆動部点検の頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
22	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-533A、533B 4 A、4 B SWGR空調ユ ニット入口ダンパ	駆動部点検 頻度	39M	52M	その他	保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと等 を総合的に評価し、駆動部点検の頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
23	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-534A、534B 4 A、4 B SWGR空調ユ ニット出口ダンパ	駆動部点検 頻度	39M	52M	その他	保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと等 を総合的に評価し、駆動部点検の頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	
24	放射線管理施設 (換気設備) 4D-VS-535A、535B 4 A、4 B SWGR給気連絡 ダンパ	駆動部点検 頻度	39M	52M	その他	保全計画の最適化として点検 頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと等 を総合的に評価し、駆動部点検の頻度 を「39M」から「52M」に変更する。	①	

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更			インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	
		項目	変更前	変更後					
25	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する熱交換器) 4 A、4 B、4 C 低圧第1給水加熱器	開放点検 (非破壊) 頻度	39M	78M	その他	保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検(非破壊)の頻度を「39M」から「78M」に変更する。	①	GN4-126 2次系熱交換器検査
26	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する熱交換器) 4 A、4 B、4 C 低圧第2給水加熱器	開放点検 (非破壊) 頻度	39M	78M	その他	保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検(非破壊)の頻度を「39M」から「78M」に変更する。	①	GN4-126 2次系熱交換器検査
27	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する熱交換器) 4 A、4 B 低圧第3給水加熱器	開放点検 (非破壊) 頻度	26M	78M	その他	保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検(非破壊)の頻度を「26M」から「78M」に変更する。	①	GN4-126 2次系熱交換器検査
28	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する熱交換器) 4 A、4 B 低圧第4給水加熱器	開放点検 (非破壊) 頻度	26M	78M	その他	保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検(非破壊)の頻度を「26M」から「78M」に変更する。	①	GN4-126 2次系熱交換器検査
29	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 電流計 (500kV 玄海幹線2L北線) (3,4号機共用)	特性試験	—	26M	その他	保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	玄海3号機の設備点検に合わせて点検する計画としていたが、点検時の作業性等を総合的に評価し、点検時期を玄海4号機の設備点検時に変更し、点検計画の項目を追加する。	—	
30	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 高圧及び低圧注入系 ・高圧注入ポンプ 2台 ・余熱除去ポンプ 2台	点検及び試験の項目	機能・性能試験 頻度 6カ月	—	その他	実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則の改正で第五十五条第1項二号及び第五十六条第1項三号が削除され、「運転中主要機器機能検査」は法令要求ではなくなった。	「運転中主要機器機能検査」については、法令要求ではなくなったことから、点検計画の項目を削除する。	—	GN4-137 運転中主要機器機能検査
31	原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備) ・格納容器スプレイポンプ 2台	点検及び試験の項目	機能・性能試験 頻度 6カ月	—	その他	実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則の改正で第五十六条第1項三号が削除され、「運転中主要機器機能検査」は法令要求ではなくなった。	「運転中主要機器機能検査」については、法令要求ではなくなったことから、点検計画の項目を削除する。	—	GN4-137 運転中主要機器機能検査
32	原子炉施設 (その他設備) クラス1機器(供用期間中検査対象) 原子炉容器 ・上部胴と下部胴の周溶接継手 ・下部胴とトランジションリングの周溶接継手 ・トランジションリングと下部鏡板の周溶接継手	検査範囲	5%	100%	他プラントのトラブル及び経年劣化に係るデータ、その他	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈並びに実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈の一部改正に伴い、原子炉容器の一般溶接継手の試験程度要求量については、全ての溶接継手の試験可能な範囲に変更する。	原子炉容器溶接継手の検査範囲を「5%」から「100%」に変更する。	④	GN4-1 クラス1機器供用期間中検査

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更			インプット情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※	
		項目	変更前	変更後					
(重大事故対処設備等)									
1	原子炉施設 (その他設備) 重大事故等クラス2機器(供用期間中検査対象) 原子炉容器 ・上部胴と下部胴の周溶接継手 ・下部胴とトランジションリングの周溶接継手 ・トランジションリングと下部鏡板の周溶接継手	検査範囲	5%	100%	他プラントのトラブル及び経年劣化に係るデータ、その他	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈並びに実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈の一部改正に伴い、原子炉容器の一般溶接継手の試験程度要求量については、全ての溶接継手の試験可能な範囲に変更する。	原子炉容器溶接継手の検査範囲を「5%」から「100%」に変更する。	④	GN4-201 重大事故等クラス2機器供用期間中検査
2	原子炉施設 (その他設備) 重大事故等クラス3機器(供用期間中検査対象) 一式	点検及び試験の項目	—	漏えい試験 頻度 10年間	その他	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則第五十八条第2項の要求を受け2021年度より、定期事業者検査を実施することから、点検計画に追加する。	点検計画の項目を追加する。	—	GN4-228 重大事故等クラス3機器漏えい検査

※点検頻度の変更に適した評価方法

- ①点検及び取替結果の評価
- ②劣化トレンドによる評価
- ③類似機器等のベンチマークによる評価
- ④研究成果等による評価

3. 補修、取替え及び改造計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容		評価		備考 (関連する定期事業者検査等)
		補修、取替え、改造工事の計画 (工事計画書届出認可対象工事 またはその他主要工事)	インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	
1	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する熱交 換器)	高圧第7給水加熱器取替工事	その他	蒸気発生器2次側への鉄持込 みの低減等を目的として高p H運転の導入を図る。	4号第13回定検において、ステンレス製加熱管を採 用した給水加熱器への取替えを実施する。	GN4-126 2次系熱交換器検査
2	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却海水設備)	1次系海水配管取替工事	その他	エポキシ塗料系ライニング施 工箇所の信頼性及び耐久性向 上を図る。	4号第13回定検において、耐久性に優れた高耐久性 ポリエチレンライニング鋼管への取替えを実施す る。	
3	計測制御系統施設 (その他設備)	炉外中性子束検出器修繕工事	その他	炉外中性子束検出器の定期取 替えを実施し、安全性の向上 を図る。	4号第13回定検において、炉外中性子束検出器の取 替えを実施する。	GN4-106 核計装設備検査
4	計測制御系統施設 (その他設備)	特殊測温抵抗体取替工事	その他	一次冷却材温度等の計測装置 の検出器について予防保全の 観点より取替えを行う。	4号第13回定検において、一次冷却材温度等の取替 えを実施する。	GN4-35 プラント状態監視設備機能検 査 GN4-73 計測制御系監視機能検査
5	計測制御系統施設 (その他設備)	原子炉保護装置用伝送器取替工事	その他	C蒸気発生器狭域水位等の計 測装置の検出器について予防 保全の観点より取替えを行 う。	4号第13回定検において、C蒸気発生器狭域水位等 の検出器の取替えを実施する。	GN4-34 安全保護系設定値確認検査 GN4-73 計測制御系監視機能検査
6	計測制御系統施設 (その他設備)	制御用地震計取替工事	その他	原子炉非常停止信号用の地震 計の検出器について予防保全 の観点より取替えを行う。	4号第13回定検において、地震計の検出器の取替 えを実施する。	GN4-34 安全保護系設定値確認検査
7	計測制御系統施設 (その他設備)	所内電源保護装置修繕のうちRCP 電源監視盤修繕工事	その他	原子炉非常停止信号用の保護 リレーについて予防保全の観 点より取替えを行う。	4号第13回定検において、原子炉非常停止信号用の 保護リレーの取替えを実施する。	GN4-34 安全保護系設定値確認検査
8	計測制御系統施設 (その他設備)	主蒸気止め弁リミットスイッチ取 替工事 (2次系本体付帯作業)	その他	原子炉非常停止信号用の主蒸 気止弁のリミットスイッチに ついて予防保全の観点より取 替えを行う。	4号第13回定検において、主蒸気止め弁リミットス イッチの取替えを実施する。	GN4-73 計測制御系監視機能検査
9	放射線管理施設 (放射線管理用計測装置)	放射線監視装置点検	その他	プロセスモニタについて、安 全性の向上の観点より取替 えを実施する。	4号第13回定検において、蒸気発生器ブローダウン 水モニタ等の放射線監視装置の検出器について取 替えを実施する。	GN4-77 放射線監視装置機能検査
10	原子炉施設 (その他設備)	低温再熱蒸気管取替工事	その他	配管の減肉が確認されたた め、減肉箇所の配管の取替 えを実施する。	4号第13回定検において、減肉箇所の配管の取替 えを実施する。	GN4-127 2次系配管検査
11	原子炉施設 (その他設備)	湿分分離器ドレンタンク 入口管台修繕工事	その他	配管の減肉が確認されたた め、減肉箇所の配管の取替 えを実施する。	4号第13回定検において、減肉箇所の配管の取替 えを実施する。	GN4-127 2次系配管検査

保全活動管理指標の実績

1. プラントレベル (評価対象期間 : 2019年5月1日~2020年7月31日)

項目	目標値	実績値
計画外自動停止回数	1回 / 7000 臨界時間未満	0回
計画外出力変動回数	2回 / 7000 臨界時間未満	0回
工学的安全施設の 計画外作動回数	1回未満	0回

2. 系統レベル (MPFFF回数評価対象期間: 2019年5月1日~2020年7月31日、UA時間評価対象期間: 2011年8月1日~2020年7月31日) ※評価対象期間で変更があった系統については、備考欄に示す。

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFFF回数)		実績	目標値	実績	機 間 (U A 時 間)	備考
		目標値	実績					
1次冷却材系統	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—
	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能 (MS-3)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	<72時間/2サイクル/基	—	—	—
	安全弁及び逆防止弁の吹止まり機能 (PS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—
	異常状態の検知機能 (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	<72時間/2サイクル/基	—	—	—
化学体積制御系統	事故時のプラント状態の把握機能 (PM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—
	本線昇降機機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—
	異常状態の検知機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	<210時間/2サイクル/基	—	—	—
	事故時のプラント状態の把握機能 (PM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—
安全注入系統	中心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—
	本線昇降機機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—
	事故時のプラント状態の把握機能 (PM機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—
	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—
余熱除去系統	中心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—
	事故時のプラント状態の把握機能 (PM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—
	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—
	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—
原子炉格納容器スプレイ系統	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—
	事故時のプラント状態の把握機能 (PM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—
	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—
	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—
	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	—	—	—

詳細対象期間:平成23年8月1日~平成26年4月17日

【注】注入手系

A トレーン
0時間/2サイクル
B トレーン
0時間/2サイクル

【注】注入手系

A トレーン
0時間/2サイクル
B トレーン
0時間/2サイクル

【注】注入手系

A トレーン
0時間/2サイクル
B トレーン
0時間/2サイクル

【注】注入手系

A トレーン
0時間/2サイクル
B トレーン
0時間/2サイクル

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
原子炉機械冷却水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル 0時間/2サイクル	経路対象期間:平成23年8月1日～平成26年11月1日
	事故時のプラント状態の把握機能 (直接関連系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<2回/サイクル	0時間/2サイクル	
	アゲンデントマネジメント (AM) 対応機能 (代替再循環、格納容器内自然対流冷却)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<2回/サイクル	0時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<2回/サイクル	0時間/2サイクル	
制御用空気系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <1時間/2サイクル Bトレイン <1時間/2サイクル	Aトレイン 4時間19分/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	プラント運営運転中の連続試験にて4人脚用空気圧縮機を起動したところ、潤滑油圧が低警報発生により自動停止したことから、非待機時間をカウントした
	事故時のプラント状態の把握機能 (PM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<2回/サイクル	0時間/2サイクル	
燃料取扱設備	本廠界燃料機差 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<1時間/2サイクル	0時間/2サイクル	【燃料取扱設備水ヒット】 0時間/2サイクル 【燃料取扱設備水ヒット以外】 0時間/2サイクル
	炉心冷却機能、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<1時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
燃料取扱設備構築物	燃料プール水の補給機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<2回/サイクル	0時間/2サイクル	【燃料取扱設備水ヒット】 0時間/2サイクル 【燃料取扱設備水ヒット以外】 0時間/2サイクル
	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<2回/サイクル	0時間/2サイクル	
燃料取扱設備	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<2回/サイクル	0時間/2サイクル	【燃料取扱設備水ヒット】 0時間/2サイクル 【燃料取扱設備水ヒット以外】 0時間/2サイクル
	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能 (放射性物質を貯蔵する機能) (PS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<2回/サイクル	0時間/2サイクル	
換気空調設備 (格納容器再循環系)	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<2回/サイクル	0時間/2サイクル	経路対象期間:平成23年8月1日～平成26年4月1日
	アゲンデントマネジメント (AM) 対応機能 (格納容器内自然対流冷却)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<2回/サイクル	0時間/2サイクル	
換気空調設備 (格納容器系排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	Aトレイン 0時間/2サイクル 0時間/2サイクル
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル <240時間/2サイクル	0時間/2サイクル 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (アニュエラス空気浄化系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<2回/サイクル	0時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル トリン 0時間/2サイクル
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル <240時間/2サイクル トリン 0時間/2サイクル	0時間/2サイクル 0時間/2サイクル トリン 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (排気筒)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル トリン 0時間/2サイクル
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
換気空調設備 (安全箱機差空気浄化系)	炉心冷却機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル <240時間/2サイクル トリン 0時間/2サイクル	0時間/2サイクル 0時間/2サイクル トリン 0時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル <240時間/2サイクル	0時間/2サイクル 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (安全箱機差空気浄化系)	炉心冷却機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル <240時間/2サイクル	0時間/2サイクル 0時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル <240時間/2サイクル	0時間/2サイクル 0時間/2サイクル	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
換気空調設備 (安全制御機器室空調系)	安全上特に重要な潤滑機能 (直接潤滑系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <8時間/2サイクル Bトレイン <8時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
		<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (制御機器室空調系)	安全上特に重要な潤滑機能 (直接潤滑系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
		<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (ディーゼル発電機室換気系)	安全上特に重要な潤滑機能 (直接潤滑系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 10時間/5分/2サイクル Bトレイン 12時間/15分/2サイクル	給気系止ダンクへの計画点検に伴い、当該系監視器を点検したことから、非待機時間をカウントした。
		<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <210時間/2サイクル/基 Bトレイン <210時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
換気空調設備 (ほう酸ポンプ室空調系)	本装置維持機能 (直接潤滑系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
		<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <720時間/2サイクル Bトレイン <720時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2分/2サイクル Bトレイン 0時間/5分/2サイクル	中央制御室空調ユニットR1取替に伴い、当該系監視器を点検したことから、非待機時間をカウントした。
換気空調設備 (中央制御室非常用換気系)	安全上特に重要な潤滑機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2分/2サイクル Bトレイン 0時間/5分/2サイクル	
		<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <720時間/2サイクル Bトレイン <720時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2分/2サイクル Bトレイン 0時間/5分/2サイクル	中央制御室空調ユニットR1取替に伴い、当該系監視器を点検したことから、非待機時間をカウントした。
空調用冷水系統	安全上特に重要な潤滑機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2分/2サイクル Bトレイン 0時間/5分/2サイクル	
		<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <720時間/2サイクル Bトレイン <720時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2分/2サイクル Bトレイン 0時間/5分/2サイクル	40空調用冷水機の冷水温度制御器の表示不良が確認されたことに加え、当該系監視器を点検することから、非待機時間をカウントした。
炉内構造物	炉心形状の維持機能 (炉心支持機能) (PS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
		<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
燃料集合体及び非燃焼炉心構成品	炉心形状の維持機能 (炉心支持機能) (PS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
		<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
原子炉格納容器	炉心形状の維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
		<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
1次系サンプリング系統	炉心形状の維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
		<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
主蒸気及び再熱蒸気系統 (SG～高圧タービン)	炉心形状の維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
		<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
給水系統 (HPHtr～SG)	炉心形状の維持機能 (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
		<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
補助給水系統	原子炉停止風の除熱機能 (補助給水による除熱機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【U】補助給水ポンプAトトレイン 【P】補助給水ポンプAトトレイン <240時間/2サイクル 【W】補助給水ポンプBトトレイン <240時間/2サイクル 【底水セット】 <168時間/2サイクル	【U】補助給水ポンプ 【P】補助給水ポンプAトトレイン 0時間/2サイクル 【W】補助給水ポンプBトトレイン 0時間/2サイクル 【底水セット】 0時間/2サイクル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
S/Gプロペラントシステム及びポンピング系統	事故時のプロペラント状態の把握機能 (P機械) (MS-2) 原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<24時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
		<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトトレイン <240時間/2サイクル Bトトレイン <240時間/2サイクル	Aトトレイン 0時間/2サイクル Bトトレイン 0時間/2サイクル	
海水系統	安全上特に重要な潤滑機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
非常用ディーゼルの発電機設備	安全上特に重要な潤滑機能 (非常用供給) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
主線線図 (M/C、P/C)	母線の保護・計量機能 (非常用供給計量用変圧器・変流器) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
主線線図 (R/C)	安全上特に重要な潤滑機能 (安全系への潤滑電流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
直流電源系統	安全上特に重要な潤滑機能 (安全系への直流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線 【直流母線】 <2時間/2サイクル/母線 【蓄電池】 <240時間/2サイクル/基 【蓄電池】 充電時間/時間 【蓄電池】 充電時間/時間 <2時間/2サイクル/基	【直流母線】 0時間/2サイクル/母線 【蓄電池】 0時間/2サイクル/基 【蓄電池】 充電時間/時間 0時間/2サイクル/基	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
電磁石用電源系統	安全上特に重要な潤滑機能 (情報提供系) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
炉内保護・計量設備	工学的安全施設及び原子炉停止系の作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間/2サイクル/チャンネル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間/2サイクル/チャンネル	
制御棒駆動装置 (機械系)	原子炉の緊急停止機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
制御棒駆動装置 (電気系)	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<1時間/2サイクル/トトレイン 【原子炉トリップ遮断器】 <1時間/2サイクル/トトレイン	【原子炉トリップ遮断器】 0時間/2サイクル/トトレイン	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
ディーゼルの発電機駆動用空気系統	安全上特に重要な潤滑機能 (ディーゼル機関の始動用空気系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
ディーゼルの発電機燃料油系統	安全上特に重要な潤滑機能 (ディーゼル機関の燃料油系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
ディージェル発電機冷却水系統	安全上特に重要な潤滑機能 (ディージェル機潤滑の冷却水系統) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
原子炉保護制御装置	工学的安全論設及び原子炉停止系への自動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【原子炉保護系論理回路】 <6時間/2サイクル/トトレイン <6時間/2サイクル/トトレイン 【原子炉保護系信号発信】 <6時間/2サイクル/チャンネル (手動リブ) <6時間/2サイクル/チャンネル (自動リブ) <6時間/2サイクル/チャンネル (自動リブ) <2時間/2サイクル/チャンネル (自動リブ) <10時間/2サイクル/チャンネル (自動リブ)	【原子炉保護系論理回路】 0時間/2サイクル/トトレイン 0時間/2サイクル/トトレイン 【原子炉保護系信号発信】 0時間/2サイクル/チャンネル (手動リブ) 0時間/2サイクル/チャンネル (自動リブ) 0時間/2サイクル/チャンネル (自動リブ) 【ディージェル発電機起動論理回路への信号発信】 0時間/2サイクル/チャンネル 0時間/2サイクル/チャンネル 【中央制御室非常用保護系自動論理回路への信号発信】 0時間/2サイクル/チャンネル	
炉外核燃料装置	制御室外からの安全停止機能 (PM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
エリア・プロセッサ装置	制御室外からの安全停止機能 (PM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
炉内用水系統	アンデントマネジメント (AM) 対応機能 (格納容器内注水)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<720時間/2サイクル	0時間/2サイクル	評価対象期間:平成23年8月1日~ 平成30年4月17日
中央制御室遠隔制御装置	制御室外からの安全停止機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<720時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
原子炉周辺建屋	放射物物質の閉じ込め機能・放射線の遮へい及び放出低減機能 (アニュラス部を構成する機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
原子炉補助建屋	安全上特に重要な潤滑機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
取水貯留設備	緊急停止失敗時に原子炉を未減圧にするための設備 (SA-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<720時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
重大事故等対処設備	1次系のフイードアンドブリードをするための設備 (SA-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	高注入ポンプ <240時間/2サイクル 加圧器過がし弁 <720時間/2サイクル	高注入ポンプ 0時間/2サイクル 加圧器過がし弁 0時間/2サイクル	
	加圧器過がし弁による減圧 (SA-3)	<2回/サイクル	0回/サイクル	加圧器過がし弁による減圧 <240時間/2サイクル	加圧器過がし弁による減圧 0時間/2サイクル	
	原子炉格納容器スプレイをするための設備 (SA-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	原子炉格納容器スプレイ 代替原子炉格納容器スプレイ <720時間/2サイクル	原子炉格納容器スプレイ 代替原子炉格納容器スプレイ 0時間/2サイクル	
	原子炉格納容器内自然対流冷却 (SA-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	原子炉格納容器内自然対流冷却 移動式大容量ポンプ車による <720時間/2サイクル	原子炉格納容器内自然対流冷却 移動式大容量ポンプ車による 0時間/2サイクル	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)をするための設備 (SA-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)をするための設備 (SA-2)	---	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)をするための設備 (SA-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)をするための設備 (SA-2)	---	
	水素発生による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	0回/サイクル	水素発生による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 (SA-3)	水素発生による 0時間/2サイクル 水素発生による 0時間/2サイクル	
	水素発生による原子炉周辺建屋等の損傷を防止するための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	0回/サイクル	水素発生による原子炉周辺建屋等の損傷を防止するための設備 (SA-3)	水素発生による 0時間/2サイクル	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
重大事故等対処装置	使用者燃料ホットの発熱等のための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	詳細対象期間:平成20年4月17日～
	発熱部外への放射性物質の拡散を抑制するための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	重大事故等の発生に必要な水の供給設備 (SA-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	中間受槽、取水用水中ポンプ、貯留用水中ポンプ、復水タンク、燃料貯蔵用ホット、復水ピット	中間受槽、取水用水中ポンプ、貯留用水中ポンプ、復水タンク、燃料貯蔵用ホット、復水ピット	
	電源設備 (SA-3)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<720時間/2サイクル 電源設備 重大事故等対処用圧力調整器 重大事故等対処用圧力調整器 燃料貯蔵タンク、タンクローリ	<720時間/2サイクル 電源設備 重大事故等対処用圧力調整器 重大事故等対処用圧力調整器 燃料貯蔵タンク、タンクローリ	
	計測設備	<2回/サイクル	0回/サイクル	<720時間/2サイクル 記録機能	0時間/2サイクル 記録機能	
	中央制御室	<2回/サイクル	0回/サイクル	中央制御室非常用電源系 <72時間/2サイクル 可搬型照明、酸濃度計、二酸化炭素濃度計	中央制御室非常用電源系 0時間/2サイクル 可搬型照明、酸濃度計、二酸化炭素濃度計 0時間/2サイクル	
	通信連絡を行うために必要な設備	<2回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル	

添付書類七 定期事業者検査の判定方法(一定の期間に限る)を変更した場合の実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第五十六条第三項各号の事項について

1. 定期事業者検査の判定方法(一定の期間に限る)の変更

なし